

用語	かな	欧文表記	略語	同義語・関連語	領域	解説
early goal directed therapy	あーりーごーるでいれく ていっどせらびー	early goal directed therapy	EGDT		III-11 感染症・敗血症	平均血圧やCVP、ScvO2などの目標値を、最初の6時間以内に達成するための循環管理法。重症敗血症に対してエビデンスのある治療法。
IL-18	あいえる18	IL-18			III-5 リウマチ・膠原病	IL-18はTh1応答を促進する炎症性サイトカイン。IL-12とともにCD4+CD8+T細胞とNK細胞に作用しIFN-γの産生を誘導する。IL-18は自然免疫と獲得免疫の双方を調整し、その調節異常は自己免疫性疾患や炎症性疾患を引き起こすことがある。
アイザックス症候群	あいざっくすしょうこうぐん	Isaacs syndrome		neuromyotonia	III-6 神経疾患	カリウムチャンネルに影響を与える抗体などにより神経の興奮を抑制しにくくなり、痙攣が持続するという症状が生じる自己免疫疾患。
IgA血管炎	あいじーえーけっかんえん	IgA vasculitis	IgAV	ヘンッホ・シェーンライン紫斑病、アレルギー性紫斑病、アナフィラクトイド紫斑病、	III-9 小児疾患・生殖器疾患	紫斑、腹痛、関節痛を主徴とする全身性血管炎。皮膚および他の部位の小型血管にIgAを含む免疫複合体が沈着する。
IgA血管炎関連腎炎	あいじーえーけっかんえんかんれんじんえん	IgA vasculitis nephropathy	IgAVN	紫斑病性腎炎	III-9 小児疾患・生殖器疾患	IgA血管炎に合併する二次性糸球体腎炎。
IgA腎症	あいじいえーじんしょう	IgA nephropathy			III-2 腎疾患	IgAが免疫複合体を形成し、腎糸球体メサンギウム領域に沈着することを特徴とする腎疾患。
IgG4関連疾患	あいじいじいふおーかんれんしっかん	IgG4-related disease	IgG4-RD		III-6 神経疾患	血中IgG4高値に加え、リンパ球とIgG4陽性形質細胞の著しい浸潤と著明な線維化により、同時にあるいは異時に全身諸臓器に腫大や関節・肥厚性病変などを認める原因不明の疾患。
アイソタイプ	あいそたいぶ	isotype			III-7 免疫疾患	免疫グロブリン分子のサブクラスのこと。
IVCY	あいぶいいしーわい	cyclophosphamide IV.	IVCY		III-5 リウマチ・膠原病	免疫抑制薬。シクロホスファミド静注療法。
亜急性壊死性脊髄炎	あきゅうせいえしせいせきずいえん	subacute necrotizing myelitis			III-6 神経疾患	下肢の反射亢進、痙性に始まり、徐々に痙性対麻痺に移行する疾患。
亜急性型急性肝不全	あきゅうせいいたきゅうせい かんふぜん	acute liver failure; subacute type			III-1 肝疾患	急性肝不全のうち、初発症状出現から昏睡II度以上の肝性脳症が出現するまでの期間が11日以降56日以内のもの。
亜急性硬化性全脳炎	あきゅうせいこうかせいぜん のうえん	subacute sclerosing panencephalitis	SSPE		III-6 神経疾患	変異麻疹ウイルスによる中枢神経系への遅発性ウイルス感染症。
亜急性小脳変性症	あきゅうせいしょうのうへん せいしょう	subacute cerebellar degeneration		傍腫瘍性小脳変性症	III-6 神経疾患	悪性腫瘍に伴い失調による歩行障害や言語障害を比較的に急速に発症する疾患。
アキレス腱肥厚	あきれすけんひこう	achilles tendon thickness	ATT		III-4 脂質異常症	家族性高コレステロール血症(FH)で特徴的な腱黄色腫の一種で、アキレス腱が肥厚したものである。アキレス腱側面のX線撮影により、男性で8 mm、女性で7.5 mm以上、超音波による場合は男性で6 mm、女性で5.5 mm以上を肥厚とする。
悪性関節リウマチ	あくせいいかんせつりうち	malignant rheumatoid arthritis	MRA		III-5 リウマチ・膠原病	既存の関節リウマチに、血管炎をはじめとする関節外症状を認め、難治性又は重症な臨床病態を伴う場合。
悪性症候群	あくせいしょうこうぐん	malignant syndrome		syndrome malin, neuroleptic malignant syndrome	III-6 神経疾患	精神神経用薬などにより引き起こされる、高熱・発汗、意識障害、錐体外路症状、自律神経症状、横紋筋融解症などの症状。
アクチビンA	あちびんえー	activin A			III-13 再生医療	中胚葉の分化誘導活性をもつ動物のペプチド性ホルモン。
朝のこわばり	あさのこわばり	morning stiffness			III-5 リウマチ・膠原病	起床時にこわばりがあるが、動かしていくと時間とともに改善する症状。関節リウマチの早期に出現する症状の一つ。
アジュバント病	あじゅばんとびょう	adjuvant disease			III-5 リウマチ・膠原病	美容整形などによってシリコンやパラフィンなどの異物を埋入した後に膠原病に類似した病態をきたす疾患。
亜硝酸塩	あしょうさんえん	nitrite			III-3 循環器疾患	狭心症発作の治療・予防に用いる冠拡張薬。
アシルCoAコレステロール シルトランスフェラーゼ	あしるこえーこれすてろー あしるとらんすふえらーぜ	acyl-CoA cholesterol acyltransferase	ACAT		III-4 脂質異常症	細胞内の余剰なコレステロールをエステル化する酵素。
アストロサイト	あすとりさいと	astrocytes			III-6 神経疾患	哺乳類の脳の中で最も数が多いグリア細胞で、灰白質全体に分布しており、脳の機能と可塑性を調節したり、血管系とニューロンとを結びつけ、血流からニューロンへグルコースなどの栄養物質を供給する働きを担う。
アセチルコリン受容体	あせちるこりんじゅようたい	acetylcholine receptor	AChR		III-6 神経疾患	神経筋接合部の筋肉側の膜表面に存在する5つのサブユニットからなる糖タンパクで、神経伝達物質であるアセチルコリンが反応する。重症筋無力症の主要な標的抗原。
アセトアミノフェン	あせとあみのふえん	acetaminophen		paracetamol	III-1 肝疾患	解熱鎮痛薬。欧米では劇症肝不全の原因として一番多い。
アテトーシス	あてとーしす	athetosis		アテトーゼ	III-6 神経疾患	ゆっくりとした、屈曲した。ねじれるような動作が休みなく起こる。特徴的な不随意運動。
アデノシンデアミナーゼ欠損 症	あでのしんであみなーぜけっ そんしょう	adenosine deaminase deficiency	ADA欠損 症		III-7 免疫疾患	アデノシンデアミナーゼ(ADA)欠損により、液性免疫、細胞性免疫がともに障害される重症複合型免疫不全症。
アテローム	あてろーむ	atheroma		粥腫	III-3 循環器疾患	「粥腫」の同義語。
アテローム動脈硬化性心血 管疾患	アテローム動脈硬化性心血 管疾患	atherosclerotic cardiovascular disease	ASCVD		III-4 脂質異常症	動脈の壁の中に脂肪プラークが蓄積し血流が制限されて起きる冠動脈性心疾患、脳血管疾患、末梢動脈疾患などの症状。
アトピー（性）脊髄炎	あといーていせいせきずいえん	atopic myelitis			III-6 神経疾患	アトピー性皮膚炎や気管支喘息、アレルギー性鼻炎などの疾患に伴って起こる脊髄炎。
アナジー	あなじー	anergy			III-7 免疫疾患	細胞性免疫能が非特異的に低下することにより、感作されている抗原に対して遅延型過敏反応が低下あるいは欠如する状態。
アナフィラキシー	あなふいらきしー	anaphylaxis			III-7 免疫疾患	主にIgE抗体を介した型アレルギー機序により、急激な全身状態の変化をきたす抗原特異的反応。
アナフィラキシーショック	あなふいらきしーしょうしゅっく	anaphylactoid shock			I 総説	ACE阻害薬服用患者の血液が強い陰性荷電を有する人工材料に接触することでアナフィラキシーショック様の著しい血圧低下が起こる場合がある。
アナフィラクトイド紫斑	あなふいらくといどしはん	anaphylactoid purpura		Henoch-Schönlein紫斑、IgA 血管炎	III-5 リウマチ・膠原病	血管壁やメサンギウム領域にIgAが沈着して起こるIgA免疫複合体血管炎。下腿の紫斑を必発とし、腎や消化器、関節症状を伴う。
アニオン	あにおん	anion		陰イオン	I 総説	負に荷電しているイオン。
APACHE II	あぱちつー	acute physiology and chronic health evaluation	APACHE II		III-11 感染症・敗血症	重症患者の重症度を評価するスコアリング評価システム。12の検査データ、年齢および併存病態の有無から評価する。
アフィニティ吸着材	あふいにいていきゅうちゃくざい	affinity ligand			II-2 吸着法	病因と推定される血漿成分あるいは細胞を特異的あるいは選択的に除去する人工レセプター。
アフェレシス(療法)	あふえれしす(りょうほう)	apheresis(therapy)			I 総説	体外循環によって血液中から液性因子や細胞成分を分離する技術、およびその技術を応用した医療分野。
アフタ	あふた	aphtha			III-8 消化器疾患	口腔の粘膜によくできる直径1〜3 mmの円形で、痛みを伴う浅い潰瘍。
アフタ性口内炎	あふたせいこないえん	aphthous stomatitis			III-8 消化器疾患	アフタを伴う口腔粘膜の炎症。
アポタンパク	あぽたんぱく	apoprotein			III-4 脂質異常症	「アポリポタンパク」の項目参照。
アポトーシス	あぽとーしす	apoptosis			III-11 感染症・敗血症	多細胞生物の細胞で引き起こされる。管理・調節された細胞死。
アポリポタンパク	あぽりぽたんぱく	apolipoprotein	apo	アポタンパク	III-4 脂質異常症	リポタンパク(CM、HDL、LDL、VLDLなど)のタンパク成分。
アポリポタンパクE	あぽりぽたんぱくいー	apolipoprotein E	アポE		III-4 脂質異常症	カイロミクロン、超低比重リポタンパク(VLDL)、レムナントなどのリポタンパクにに存在し、LDL受容体、VLDL受容体、LRP、レムナント受容体のリガンドとしてリポタンパク代謝において重要な役割を有する。
アポリポタンパクA-II	あぽりぽたんぱくえーつー	apolipoprotein A-II	アポA-II		III-4 脂質異常症	高比重リポ蛋白の構成タンパクであるが、役割については不明点が多い。
アポリポタンパクA-I	あぽりぽたんぱくえーわん	apolipoprotein A-I	アポA-I		III-4 脂質異常症	高比重リポタンパク(HDL)の構成タンパクであり、レシチンコレステロールアシル転移酵素(LCAT)を活性化し、末梢組織からコレステロールを引き抜き、これを肝臓に運ぶコレステロール逆転送系においてHDLの抗動脈硬化作用に寄与する。
アポリポタンパクC-III	あぽりぽたんぱくしーすりー	apolipoprotein C-III	アポC-III		III-4 脂質異常症	カイロミクロン、超低比重リポタンパク(VLDL)に存在し、リポタンパクリパーゼ(LPL)活性抑制作用を有する。
アポリポタンパクC-II	あぽりぽたんぱくしーつー	apolipoprotein C-II	アポC-II		III-4 脂質異常症	カイロミクロン、超低比重リポタンパク(VLDL)に存在し、リポタンパクリパーゼ(LPL)の活性発現に不可欠の補酵素である。欠損症において、著明な高トリグリセリド血症を示す。

アポリipoprotein(a)	あぼりぽぷろていんえー	apolipoprotein (a)	Apo (a)		Ⅲ-4 脂質異常症	Lp(a)内のタンパクで、プラスミノゲンとの相同性があり、血栓形成に関わる。
アポリipoproteinB	あぼりぽぷろていんびー	apolipoprotein B	アポB		Ⅲ-4 脂質異常症	カイロミクロン、超低比重リポタンパク(VLDL)、低比重リポタンパク(LDL)に存在し、また受容体を介した細胞へのリポタンパク取り込みのリガンドとして働くタンパク。肝臓で合成されるB-100と小腸で合成されるB-48が存在する。
アポルト	あぼると	auxiliary partial orthotopic liver transplantation	APOLT	自己肝温存生体部分肝移植	Ⅲ-1 肝疾患	不全に陥った自己肝はそのままにするか、一部を切除して、補助的にドナーからの部分肝を移植する方法。
アミロイド	あみろいど	amyloid			Ⅱ-2 吸着法	タンパク質の形や性質が変わり、特殊な構造を有する不溶性線維性異常タンパク質となったもの。器官への蓄積によりアミロイドーシスを生じる。
アミロイド	あみろいど	amyloid			Ⅲ-6 神経疾患	タンパク質の形や性質が変わり、特殊な構造を有する不溶性線維性異常タンパク質となったもの。器官への蓄積によりアミロイドーシスを生じる。
アミロイドアンギオパチー	あみろいどあんぎおぱちー	amyloid angiopathy			Ⅲ-6 神経疾患	脳皮質や脳軟膜の動脈にアミロイド沈着する病態で、脳虚血や大脳皮質あるいは皮質下に限局した多発性出血をきたす疾患。
アミロイドーシス	あみろいどーしす	amyloidosis			Ⅱ-2 吸着法	アミロイドがさまざまな臓器に沈着し障害を引き起こす疾患。
アミロイドーシス	あみろいどーしす	amyloidosis			Ⅲ-6 神経疾患	アミロイドがさまざまな臓器に沈着し障害を引き起こす疾患。
アミロイド腎	あみろいどじん	amyloid kidney		AL amyloidosis, AA amyloidosis	Ⅲ-2 腎疾患	糸球体、尿細管間質、間質血管壁などにアミロイドが沈着した状態。糸球体に沈着した場合は高度のネフローゼ候群を呈する。急速に進行することは稀で、多くは慢性腎臓病としての経過をとる。
アルガトロバン	あるがとろばん	argatroban			Ⅱ-4 置換液・抗凝固法	アンチトロンビン欠損症合併患者の体外循環に用いる合成抗トロンビン薬。その作用は血液中のアンチトロンビンⅢに依存しない。
アルキル化水銀中毒	あるきるかすいぎんちゅうどく	alkyl mercury poisoning		Hunter-Russel症候群、水俣病	Ⅲ-6 神経疾患	メチル水銀中毒による四肢の知覚異常、会話に使用する筋肉の失調・麻痺による発音障害、聴力障害、歩行失調、周辺部から中心に向かって進む視野狭窄などの症状。
アルサス反応	あるさすはんのう	arthus reaction		アルツス反応	Ⅲ-7 免疫疾患	N.M. Arthusによって記載された皮膚局所の免疫反応。Ⅲ型アレルギー反応により惹起される。
α -クロロアセトアミドメチル化ポリスルホン複合繊維	あるふあくろろあせとあみどめちるかほりするほんふくこうせんい	α -chloroacetoamide-methylated polysulfone			Ⅱ-2 吸着法	エンドキシシン除去向け吸着型血液浄化用浄化器の担体。
アルブミン透析	あるぶみんとうせき	Molecular adsorbent recirculating system	MARS		I 総説	透析膜の外側に、透析液の代わりにアルブミンを流し、それによって血液から除去された肝不全物質(ビリルビン等)を吸着膜を通して除去するシステム。
アルブミンリーク	あるぶみんりーく	albumin leakage			Ⅱ-1 分離法	通常は通過できない孔径の膜からアルブミンが漏れ出す現象。
Alport症候群	あるぽーとしょうこうぐん	alport's syndrome		アルポート症候群、遺伝性腎炎	Ⅲ-9 小児疾患・生殖器疾患	<i>COL4A5</i> 等の異常により慢性腎炎、難聴、眼合併症を呈する症候群で、しばしば末期腎不全へと進行する。
アレルギー性肉芽腫性血管炎	あれるぎーせいにくげしゆせいけつかんえん	allergic granulomatous angitis	EGPA	Churg-Strauss syndrome、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	Ⅲ-6 神経疾患	気管支炎喘息発作と末梢血好酸球増多を有する症例に、血管炎を生じ、末梢神経炎、紫斑、消化管潰瘍、脳硬塞・脳出血・心筋梗塞・心外膜炎などの臨床症状を呈する疾患。
アレルギー性ニューロパチー	あれるぎーせいにくーろぱちー	allergic neuropathy			Ⅲ-6 神経疾患	アレルギー性または免疫学的機序による末梢血管障害の総称。
アロタイプ	あろたいぷ	allotype			Ⅲ-7 免疫疾患	同じイソタイプをもつ免疫グロブリン分子のH鎖あるいはL鎖の定常領域にあり、同種他個体には抗体産生刺激原となる抗原決定基。
ANCA関連血管炎	あんかかんれんけつかんえん	ANCA associated vasculitis	AAV		Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	抗好中球細胞質抗体(ANCA)に関連する血管炎の総称。
アンギオポエチンライク3	あんぎおぽえちんらいくすりー	angiopoietin like 3	ANGPTL3		Ⅲ-4 脂質異常症	肝臓で合成されるタンパクで、LPL活性を阻害する作用がある。機能喪失型変異は低LDL-C、低HDL-C、低TG血症を示す。
アンギオポエチンライク3阻害薬	あんぎおぽえちんらいくすりーそがいいやく	angiopoietin like 3 inhibitor			Ⅲ-4 脂質異常症	ANGPTL3を阻害する薬剤は、抗体医薬と核酸医薬が開発されている。抗体医薬はエビナクマブ。
アンジオテンシン変換酵素阻害薬	あんじおてんしんへんかんこうそそがいいやく	angiotensin-converting enzyme inhibitor	ACE-I, ACEI		Ⅱ-2 吸着法	強い陰性荷電を有する人工材料に血液が接触することでアナフィラキシーショック様の著しい血圧低下が起こる場合があるためACEIの服用は禁忌。
安静時狭心症	あんせいじきょうしんしょう	angina (pectoris) at rest		冠縮性狭心症	Ⅲ-3 循環器疾患	冠動脈の攣縮(スパスム)が原因による狭心症。一部高度狭窄を伴うものも含む。
アンチトロンビン	あんちとろんびん	antithrombin	AT		Ⅲ-11 感染症・敗血症	肝臓で産生され、血液中で凝固阻害因子として、凝固反応を制御する生理的セリンプロテアーゼインヒビター。
アンチトロンビンⅢ	あんちとろんびんすりー	antithrombin-Ⅲ	AT-Ⅲ		Ⅱ-4 置換液・抗凝固法	生理的な抗凝固作用を有する血清タンパクで、ヘパリンが結合することにより活性が亢進する。主として抗活性化X因子(Xa)作用と抗トロンビン作用を有する。
アンチトロンビンⅢ欠損症	あんちとろんびんすりーけつそんしょう	antithrombin-Ⅲ deficiency			Ⅱ-4 置換液・抗凝固法	アンチトロンビンⅢが欠乏する病態で先天性と後天性がある。ヘパリンを投与しても、抗凝固作用が十分に生じない。
(慢性)安定狭心症	あんていきょうしんしょう	(chronic) stable angina (pectoris)			Ⅲ-3 循環器疾患	労作性狭心症などで症状や発作が安定化している狭心症。
アンモニア	あんもにあ	ammonia	NH3		Ⅲ-1 肝疾患	窒素代謝の過程で生じる。神経毒性があるが、肝臓で解毒される。
E型肝炎ウイルス	いーがたかんえんういるす	hepatitis E virus	HEV		Ⅲ-1 肝疾患	RNAウイルス。終口感染で広がり妊娠第二期、第三期の妊婦が感染すると重症化する。
イオン結合	いおんけつごう	ionic bond			Ⅱ-2 吸着法	「静電結合」の同義語。
イオン交換樹脂	いおんこうかんじゆし	ion exchange resin			Ⅱ-2 吸着法	合成樹脂の分子構造にイオン基として電離する構造を持ち、溶液中のイオンに対し選択的なイオン交換作用を有する合成樹脂。
異種移植	いしゆいしよく	xenotransplantation		ヘテロ移植	Ⅲ-13 再生医療	異種間の臓器・細胞を移植すること。強い拒絶反応や感染が問題となる。
萎縮性胃炎	いしゆくせいいいん	atrophic gastritis	AG		Ⅲ-8 消化器疾患	慢性に萎縮した胃粘膜をもつ胃炎(ヘリコバクターに関与することが多い)。
胃食道逆流症	いしよくどうぎゃくりゅう	gastroesophageal reflux diseases	GERD		Ⅲ-8 消化器疾患	横門括約筋の収縮力が低下し、胃の一部が食道の方にヘルニアを起こした食道胃裂孔ヘルニア時に、胃酸が食道下部を傷付ける病態。
移植片対宿主病	いしよくへんたいしゆくしゅびょう	graft versus host disease			Ⅲ-13 再生医療	骨髓移植や輸血に伴っておこるドナーのT細胞が宿主(ホストあるいはレシピエント)の組織細胞を攻撃する現象。
I型アレルギー	いちがたあれるぎー	type I allergy			Ⅲ-7 免疫疾患	即時型アレルギー反応とよばれ、抗原が体内に入るとすぐに免疫グロブリンと結合した白血球よりヒスタミンなどの遊離を起こす。
一次性進行型多発性硬化症	いちじせいしんこうがたはつせいこうかしょう	primary progressive multiple sclerosis	PPMS		Ⅲ-6 神経疾患	発症時より寛解期を認めず持続的な進行を呈する中枢神経系脱髄疾患。
一時ペースメーカー	いちじべーすめーか	temporary pacemaker		体外ペースメーカー	Ⅲ-3 循環器疾患	一時的に使用するペースメーカー。経静脈的なものと経皮的なものがある。
一秒率	いちびょうりつ	forced expiratory volume in one second percent	FEV1.0%		Ⅲ-14 肺疾患	一秒量が肺活量に占める割合。
一秒量	いちびょうりょう	forced expiratory volume in one second	FEV1.0		Ⅲ-14 肺疾患	呼吸ははじめから1秒後の呼出量。
一回換気量	いっかいかんきりょう	tidal volume			Ⅲ-14 肺疾患	肺まで到達して肺泡でガス交換される空気量。
一酸化窒素	いっさんかちつそ	nitric oxide	NO		Ⅲ-11 感染症・敗血症	血管拡張作用を持つ内因性生理活性物質(ガスメディエータ)。L-ア르기ニンを基質としNO合成酵素により産生される。
イディオタイプ	いでいおたいぷ	idiotype			Ⅲ-7 免疫疾患	個々の免疫グロブリン、またはT細胞レセプターの変異領域に存在する抗原決定基の総体。
イレウス	いれうす	ileus		腸閉塞	Ⅲ-8 消化器疾患	広義には、腸管麻痺と腸閉塞の両者を含み、狭義には腸管麻痺をさす。
陰イオン交換樹脂	いんいおんこうかんじゆし	anion exchange resin		陽イオン交換樹脂	Ⅱ-2 吸着法	アミノ基やイミノ基のような塩基性基をもち、対立イオンとして陰イオンを交換する樹脂。ビリルビン吸着器やLDL吸着器に利用されている。

陰イオン交換樹脂	いんいおんこうかんじゆし	resin	レジン	コレステミド, コレスチラミン	Ⅲ-4 脂質異常症	腸管内で胆汁酸を吸着し、腸肝循環を絶つことにより、肝臓の胆汁酸プールの減少、胆汁酸合成の増加、肝臓内コレステロールの需要増加からLDL受容体発現を増加し、LDLコレステロールを低下させる薬剤。
インクリラン	いんくりらん	incisiran			Ⅲ-4 脂質異常症	PCSK9をsiRNAを用いて阻害する核酸医薬である。阻害効果の持続期間が長く、年に2回の投与でLDL-Cの低下効果が報告されている。欧州、米国ですでに承認されている。
陰性荷電	いんせいしかでん	negative charge			Ⅱ-2 吸着法	物体にマイナスの電荷を帯びさせること、またはマイナスに帯電した状態を示し、荷電と帯電は同義で用いられる。
インターフェロン	いんたーふえろん	interferon	IFN		Ⅲ-7 免疫疾患	抗ウイルス活性をもつ分子量約2万の1本のポリペプチド鎖からなるタンパク質の総称。
インターフェロα/β	いんたーふえろん(あるふあ)	interferon alpha(α)	IFNα		Ⅲ-7 免疫疾患	好中球やマクロファージなど由来で、抗ウイルス作用のほか腫瘍増殖抑制作用などがある。
インターフェロンγ	いんたーふえろん(がんま)	interferon beta(γ)	IFNγ		Ⅲ-7 免疫疾患	T細胞やNK細胞から分泌されるサイトカインで、白血球による炎症を強化する作用やMHC分子の発現を増加させる働き、マクロファージや樹状細胞を刺激して細菌を貪食殺菌させる作用を持つ。
インターフェロベータ(b)	いんたーふえろん(べータ)	interferon beta(b)	IFNb		Ⅲ-7 免疫疾患	線維芽細胞や上皮細胞などで作られ、抗ウイルス効果や抗腫瘍効果を有するタンパク質。
インターフェロン関連遺伝子	いんたーふえろんかんれんいでんし	interferon-related gene			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	インターフェロン産生に関連する遺伝子。インターフェロンは、生体内で病原体(主にウイルス)や腫瘍細胞など異物の侵入に反応して細胞が分泌するサイトカインの一種。I型(IFN-αなど)、II型(IFN-γ)、III型(IL-28など)に分類され、シグナル伝達経路や役割などが異なっている。
インターフェロン療法	いんたーふえろんりようほう	interferon therapy			Ⅲ-7 免疫疾患	インターフェロンの抗ウイルス効果や抗腫瘍効果を利用した治療法。
インターロイキン	いんたーろいきん	IL,interleukin	IL		Ⅱ-2 吸着法	リンパ球やマクロファージなど、免疫応答の制御に関与する免疫担当細胞が産生するサイトカインの一種。
インターロイキン	いんたーろいきん	interleukin	IL		Ⅲ-7 免疫疾患	リンパ球やマクロファージなど、免疫応答の制御に関与する免疫担当細胞が産生するサイトカインの一種。
インターロイキン18	いんたーろいきんえいていーん	interleukin-18	IL-18		Ⅲ-11 感染症・敗血症	細胞傷害性の増強などの作用を持つサイトカイン。インターフェロンγの産生を誘導。
インターロイキン8	いんたーろいきんえいと	interleukin-8	IL-8		Ⅲ-11 感染症・敗血症	マクロファージが産生するサイトカインで好中球の走化活性を促進する。好中球の遊走と活性化を促進する。
インターロイキン6	いんたーろいきんしっくす	interleukin-6	IL-6		Ⅲ-7 免疫疾患	T細胞やマクロファージを含む様々な細胞から分泌されるサイトカインで、炎症性サイトカインおよび抗炎症性サイトカインの両方として作用し、リンパ球および単球分化に関与し、B細胞がIg分泌細胞に最終分化するために不可欠な役割を果たす。血中IL-6値は、免疫炎症反応の程度を反映する。
インターロイキン6	いんたーろいきんしっくす	interleukin-6	IL-6		Ⅲ-11 感染症・敗血症	T細胞やマクロファージを含む様々な細胞から分泌されるサイトカインで、炎症性サイトカインおよび抗炎症性サイトカインの両方として作用し、リンパ球および単球分化に関与し、B細胞がIg分泌細胞に最終分化するために不可欠な役割を果たす。血中IL-6値は、免疫炎症反応の程度を反映する。
インターロイキン2	いんたーろいきんつー	interleukin-2	IL-2		Ⅲ-7 免疫疾患	抗原刺激を受けたT細胞より分泌されるサイトカインで、IL-2産生細胞表面に発現した特異的レセプターを介して増殖を促す。
インターロイキン10	いんたーろいきんてん	interleukin-10	IL-10		Ⅲ-7 免疫疾患	Th2細胞から産生され、Th1細胞からのサイトカイン産生を抑制する。当初は、サイトカイン合成阻害因子(CSIF)と呼ばれた。分子量は、3.5-4万の二量体。
インターロイキン5	いんたーろいきんふあいぶ	interleukin-5	IL-5		Ⅲ-7 免疫疾患	ヘルパーT細胞より抗原やマイトジェン刺激により分泌される糖蛋白で、好酸球の増殖分化因子として作用する。
インターロイキン4	いんたーろいきんふおー	interleukin-4	IL-4		Ⅲ-7 免疫疾患	活性化T細胞、肥満細胞より産生され、B細胞、胸腺細胞、肥満細胞、マクロファージなど種々の免疫細胞・造血系細胞に作用し、特に生体内でIlgE産生を促進する。
インターロイキン1	いんたーろいきんわん	interleukin-1	IL-1		Ⅲ-7 免疫疾患	単球、マクロファージ由来の代表的なサイトカイン。分子量17.5万のポリペプチド。
インターロイキン1b	いんたーろいきんわんぶ	interleukin-1b	IL-1b		Ⅲ-11 感染症・敗血症	単球系、B細胞、内皮細胞、ケラチノサイトなどから産生される炎症反応を誘導し、免疫反応を調節するサイトカイン。
インテグリン(ファミリー)	いんてぐりん(ふあみりー)	integrin(family)			Ⅲ-7 免疫疾患	特徴的な構造をもつ接着分子の一群で、ファミリーを形成する。白血球の炎症部位への遊走やリンパ球ホーミングなどに重要な働きをしている。
インテグリンb1サブファミリー	いんてぐりんべーたわんさぶふあみりー	very late(activation) antigen	VLA		Ⅲ-7 免疫疾患	ヒトT細胞(リンパ球)をマイトジェン刺激後数週間が発現が増強する後期活性化表面抗原として同定された。
インデュサーT細胞	いんでゅーさーていーさいぼう	inducer T lymphocyte	inducer T cell	ヘルパーT細胞	Ⅲ-7 免疫疾患	エフェクター細胞と異なり機能細胞としては働かないが、ほかの細胞の分化を活性化または不活性化して免疫応答を調節する機能をもつT細胞集団。
インヒビターを有する血友病	いんひびたーをゆうするけつゆうびょう	hemophilia with an inhibitor			Ⅲ-15 血液疾患・その他	第VIII因子に対する抗体産生が最も多い。血友病Aインヒビターは輸注した第VIII因子に対する同種抗体が生じ、輸注不応、出血傾向を生じる。
インフルエンザ性髄膜炎	いんふるえんざせいずいまくえん	influenzal meningitis			Ⅲ-6 神経疾患	インフルエンザウイルスによる髄膜炎で、髄膜刺激症状を呈し、意識障害等の脳炎症状を欠く場合。
インフルエンザ性脳炎	いんふるえんざせいのうえん	influenzal encephalitis			Ⅲ-6 神経疾患	インフルエンザウイルスによる脳炎で、幼児に多く、発熱に続き、痙攣・意識障害・異常行動などがみられ、致死性的または後遺症が残ることもある。
インフルエンザ脳症	いんふるえんざのうしょう	influenzal encephalopathy			Ⅲ-6 神経疾患	インフルエンザウイルス感染による脳障害で、発熱後、急速に神経障害・意識障害を発症。急性壊死性脳症、ライ症候群、出血性ショック脳症(HSE)症候群などに分類されている。
ウイルス関連血球貪食症候群	ういるすかんれんけつきゅうどんしよくしょうこうぐん	virus associated hemophagocytic syndrome	VAHS		Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	ウイルス感染に続発して生じた血球貪食症候群。
ウイルス性髄膜炎	ういるすせいずいまくえん	viral meningitis			Ⅲ-6 神経疾患	ウイルスに起因する髄膜炎で、エンテロウイルス感染が最も多く、夏期に多い。年長児以降では髄膜刺激症状を認めるが、乳児では認めないことも多い。予後は比較的良好。
ウイルス性脳炎	ういるすせいのうえん	viral encephalitis			Ⅲ-6 神経疾患	ウイルスに起因する脳炎。かぜ症状に続き、意識障害、痙攣、異常行動などで発症することが多く、重症の場合には後遺症や死亡例がみられる。
ウイルスベクター	ういるすべくたー	viral vector			Ⅲ-13 再生医療	遺伝子操作により、ウイルスに外来遺伝子を組み込み、効率的に目的の遺伝子を細胞へ導入し発現させる能力を利用したもの。
ウィルスン病	ういるそんびょう	wilson disease		肝レンズ核変性症	Ⅲ-6 神経疾患	銅代謝の先天異常によって起こる常染色体劣性遺伝性疾患で、肝硬変、錐体外路症状を主徴とする。
ウェーバー・クリスチャン病	うえーばー・くりすちゃんびょう	Weber-Christian disease		脂肪膜炎症候群	Ⅲ-6 神経疾患	再発性発熱性非化膿性結節性皮下脂肪膜炎。
植込み型除細動器	うえこみがたじょさいどうき	implantable cardioverter defibrillator	ICD		Ⅲ-3 循環器疾患	心室細動などの致死的不整脈を感知し、除細動を行う体内植込み式の機器。
ウェスタンブロット法	うえすたんぶろっとほう	western blotting			Ⅲ-7 免疫疾患	抗体を用いて、特定のタンパク質を同定、または定量する生化学的方法の一つ。
ウエストナイル熱	うえすとないるねつ	west nile fever			Ⅲ-6 神経疾患	ウエストナイルウイルスによる突然の発熱(39℃以上)、頭痛、筋肉痛、時に消化器症状、発疹を特徴とする感染症。
ウエストナイル脳炎	うえすとないるのうえん	west nile encephalitis			Ⅲ-6 神経疾患	ウエストナイルウイルスによる筋力低下、頭痛、意識障害、痙攣等を伴う脳炎。
右心不全	うしんふぜん	right-sided heart failure	RHF		Ⅲ-14 肺疾患	右室の機能低下による心不全。
運動過多(症)	うんどうかた(しょう)	hyperkinesias(-sis)			Ⅲ-6 神経疾患	患者の意図によるものでない運動の過剰(症)。
運動緩慢	うんどうかんまん	bradykinesia		寡動	Ⅲ-6 神経疾患	動作が小さく遅くなった状態。
運動減少(症)	うんどうげんしょう(しょう)	hypokinesia(-sis)		寡動, 無動	Ⅲ-6 神経疾患	随意運動の減少または欠如。
運動時振戦	うんどうじんせん	kinetic tremor			Ⅲ-6 神経疾患	運動時に出現するか、あるいは強くなるふるえ。
運動失調(症)	うんどうしつちょう(しょう)	ataxia			Ⅲ-6 神経疾患	運動課題の遂行に際して、運動が協調性なく拙劣であること。
運動終板	うんどうしゅうばん	motor end-plate			Ⅲ-6 神経疾患	筋肉内にみられる運動神経繊維の終末分枝。
運動神経	うんどうしんけい	motor nerve			Ⅲ-6 神経疾患	運動を司る神経およびその経路。
運動神経伝達速度	うんどうしんけいでんたつそくど	motor(nerve)conduction velocity	M(N)CV		Ⅲ-6 神経疾患	運動神経の神経伝導速度。
運動性ニューロパシー	うんどうせいにゆーろばちー	motor neuropathy			Ⅲ-6 神経疾患	運動神経障害。
運動ニューロン	うんどうにゆーろん	motoneuron, motor neuron			Ⅲ-6 神経疾患	運動を司る神経系または神経単位。
運動ニューロン疾患	うんどうにゆーろんしっかん	motor neuron disease	MND		Ⅲ-6 神経疾患	筋肉の運動を支配する神経系統だけが、選択的に侵される原因不明の変性疾患の総称。
運動負荷心電図検査	うんどうふかしんでんずけんさ	exercise electrocardiogram, ECG exercise testing			Ⅲ-3 循環器疾患	主に虚血性心疾患の診断の目的に行われる。トレッドミル、エルゴメーター、階段昇降法などがある。
エアートラップチャンバ	えあーとらつぷちゃんば	air trap chamber		drip chamber	Ⅱ-3 周辺機器	血液回路内の気泡、微小血栓、回路内遺残物を捕捉する。また、回路内圧をモニタリングするための空気槽。
エイコサペンタエン酸	えいこさぺんたえんさん	eicosa pentaenoic acid	EPA	魚油に含まれるω-3多価不飽和脂肪酸	Ⅲ-4 脂質異常症	生体内で合成されない必須脂肪酸のうち魚油に多く含まれる多価不飽和脂肪酸で、ω-3脂肪酸に分類される。トリグリセリド低下作用や抗血栓作用に基づいた動脈硬化抑制作用が報告されている。

エイズ脳症	えいずのうしょう	AIDS dementia complex			Ⅲ-6 神経疾患	HIV感染末期, すなわち最終段階で発症する脳症。
HDLコレステロール	えいちでいーえるこれすてろーる	high-density lipoprotein cholesterol	HDL-C		Ⅲ-4 脂質異常症	高比重リポタンパク(HDL)中のコレステロールのことで、疫学研究および観察研究においてその低下が冠動脈疾患の発症と関連することから、善玉コレステロールとも呼ばれる。
栄養膜幹細胞	えいようまくかんさいぼう	trophoblast stem cells			Ⅲ-13 再生医療	受精卵から胎盤に分化する細胞。
ARHタンパク	えーあーるえいちたんぱく	autosomal recessive hypercholesterolemia protein		LDLRAP1 (low-density lipoprotein receptor adaptor protein 1)	Ⅲ-4 脂質異常症	LDL受容体のアダプタータンパクで、クラスリン、AP2とともに複合体を形成してLDL受容体の細胞内取り込みに関わる。
A型肝炎ウイルス	えーがたかんえんいういるす	hepatitis A virus	HAV		Ⅲ-1 肝疾患	経口感染するウイルス、劇症化の確率は低いが集団発生例もある。
ACRコアセット	えーしーあーるこあせっと	ACR core set			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	アメリカリウマチ学会提唱の関節リウマチ活動性評価定義。
ACD液	えーしーでいえき	acid-citrate-dextrose fluid			Ⅱ-4 置換液・抗凝固法	ブドウ糖添加クエン酸ナトリウム液、血液製剤や遠心型血液成分採取装置使用時の抗凝固に用いる液。カルシウムをキレートすることにより、血液凝固が抑制される。
AC比	えーしーひ	AC ratio			Ⅱ-4 置換液・抗凝固法	採血流量と抗凝固剤流量の比率。
ACE阻害薬	えーすそがいやく	angiotensin-converting enzyme inhibitor	ACE-I, ACEI		Ⅲ-4 脂質異常症	アンギオテンシンIIからアンギオテンシンIIへの変換酵素を阻害すると同時にブラジキニンの分解を抑制して降圧作用を示す降圧薬。デキストラン硫酸セルロース法を用いたLDLアフェレンスとの併用は禁忌である。
ATP結合カセットトランスポーターA1	えーていーびーけつごうかせつととらんすぽーたーえーわん	ATP-binding cassette transporter A1	ABCA1		Ⅲ-4 脂質異常症	アポA-IIにコレステロールやリン脂質を細胞膜の内側から外側へ運搬して、高比重リポタンパク(HDL)生成に寄与するタンパク質。タンジール病の原因遺伝子である。
ATP結合カセットトランスポーターG5/G8	えーていーびーけつごうかせつととらんすぽーたーえーじーふあいぶじーえいと	ATP-binding cassette transporter G5/G8	ABCG5/G8		Ⅲ-4 脂質異常症	ABCG5とABCG8はヘテロダイマーを形成して、小腸において植物ステロールの排泄に関わる。
ABO血液型不適合	えーびーおーけつてききがたふてきごう	ABO-incompatible			Ⅲ-12 移植	移植医療において、ABO血液型が不適合の場合。
ABO血液型不適合移植	えーびーおーけつてききがたふてきごういしょく	ABO-incompatible transplantation			Ⅲ-12 移植	ABO血液型が不適合の移植。患者が移植臓器の血液型に対する抗体を保有している場合は、血漿交換法などにより抗血液型抗体価を下げる。
ABO不適合腎移植	えーびーおーふてきごうじんいしょく	ABO-incompatible kidney transplantation			Ⅲ-2 腎疾患	ドナーとレシピエントの血液型の不一致により免疫反応を起こしてしまう状態(不適合)で行われる腎移植。
液性拒絶反応	えきせいきょぜつはんのう	humoral allograft rejection			Ⅲ-12 移植	急性拒絶反応の中でも抗体や補体が主体で免疫反応を惹起する拒絶反応。
液性免疫	えきせいめんえき	humoral immunity			I 総説	B細胞が主体となって、抗体を作ることと異物に対抗する免疫反応。
液性免疫	えきせいめんえき	humoral immunity			Ⅲ-7 免疫疾患	B細胞が主体となって、抗体を作ることと異物に対抗する免疫反応。
液性免疫	えきせいめんえき	humoral immunity			Ⅲ-12 移植	B細胞が主体となって、抗体を作ることと異物に対抗する免疫反応。
液体クロマトグラフィー	えきたいりくまとぐらふいー	liquid chromatography			Ⅲ-7 免疫疾患	移動相として液体を用いるクロマトグラフィーの総称。狭義にはカラムクロマトグラフィーの一種で、カラム内で分離後も展開溶媒を流し続け、各成分を順次流出させて連続定量あるいは分取する方法。
エコノミークラス症候群	えこのみーくらすしょうこうぐん	economy class syndrome		深部静脈血栓症	Ⅲ-3 循環器疾患	航空機利用など長時間足を動かさずに同じ姿勢でいた際に生じうる、深部静脈血栓症・肺塞栓症の一般呼称。
壊死性筋炎	えしせいきんえん	necrotizing autoimmune myopathy			Ⅲ-6 神経疾患	筋炎の中でも壊死再生線維の多発を主体とし、炎症性リンパ球浸潤の乏しい病理像を特徴とする病型で、臨床的には、四肢近位部優位の左右対称性の筋力低下と筋萎縮、血清CK高値(4000～13000 IU/L)が特徴。
SLPテスト	えすえるびーですと	Silk-worm Larvae plasma test	SLP		Ⅲ-11 感染症・敗血症	細菌の細胞壁成分であるペプチドグリカンと真菌の細胞壁成分であるβ-D-グルカンを検出する検査。
SGLT2阻害薬	えすじーえるていーつーそがいやく	sodium/glucose cotransporter 2 inhibitor			Ⅲ-2 腎疾患	尿に糖を出すことで血糖を下げる薬剤。
SDS-ポリアクリルアミドゲル電気泳動法	えすでいーえすーぼりあくりるあみどけるでんきえいどうぼう	SDS-polyacrylamide gel electrophoresis	SDS-PAGE		Ⅲ-7 免疫疾患	タンパク質を2-メルカプトエタノールなどの還元剤とともに界面活性剤SDSを含むポリアクリルアミドゲル電気泳動法を行いタンパク質を分解する方法。
エストロゲン	えすとろげん	estrogen		卵胞ホルモン	Ⅲ-9 小児疾患・生殖器疾患	主に卵巣で作られる女性ホルモン。8.9歳ごろから分泌量が増え、思春期に乳房の成長や子宮・膣の発育などを促す。
SpO2	えすびーおーつー	saturation of percutaneous oxygen			Ⅲ-14 肺疾患	「動脈血酸素飽和度」の項目参照。
SP細胞	えすびーさいぼう	side population cell		SP細胞分離法	Ⅲ-13 再生医療	成体組織に存在している、DNA色素(Hoechst33342)排出能力をもつ細胞。幹細胞が含まれる。
エゼチミブ	えぜちみぶ	ezetimibe		小腸コレステロールトランスポーター阻害薬	Ⅲ-4 脂質異常症	「小腸コレステロールトランスポーター阻害薬」を参照。
壊疽性膿皮症	えそせいのうひしょう	pyoderma gangrenosum	PG		Ⅲ-10 皮膚疾患	慢性の無菌性潰瘍を形成する好中球性皮膚症の一種、潰瘍性大腸炎、血液疾患、関節リウマチを合併症することがある。
NK細胞	えぬけいさいぼう	natural killer cell			Ⅲ-7 免疫疾患	特定の抗原がなくても異常な細胞を感知し、直接除去し、後天性の免疫細胞(樹状細胞、B細胞、T細胞)の活性を誘導し、免疫反応と炎症反応を調節し、がん幹細胞や循環腫瘍細胞を効果的に除去する免疫細胞。
NK細胞	えぬけーさいぼう	natural killer cell			Ⅱ-1 分離法	特定の抗原がなくても異常な細胞を感知し、直接除去し、後天性の免疫細胞(樹状細胞、B細胞、T細胞)の活性を誘導し、免疫反応と炎症反応を調節し、がん幹細胞や循環腫瘍細胞を効果的に除去する免疫細胞。
エピジェネティクス	えびじえねていっくす	epigenetics			Ⅲ-13 再生医療	クロマチンへの修飾により遺伝子発現制御が生じることに起因する遺伝学・分子生物学の研究分野。
エピトープ	えびとーぷ	epitope			Ⅲ-6 神経疾患	抗体やT細胞抗原レセプター(TCR)に特異的に認識される抗原上の化学構造、すなわち抗原決定基のこと。
エビナクマブ	えびなくまぶ	evinacumab			Ⅲ-4 脂質異常症	ANGPTL3に対する抗体医薬で、FHホモ接合体に対するLDL-C低下効果があり、欧州および米国で承認されている。
エフェクター細胞	えふえくたーさいぼう	effector cell			Ⅲ-7 免疫疾患	生体が示すさまざまな免疫反応において、標的となる異物に直接的に働いて免疫効果を発現させる役割を担っている細胞。
FGF23	えふじーえふにじゅうさん	fibroblast growth factor-23	FGF23		Ⅲ-2 腎疾患	骨細胞で作られて、血中に分泌されるホルモンの一つ。血中のリンを低下させる働きがあり、血中のリンを一定の範囲に調節する因子の一つ。
FC結合	えふしーけつごう	Fc binding			Ⅱ-2 吸着法	Protein AをリガンドとしてIgGのFc部位に親和性をもち、IgGおよび免疫複合体を除去するProsorbaやImmunosorbaなどの吸着器の吸着様式。
Fc受容体	えふしーじゅようたい	Fc receptor	FcR		Ⅲ-7 免疫疾患	免疫グロブリンのFc部分と結合するレセプター。
FDP	えふていーびー	FDP			Ⅲ-11 感染症・敗血症	フィブリンがプラスミンによって分解される際の生成物の総称。Dダイマーはこの生成物の一つ。
エボロクマブ	えぼろくまぶ	evolocumab			Ⅲ-4 脂質異常症	PCSK9に対する抗体医薬であり、スタチン、エゼチミブに加えて、さらにLDL-C値を低下する作用がある。アウトカムスタディで心血管疾患予防に効果があることが示されている。
M波	えむは	M-wave			Ⅲ-6 神経疾患	運動神経の神経幹を刺激した時に末端の支配筋より生じる筋活動電位。
エラッド	えらっと	extracorporeal liver assist device	ELAD		Ⅲ-1 肝疾患	高分化肝芽腫細胞を充填したバイオフィクターを用いた人工肝補助システム。
LE因子	えるいーいんし	lupus erythematosus (LE) factor			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	SLEなどで認められる抗DNA-ヒストン抗体。
LE現象	えるいーげんしょう	LE phenomenon			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	SLEなどで認められるLE因子が関与する現象。
LE細胞	えるいーさいぼう	LE cell			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	SLEなどで認められる白血球に貪食された細胞。

LE試験	えるいーしけん	LE test			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	SLEなどで認める自己抗体へのラテックス凝集反応。
L-FABP	えるえふあーびーびー	liver-type fatty acid-binding protein			Ⅲ-2 腎疾患	腎臓の近位尿管に発現する分子量14 kDaの可溶性蛋白であり、腎臓の再吸収機能を担う尿管において、エネルギー代謝や脂質代謝に重要な役割を担う。近位尿管が虚血や酸化ストレスの負荷を受けると発現が増強し、尿中への排出が増加することから、組織障害が進行する前のストレスの程度を反映する新しいバイオマーカー。
LDLアフェレシス	えるでいーえるあふえれしず	LDL apheresis	LDL-A		I 総説	患者血漿から陽性荷電のLDLコレステロールを陰性荷電のビーズに吸着させることで分離除去する方法
LDLアフェレシス	えるでいーえるあふえれしず	LDL apheresis	LDL-A		Ⅲ-2 腎疾患	患者血漿から陽性荷電のLDLコレステロールを陰性荷電のビーズに吸着させることで分離除去する方法
LDLアフェレシス	えるでいーえるきゅうちやく	LDL adsorption			Ⅱ-2 吸着法	患者血漿から陽性荷電のLDLコレステロールを陰性荷電のビーズに吸着させることで分離除去する方法
LDLコレステロール	えるでいーえるこれすてろーる	low-density lipoprotein cholesterol	LDL-C		Ⅲ-4 脂質異常症	低比重リポタンパク (LDL) に含有されるコレステロールのことで、その高値は動脈硬化の発症と関連し、介入による低下で動脈硬化の発症を予防することができる。
LDL受容体	えるでいーえるじゅようたい	low-density lipoprotein receptor	LDLR		Ⅲ-4 脂質異常症	ほとんどの細胞表面に存在して、低比重リポタンパク (LDL) を結合して細胞内に取り込むタンパクであり、その活性により血中LDLコレステロール値を制御する。LDLR遺伝子変異による機能低下が、家族性高コレステロール血症の主要な原因となっている。
LDL受容体関連物質	えるでいーえるじゅようたいかんれんぶっしつ	LDL receptor related protein	LRP		Ⅲ-4 脂質異常症	「低比重リポタンパク受容体関連タンパク」の項目参照。
嚥下困難	えんげこなん	difficulty in swallowing, swallowing difficulty			Ⅲ-6 神経疾患	疾病や老化などの原因により飲食物の咀嚼や飲み込みができなくなる病態。
嚥下障害	えんげしやうがい	dysphagia			Ⅲ-6 神経疾患	疾病や老化などの原因により飲食物の咀嚼や飲み込みが困難になる障害。
塩酸エドロフォニウム試験	えんさんえどろふおにうむしけん	edrophonium chloride test		アンチレックステスト	Ⅲ-6 神経疾患	アセチルコリンの分解を阻害する薬である抗コリンエステラーゼ薬 (塩酸エドロフォニウム) を静脈注射し、筋無力症状が改善するかを見る検査。
炎症性サイトカイン	えんししょうせいさいとかいん	proinflammatory cytokine			Ⅲ-11 感染症・敗血症	単球やマクロファージ、好中球、リンパ球、血管内皮細胞などから放出され炎症反応を惹起するサイトカインの総称。
炎症性腸疾患	えんししょうせいちょうしつかん	inflammatory bowel disease	IBD	潰瘍性大腸炎、クローン病	Ⅲ-8 消化器疾患	寛解と再燃を繰り返し消化管に炎症を引き起こす原因不明の疾患の総称。潰瘍性大腸炎とクローン病がIBDの代表的な2疾患。
炎症性腸疾患	えんししょうせいちょうしつかん	inflammatory bowel disease	IBD	潰瘍性大腸炎、クローン病	Ⅲ-9 小児疾患・生殖器疾患	寛解と再燃を繰り返し消化管に炎症を引き起こす原因不明の疾患の総称。潰瘍性大腸炎とクローン病がIBDの代表的な2疾患。
炎症性腸疾患の活動度分類 (特にクローン病)	えんししょうせいちょうしつかんのかつどうぶんるい (とくにクローンびょう)	The International Organization for the Study of Inflammatory Bowel Diseases (IOIBD) assessment score	IOIBD		Ⅲ-8 消化器疾患	炎症、栄養のマーカー、および末梢血球数を1～2週毎に検査する10項目からなるクローン病の活動指数。
遠心 (式) 血漿分離装置	えんしん (しき) けっしょうぶんりそうち	centrifugal plasma separation system			Ⅱ-1 分離法	遠心力を利用して血液成分の比重の差から各種の血球、血漿を分離し、成分採取する。血液センターや輸血部の領域で使用されている血液成分採血装置である。
遠心分離 (法)	えんしんぶんり (ほう)	centrifugal separation		遠心血漿分離	I 総説	遠心力が粒子の拡散力より大きくなった時、血液成分の比重差に従って各成分が沈降、分離することを利用した分離法。
遠心分離血漿交換 (法)	えんしんぶんりけっしょうこうかん	centrifugal plasmaexchange	eTPE	PE	I 総説	遠心分離装置を用いて施行する血漿交換法。
遠心分離式白血球除去療法	えんしんぶんりしきはつけっきゅうじょきりょうほう	centrifugal leukocytapheresis	CCAP	白血球系細胞除去療法、白血球除去療法、リンパ球除去療法、血球成分除去療法	I 総説	血液細胞の遠心沈降差によって血球成分を分離し白血球を除去する方法。
エンドセリン	えんどせりん	endothelin			Ⅱ-2 吸着法	血管内皮細胞由来のペプチドで、強力な血管収縮作用を有する。
エンドトキシン	えんどときしん	endotoxin			Ⅲ-11 感染症・敗血症	グラム陰性桿菌の細胞壁を構成するリポ多糖。強い生体反応を惹起する。
エンドトキシン吸着 (療法)	えんどときしんきゅうちやく (りょうほう)	endotoxin adsorption (therapy)			I 総説	体外循環により血液中のエンドキシンやサイトカインをカラムにより吸着除去する方法。
エンドトキシン血症	えんどときしんけっしょう	endotoxemia			Ⅲ-11 感染症・敗血症	グラム陰性桿菌感染による敗血症。
エンドトキシントランスロケーション	えんどときしんとらんすろけーしょん	endotoxin translocation			Ⅲ-11 感染症・敗血症	グラム陰性菌の細胞壁成分であるエンドキシンが腸管粘膜バリアーを通過して、体内に移行する状態。
円板状エリテマトーデス	えんぱんじょうえりてまとーです	discoid lupus erythematosus	DLE		Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	頬などに生じる皮膚型エリテマトーデスの一種。
黄色皰板症	おうしょうばんししょう	xanthelasma			Ⅲ-4 脂質異常症	眼瞼にみられる黄色腫を指すこともある。
黄色腫	おうしょくしゅ	xanthoma			Ⅲ-4 脂質異常症	脂質の沈着によって起こる皮膚や腱の肥厚。脂質異常症でみられる。
黄色腫症	おうしょくしゅしょう	xanthomatosis			Ⅲ-4 脂質異常症	黄色腫症とは皮膚の粘膜に漏れ出た脂質を組織球が貪食し、泡沫細胞として組織に存在する状態で、黄色腫は黄色腫細胞が真皮に浸潤することにより皮下結節として触れ、通常、アキレス腱、膝蓋腱、および指伸腱に起こる。
横断性脊髄炎	おうだんせいせきずいえん	transverse myelitis			Ⅲ-6 神経疾患	脊髄のあるレベルで広範な炎症が起こることにより生じる病態の総称。
横断性脊髄症	おうだんせいせきずいししょう	transverse myelopathy			Ⅲ-6 神経疾患	脊髄のあるレベルで広範な障害による病態の総称。
横紋筋融解症	おうもんきんゆうかいししょう	rhabdomyolysis			Ⅲ-4 脂質異常症	腎機能障害を伴う筋肉症状があり、通常ミオグロビン尿を伴う。
大型顆粒リンパ球	おおがたかりゅうりんぱきゅう	large granular lymphocyte			Ⅱ-1 分離法	「ナチュラルキラー細胞」の同義語。
オートファジー	おーとふあじー	autophagy			Ⅲ-7 免疫疾患	自食を意味する細胞内タンパク分解システム。細胞内で不要となったオルガネラや貪食細胞が取り込んだ病原微生物などを隔離膜と呼ばれる膜で取り囲み、ライソゾームと融合して消化吸収するシステム。
Oct-3/4	おくとしりふーおー	Oct-3/4			Ⅲ-13 再生医療	ES細胞の未分化能維持に重要な転写因子。iPS細胞の樹立にも用いられる。
オニオンスキン病変	おにおんすきんびょうへん	onion-skin lesion			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	SLEで認める脾中心動脈周囲の線維性病変。
オプソニン	おぷそにん	opsonin			Ⅲ-7 免疫疾患	細菌などの微生物や粒子に付着して、マクロファージや好中球の食細胞によるファゴサイトーシス (食作用) を受けやすくする血漿や体液中に存在する物質。
オリゴクローナル (IgG) / バンド	おりごくろーなる (あじーじー) ばんど	oligoclonal (IgG) band			Ⅲ-6 神経疾患	髄液タンパクの電気泳動において γ-グロブリン領域に幅狭く濃染した数本のバンドが出現するものを指し、その本態は少数のクローンから成る局所産生 IgG。
オリゴデンドロサイト	おりごでんとろさいと	oligodendrocyte			Ⅲ-6 神経疾患	いくつかの短い突起を有する細胞で、神経伝達速度を上げるためのミエリン鞘を作るグリア細胞の一つ。
オルガノイド	おるがのいど	organoid	GVHD		Ⅲ-13 再生医療	生体外で作られた臓器あるいは組織の特徴を有する立体組織のこと。
温度応答性高分子	おんどおうとうせいこうぶんし	thermo-sensitive polymer		温度感受性高分子	Ⅲ-13 再生医療	低温では親水性であるが、ある温度を超えると疎水性になる高分子。これを利用して細胞シートが作製される。
オンライン血液濾過透析	おんらいんけつえきろかどうせき	on-line hemodiafiltration			Ⅲ-1 肝疾患	エンドキシンプリーとした透析液の一部を補充液として用いる血液浄化法。大量濾過が可能であり、人工肝補助療法としても用いられる。
オンライン濾過補充液	おんらいんろかほじゅうえき	on-line prepared (or filtered) dialysis fluid for substitution		補充用オンライン調整 (または濾過) 透析液	Ⅱ-4 置換液・抗凝固法	オンライン血液透析濾過法やオンライン持続血液透析濾過法において、高度に清浄化した透析液をさらにエンドキシン除去フィルタで濾過して用いる補充液。
CAR-T細胞療法	かー・ていさいいぼうりょうほう	chimeric antigen receptor-T cell therapy	TS細胞		Ⅲ-13 再生医療	患者の血液からT細胞をとりだし、キメラ抗原受容体 (CAR) 遺伝子を導入して戻し、特異的に癌細胞を攻撃するがん免疫療法。
下位運動ニューロン	かいうんどうにゅーろん	lower motor neuron			Ⅲ-6 神経疾患	細胞体と樹状突起が中枢神経系内に存在し、軸索は末梢神経となって伸び筋線維とシナプスするニューロン。

下位運動ニューロン疾患	かいうんどうにゅーろんしっかん	lower motor neuron disease			Ⅲ-6 神経疾患	運動ニューロン疾患の中で下位運動ニューロン障害の強いタイプ。
海馬	かいば	hippocampus			Ⅲ-6 神経疾患	大脳辺縁系の一部で特徴的な層構造をもち、脳の記憶や空間学習能力に関わる脳の器官。
外胚葉	がいはいよう	ectoderm			Ⅲ-13 再生医療	動物の胚発生で形成され、主に表皮や神経、感覚器が分化する胚葉。
潰瘍性大腸炎	かいようせいだいちょうえん	ulcerative colitis	UC	炎症性腸疾患	Ⅲ-8 消化器疾患	主として大腸の粘膜を侵し、びらんや潰瘍を形成する原因不明の大腸のびまん性非特異性炎症。
潰瘍性大腸炎	かいようせいだいちょうえん	ulcerative colitis	UC	炎症性腸疾患	Ⅲ-9 小児疾患・生殖器疾患	主として大腸の粘膜を侵し、びらんや潰瘍を形成する原因不明の大腸のびまん性非特異性炎症。
カイロミクロン(カイロマイクロン)	かいろみくろん(カイロマイクロン)	chylomicron	CM		Ⅲ-4 脂質異常症	超遠心分析法により0.96 mg/dL未満に分離される最も比重が低い外因性リポタンパク。小腸粘膜で合成される巨大脂肪滴で脂質を輸送。
加温式リサーキュレーション法	かおんしきりさーきゅれーしょんぽう	DF thermo		DFサーモ法	I 総説	二重濾過血漿交換(DFPP)で、血漿分画分離を42℃付近にて制御する部分再循環法。
過期産	かきさん	post-term (postmature) delivery			Ⅲ-9 小児疾患・生殖器疾患	妊娠42週(満294日)以後の分娩をいう。
可逆性後頭葉白質脳症	かぎやくせいこうとうようはくしつのうしやう	posterior reversible encephalopathy syndrome	PRES		Ⅲ-6 神経疾患	意識障害・痙攣発作・頭痛・視覚障害を症状とし、後頭葉白質に可逆性的変化をきたす脳症。
核移植	かくいしよく	nuclear transplantation		核移植技術	Ⅲ-13 再生医療	核を除去した卵子に初期胚の剖球や体細胞の核を移植すること。それぞれ核移植されたものを受精卵クローン、体細胞クローンという。
核間性眼筋麻痺	かくかんせいがんきんまひ	internuclear ophthalmoplegia	INO	MLF症候群	Ⅲ-6 神経疾患	外転神経核から動眼神経核をつなぐ内側縦束(MLF)の障害。
拡散強調画像	かくさんきやうちやうがぞう	diffusion weighted image	DWI		Ⅲ-6 神経疾患	水分子の拡散運動を画像化したMRIの撮像法で、脳梗塞の早期診断などに有用。
核上性眼筋麻痺	かくじょうせいがんきんまひ	supranuclear ophthalmoplegia			Ⅲ-6 神経疾患	動眼神経の核より上のレベル障害で前頭葉皮質、後頭葉皮質、橋・中脳部、上丘レベルの障害に起因する眼球運動障害。
拡張型心筋症	かくちやうがけしんきんしやう	dilated cardiomyopathy	DCM		Ⅲ-3 循環器疾患	進行性に心筋収縮能の低下きたし、左室のびまん性収縮障害と拡大を伴う心不全症状をきたす心筋疾患。
拡張型心筋症	かくちやうがたしんきんしやう	dilated cardiomyopathy	DCM	うっ血型心筋症	Ⅲ-9 小児疾患・生殖器疾患	進行性に心筋収縮能の低下きたし、左室のびまん性収縮障害と拡大を伴う心不全症状をきたす心筋疾患。
獲得免疫	かくとくめんえき	acquired immunity			Ⅲ-7 免疫疾患	リンパ球が中心となり外来抗原や病原体に特異的に反応し、指数関数的に増殖して強力な作用を示す。自然免疫で処理しきれない異物に対しては樹状細胞が獲得免疫への橋渡しをする。
角膜輪	かくまくりん	corneal ring		corneal arcus	Ⅲ-4 脂質異常症	角膜辺縁部にみられる白色の輪状の沈着。老人性のものと主に家族性高コレステロール血症で認められる若年性のコレステリルエステルの沈着によるものがある。
カスパーゼ	かすぱーぜ	caspase			Ⅲ-7 免疫疾患	アポトーシスにかかわるプロテアーゼ。
家族性アミロイドーシス	かぞくせいあみろいどーしす	familial amyloidosis			Ⅲ-6 神経疾患	アミロイドと呼ばれる不溶性の物質が体内に蓄積し、手、足をはじめ肝臓、心臓など様々な臓器の働きに障害を引き起こす病気。
家族性アミロイドポリニューロパチー	かぞくせいあみろいどぼりんにゅーろぱちー	familial amyloid polyneuropathy		家族性アミロイド多発ニューロパチー	Ⅲ-6 神経疾患	遺伝的に変異を起こしたトランスサイレチン(TTR)、ゲルソリン、アポAIなどが前駆タンパクとなって線維状の構造をもつアミロイドと呼ばれる特異なタンパク質が、神経節を含む末梢神経、自律神経系や他の組織に沈着することにより臓器障害を引き起こす全身性アミロイドーシス。
家族性LCAT欠損症	かぞくせいええるきやっとけっそんしやう	familial LCAT deficiency	FLD		Ⅲ-4 脂質異常症	著明な低HDL-C血症と角膜混濁、溶血性貧血、腎障害等の特徴とする常染色体劣性遺伝性疾患。
家族性欠陥アポB血症	かぞくせいけっかんあぽびーけっしやう	familial defective apolipoprotein B-100	FDB		Ⅲ-4 脂質異常症	アポB遺伝子変異による家族性高コレステロール血症である。日本では数例の報告のみである。
家族性高コレステロール血症	かぞくせいこうこれすてろーるけっしやう	familial hypercholesterolemia	FH		Ⅲ-3 循環器疾患	高LDL-C血症、早発性冠動脈疾患、腱・皮膚黄色腫を3主徴とするLDL受容体およびその関連分子の異常による常染色体優性遺伝疾患。
家族性高コレステロール血症	かぞくせいこうこれすてろーるけっしやう	familial hypercholesterolemia	FH		Ⅲ-4 脂質異常症	高LDL-C血症、早発性冠動脈疾患、腱・皮膚黄色腫を4主徴とするLDL受容体およびその関連分子の異常による常染色体優性遺伝疾患。
家族性Ⅲ型高脂血症	かぞくせいさんがたこうしけつしやう	familial type III hyperlipoproteinemia	Type III FH	Broad b病	Ⅲ-4 脂質異常症	高コレステロール血症、高トリグリセリド血症を呈し、カイロミクロンレムナントやIDLの増加、血漿リポタンパクの電気泳動でVLDLからLDLIに連続性のbroadパターンが特徴的である。アポEの多型性異常(E2/E2)を基盤に発症し、若年性動脈硬化症を示す。
家族性大腸ポリポースシス	かぞくせいだいちょうポリポースシス	familial adenomatous polyposis	FAP		Ⅲ-8 消化器疾患	遺伝的に大腸に腺腫を多発し、発癌してくる病気。遺伝子異常。
家族性複合型高脂血症	かぞくせいふくこうがたこうしけつしやう	familial combined hyperlipidemia	FCHL		Ⅲ-4 脂質異常症	常染色体優性遺伝形式をとる脂質異常症と考えられているが、その原因遺伝子などの詳細は明らかでない。複数の遺伝子の関与が示唆されている。
可塑性	かそせい	plasticity		塑性	Ⅲ-13 再生医療	細胞がその分化の系譜を超えて分化・変化する能力。
下大静脈フィルター	かだいじやうみやくふいるたーかチオン	vena cava filter cation		陽イオン	Ⅲ-3 循環器疾患	肺塞栓症を予防するために下大静脈に留置するフィルタ。
下腸間腹動脈	かちやうかんまくだうみやく	inferior mesenteric artery	IMA		I 総説	正に荷電しているイオン。
脚氣ニューロパチー	かっけにゅーろぱちー	beriberi neuropathy			Ⅲ-8 消化器疾患	下行結腸、S状結腸、直腸の血流を支配する。
褐色細胞腫	かっしよくさいぼうしゅ	pheochromocytoma			Ⅲ-6 神経疾患	ビタミンB1の欠乏によって末梢神経障害をきたす疾患。
活性化全血凝固時間	かっせいいかぜんけつぎようこじかん	activated coagulation time, activated clotting time	ACT		Ⅲ-6 神経疾患	副腎髄質や傍神経節から発生するカテコールアミン産生腫瘍。
活性酸素	かっせいさんそ	reactive oxygen species	ROS	活性酸素種	Ⅱ-4 置換液・抗凝固法	カオリンやセライトを用いてスピッツ内での血液凝固を促進して測定する血液凝固時間。ヘパリンやナファモスタット・メシル酸塩の用量調節のモニターとして用いる。
活性炭	かっせいたん	activated charcoal, activated carbon	AC		Ⅲ-11 感染症・敗血症	化学的に活性になった状態の酸素分子(O ₂)とその関連物質。非常に不安定で強い酸化力を示す。
活性炭吸着療法	かっせいたんきゅうちやくりやうぽう	carbon adsorption therapy			Ⅱ-2 吸着法	石炭やヤシ殻、フェノール樹脂、レーヨンなどによる炭素に微細な多孔質構造として細孔内に吸着物質が捕捉されようように加工した物質。
活性炭血液灌流	かっせいたんけつえきかんりゅう	charcoal hemoperfusion			Ⅱ-2 吸着法	血液を直接活性炭カラムに灌流させ、病因物質を除去を行う。
カットオフポイント	かっとおふぽいんと	cut-off point		分画分子量	Ⅲ-1 肝疾患	活性炭の炭素原子の疎水結合により物質相互作用を利用する吸着療法、睡眠薬、農薬、抗不整脈薬などの薬物中毒の治療に用いられている。
括約筋障害	かつやくいんしやうがい	sphincter disturbance			I 総説	腸の分離能を示す指標で、通常90%腸透過を阻止される溶質の分子量。
カテーテル関連血流感染	かてーてるかんれんけつりゅうかんせん	catheter-related blood stream infection	CRBSI		Ⅲ-6 神経疾患	尿道括約筋、肛門括約筋障害の総称。
加熱人血漿たん白	かねつひとけつしやうたんぱく	heated human plasma protein			Ⅲ-11 感染症・敗血症	中心静脈カテーテルなどのカテーテルに起因した血流感染。
過粘稠症候群	かねんちやうしやうこうぐん	hyperviscosity syndrome	HVS		Ⅱ-4 置換液・抗凝固法	アルブミンの純度が総たん白質の80%以上。
過敏性血管炎	かびんせいけっかんえん	hypersensitivity vasculitis			Ⅲ-15 血液疾患・その他	血液粘稠度が高くなることにより重篤な中枢神経症状、眼症状、出血症状などを合併する。
過敏性腸症候群	かびんせいだいちょうしやうこうぐん	irritable bowel syndrome	IBS		Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	過敏反応により惹起される全身性の毛細管性細動脈炎。
カプセル内視鏡	かぶせるないしきやう	capsule endoscopy	CE		Ⅲ-8 消化器疾患	通常の検査では腸に炎症・潰瘍・内分泌異常などが認められないにも関わらず、慢性的に腹部の膨張感や腹痛を訴えたり、下痢や便秘などの便通の異常を感じる症候群。
					Ⅲ-8 消化器疾患	カプセル型の小型内視鏡で、小腸病変の抽出に優れた検査。クローン病の粘膜評価に使用することが多い。

ガラクトース欠損IgA1	がらくとーすけっそんあい じーえーわん	abnormally glycosylated IgA1			Ⅲ-2 腎疾患	ガラクトースが欠損したO結合糖鎖をもつ糖鎖異常IgA1。健康者に比してIgA腎症の患者血清で増加している。
カラム	からむ	column			Ⅱ-2 吸着法	円筒状容器の意味。血液浄化療法では物質除去機能を有する材料が充填された容器を示す場合が多い。
顆粒球	かりゅうきゅう	granulocyte		好中球, 好酸球, 好塩基球	Ⅱ-1 分離法	白血球の60%を占める。細胞質には殺菌作用をもつ顆粒が存在する。ギムザ染色により、好中球、好酸球、好塩基球の3つに分類にされる。
顆粒球吸着療法	かりゅうきゅうきゅうちやくりょう ほう	granulocytapheresis	GCAP	granulocyte and monocyte apheresis (GMA)	I 総説	全血中より血球成分の中の白血球成分のうち活性化した顆粒球と単球を体外に除去する方法。
顆粒球コロニー刺激因子	かりゅうきゅうこりにーしげき いんし	granulocyte colony- stimulating factor	G-CSF		Ⅱ-1 分離法	顆粒球産生の促進、好中球の機能を高める作用のある、サイトカインの一種。
顆粒球除去器	かりゅうきゅうじょきよき	granulocyte removal column		血球細胞除去用浄化器	Ⅱ-1 分離法	カラム内に直径約2 mmのセルロースアセテートビーズを約3万個内蔵した直接血液吸着器。主に顆粒球の吸着除去が目的。
顆粒球除去療法	かりゅうきゅうじょきりょうほう	granulocytapheresis	GCAP		Ⅲ-8 消化器疾患	酢酸セルロース製ビーズに主に顆粒球を吸着させ、除去する治療法。潰瘍性大腸炎やクローン病に対して保険適用。
顆粒球単球除去療法	かりゅうきゅうたんきゅうじょ きりょうほう	granulocyte/monocyte apheresis	GMA		Ⅲ-8 消化器疾患	酢酸セルロース製ビーズに主に顆粒球を吸着させ、除去する治療法。潰瘍性大腸炎やクローン病に対して保険適用。
カルシフィラキシス	かるしふえらしず	calciphylaxis		尿毒症性細小動脈石灰症	Ⅲ-3 循環器疾患	末期腎不全により透析等をうけている症例に発症する。極めて強い痛みを伴う難治性の皮膚潰瘍を主症状とする難治性疾患。
カルチノイド症候群	かるちのいどしょうこうぐん	carcinoid syndrome	CS		Ⅲ-8 消化器疾患	分泌されるセロトニンで惹起され、突発性皮膚紅潮、下痢、痙攣性腹痛、腸蠕動亢進を起こす。尿中5-HIAAが増加する。
川崎病	かわさきびょう	kawasaki disease	KD	皮膚粘膜リンパ節症候群、 MCLS	Ⅲ-3 循環器疾患	主に乳幼児が罹患する原因不明の全身性血管炎症候群。全身性中型・小型血管炎をきたし発熱、発疹、冠動脈病変など様々な症状を惹き起こす。冠動脈病変は時として致死的原因となる。
川崎病	かわさきびょう	Kawasaki's disease	KD	皮膚粘膜リンパ節症候群、 MCLS	Ⅲ-9 小児疾患・生殖器疾患	主に乳幼児が罹患する原因不明の全身性血管炎症候群。全身性中型・小型血管炎をきたし発熱、発疹、冠動脈病変など様々な症状を惹き起こす。冠動脈病変は時として致死的原因となる。
肝移植	かんいしょく	liver transplantation	LTx		Ⅲ-1 肝疾患	肝不全患者に肝臓を移植する治療法。肝再生のみられない急性肝不全患者に対する最終的な治療法。
感覚解離	かんかくかいり	dissociation of sensibility		解離性感覚障害	Ⅲ-6 神経疾患	感覚系の伝導路のうち一部の伝導路が障害され、他は障害されていない状態。
感覚過敏	かんかくかびん	hyperesthesia			Ⅲ-6 神経疾患	感覚が過敏になっている状態。
感覚鈍麻	かんかくどんま	hyp(o)esthesia			Ⅲ-6 神経疾患	感覚が鈍くなっている状態。
感覚ニューロン	かんかくにゅーろん	sensory neuron			Ⅲ-6 神経疾患	感覚を伝達する神経単位。
癌幹細胞	がんかんさいぼう	cancer stem cell			Ⅲ-13 再生医療	癌細胞のうち幹細胞の性質をもった細胞。癌幹細胞を起源として癌が発生するとの仮説がある。
換気血流比	かんきけつりゅうひ	ventilation-perfusion ratio	VA/Q		Ⅲ-14 肺疾患	肺胞換気量とその部分の血流の比。
眼球運動	がんききゅううんどう	external ocular movement, eye movement, ocular movement	EOM		Ⅲ-6 神経疾患	眼球の随意運動。
間歇性跛行	かんけつせいはいこう	intermittent claudication			Ⅲ-3 循環器疾患	しばらく歩くと下肢のだるさや痛み等から歩けなくなり、しばらく休むと再び歩けるようになる症状。
間歇的強制換気	かんけつてききょうせいかん き	intermittent mandatory ventilation	IMV		Ⅲ-14 肺疾患	自発呼吸を温存して間歇的に強制換気を行う人工換気法。
間欠的腎代替療法	かんけつてきけつえきじょう かほう	intermittent renal replacement therapy(IRRT)	IRRT		I 総説	間欠的に行われる血液浄化。
幹細胞	かんさいぼう	stem cell		母細胞、芽細胞、血球芽細胞	Ⅲ-13 再生医療	動物胚や生体の中に存在して組織臓器の発生と構築に中心的役割を果たす細胞群で、多分化能と自己複製能をもち、いろいろな細胞の源となる。
間質性肺炎	かんしつせいはいえん	interstitial pneumonia	IP		Ⅲ-14 肺疾患	肺炎の主座が肺胞と肺胞の間の隔壁である間質である病変のこと。
間質性肺疾患	かんしつせいはいしっかん	interstitial lung disease	ILD		Ⅲ-14 肺疾患	間質性肺炎のほかに気道病変や胸膜病変、血管病変も含めた広義の間質での病変の総称。
肝腎症候群	かんじんしょうこうぐん	hepatorenal syndrome	HRS		Ⅲ-1 肝疾患	急性肝不全や肝硬変末期に生ずる急性腎不全。
肝性昏迷	かんせいこんすい	hepatic coma			Ⅲ-1 肝疾患	肝不全の脳浮腫の回避や出血防止のため起因物質を除去する。
肝性昏睡物質	かんせいこんすいぶっしつ	hepatic coma substance			Ⅲ-1 肝疾患	肝性昏睡を引き起こす原因となる物質の総称。
癌性小脳変性(症)	がんせいしょうのうへんせい (しょう)	carcinomatous cerebellar degeneration			Ⅲ-6 神経疾患	悪性腫瘍に伴う小脳変性症。
肝性トリグリセリドリパーゼ	かんせいとりぐりせりどり ぱーぜ	hepatic triglyceride lipase	HTGL		Ⅲ-4 脂質異常症	主に肝細胞で合成・分泌され、LDLやHDL中のトリグリセリド(TG)やリン脂質(PL)を水解する酵素。その欠損症では総コレステロール値、TG値、HDL-C値の増加を呈する。
肝性脳症	かんせいのうしょう	hepatic encephalopathy	HE	肝性昏睡	Ⅲ-1 肝疾患	肝不全により蓄積された毒性物質により生ずる意識障害。
肝性脳症昏睡度分類	かんせいのうしょうこんすい どぶんるい	hepatic coma scale			Ⅲ-1 肝疾患	犬山シンポジウム(1972年)で定められた肝性脳症評価のための基準。昏睡度I度からV度に分類されている。
関節強直	かんせつきょうちよく	arthrokleisis			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	関節骨や軟骨の変形または癒着による可動制限。
間接クームス試験	かんせつくーむすしけん	indirect Coombs test		抗グロブリン試験	Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	赤血球表面に結合しているグロブリンを検出する試験をクームス試験と称し、被検血漿(血清)を正常O型赤血球と反応させた後に抗グロブリン試験を行う試験を、間接クームス試験と称する。溶血をきたす血清中の不完全抗体検出検査の一つ。
関節リウマチ	かんせつりうまち	rheumatoid arthritis	RA		Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	自己の免疫系細胞が主に手足の関節を侵し、これにより関節痛、関節の変形が生じる炎症性自己免疫疾患。
感染後脳脊髄炎	かんせんこのうせきずいえん	post-infectious encephalomyelitis			Ⅲ-6 神経疾患	感染症後に発症する脊髄炎。
完全静脈栄養	かんぜんじょうみゃくえいよう	total parenteral nutrition	TPN		Ⅲ-11 感染症・敗血症	投与可能なすべての栄養素を含んだ輸液製剤を用いて必要な熱量を中心静脈より投与する方法。
乾癬性関節炎	かんせんせいかんせつえん	psoriatic arthritis	PsA	関節症性乾癬	Ⅲ-10 皮膚疾患	乾癬に伴って関節炎、附着部炎、指趾炎を生じる疾患。
感染後脳炎	かんせんせいのうえん	post-infectious encephalitis			Ⅲ-6 神経疾患	感染症後に発症する脳炎。
冠動脈ステント	かんだうみゃくすてんと	coronary (artery) stent			Ⅲ-3 循環器疾患	冠動脈狭窄部位に血流改善目的に留置する金網状の筒。
冠動脈バイパス術	かんだうみゃくばいぱすじゅつ	coronary artery bypass grafting	CABG		Ⅲ-3 循環器疾患	虚血性心疾患に対して、主に全身麻酔下で開胸して行う外科的心臓手術。健康な血管(グラフト)の一部を冠動脈の閉塞部分につなぐこと(移植)により、血液が閉塞動脈を迂回して心臓に流れる新しい路(バイパス)をつくる。
冠動脈瘤	かんだうみゃくりゅう	coronary (artery) aneurysm			Ⅲ-3 循環器疾患	川崎病でみられる冠動脈の動脈瘤。
カンナビノイド	かなびのいど	cannabinoid			Ⅲ-11 感染症・敗血症	内因性大麻と呼ばれ、活性化されたマクロファージ系より産生される。敗血症性ショックの原因の一つとされる。
ガンマアミノ酪酸	がんまあみのらくさん	γ (gamma)-aminobutyric acid	GABA		Ⅲ-1 肝疾患	抑制性の神経伝達物質で、肝性脳症の原因の一つと考えられている。
γグロブリン製剤	がんまぐろぶりんせいざい	γ globulin preparations			Ⅲ-11 感染症・敗血症	健康人の血漿から分離したγグロブリン分画製剤。免疫不全症、重症感染症の治療、ウイルス疾患の予防・治療等に用いる。
間葉系幹細胞	かんようけいかんさいぼう	mesenchymal stem cell		ストローマ細胞	Ⅲ-13 再生医療	骨・脂肪・筋・軟骨等に分化する間葉に由来する組織幹細胞。骨髄間葉細胞がその代表。
冠縮性狭心症	かんれんしゅくせいきょうしん しょう	coronary spastic angina			Ⅲ-3 循環器疾患	比較的太い冠動脈が一過性に異常に収縮し発症する狭心症。

期外収縮	きがいしゅうしゅく	ectopic beat, extrasystole, premature contraction			Ⅲ-3 循環器疾患	ももとの調律で心拍が生じると予想される時期より早期に生じる心臓興奮のこと。
気管支拡張症	きかんしかくちょうしょう	bronchiectasis			Ⅲ-14 肺疾患	非可逆的な気管支の拡張をきたした慢性の器質的病態。気管支壁が肥厚し気管支腔が拡張した状態。
奇形癌腫	きけいがんしゅ	teratocarcinoma		テラトカルシノーマ	Ⅲ-13 再生医療	奇形腫の中でも特に悪性度の高いものであり、これからEC細胞が樹立された。
奇形腫	きけいしゅ	teratoma		テラトーマ	Ⅲ-13 再生医療	内・中・外胚葉の三胚葉由来組織からなる腫瘍。ES細胞を動物に移植することでも形成され、多分化能の検定にも用いられる。
拮抗薬	きっこうやく	antagonist	アンタゴニスト	遮断薬	Ⅲ-7 免疫疾患	レセプターに結合してアゴニストとレセプターとの結合を阻害する物質。
気泡検知器	きばうけんちき	air detector		bubbledetector	Ⅱ-3 周辺機器	血液回路内に混入した気泡を検知し体内への混入を防止する。気泡検知時は、回路が自動的にクランプされ空気の体内混入を防止する。
キメラ	きめら	chimera			Ⅲ-13 再生医療	2つ以上の異なる個体に由来する細胞や遺伝子からなる個体。
キメラ抗体	きめらこうたい	chimera antigen			Ⅲ-7 免疫疾患	複数の抗体から人工的に作製した抗体。
キメラマウス	きめらまうす	chimera mouse			Ⅲ-7 免疫疾患	複数の胚細胞同士を接着させて発生させ、発生分化や形態形成などの研究分野で用いられるマウス。
逆転写酵素	ぎゃくてんしゃこうそ	reverse transcriptase		RNA依存性DNAポリメラーゼ	Ⅲ-7 免疫疾患	一本鎖RNAを鋳型にして相補的な塩基配列をもつDNAに逆転写する酵素。
GALT	ぎやると	gut associated lymphatic tissue			Ⅲ-11 感染症・敗血症	腸管上皮に存在するリンパ球やバイエル板、腸間膜リンパ節などの腸管に存在する免疫組織の総称。腸内細菌に対する腸管粘膜防御機能を担う。
球後視神経炎	きゅうごしんけいえん	retrobulbar neuritis			Ⅲ-6 神経疾患	眼球後方の視神経に起こる炎症による視機能障害。
急性移植片対宿主病 (GVHD)	きゅうせいいしよくへんたいしゅくしゅびょう	acute graft versus host disease			Ⅲ-12 移植	移植後おおよそ100日以内に同種臓器移植時にドナー臓器が引きおこす、免疫応答によってレシピエントの臓器を攻撃する合併症。
急性壊死性脳症	きゅうせいえいせのうしょう	acute necrotizing encephalopathy	ANE		Ⅲ-9 小児疾患・生殖器疾患	小児の急性脳症のうち、浮腫性壊死をとまなう多発性脳病変が、両側の視床を含む特定の部位に左右対称性に生じるタイプ。
急性炎症性脱髄性ポリニューロパチー	きゅうせいえんししょうせいだつずいせいほりにゅうらぱちー	acute inflammatory demyelinating polyneuropathy	AIDP	GBS	Ⅲ-6 神経疾患	急性の運動麻痺をきたす末梢神経障害でとくに脱髄性の変化の強いもの。
急性横断性脊髄炎	きゅうせいおうだんせいせきずいえん	acute transverse myelitis			Ⅲ-6 神経疾患	脊髄のあるレベルで急性に広範な炎症が起こることにより生じる病態。MSやNMOで起こる。
急性型急性肝不全	きゅうせいいがたきゅうせいかんふぜん	acute liver failure; acute type			Ⅲ-1 肝疾患	急性肝不全のうち、初発症状出現から昏睡Ⅱ度以上の肝性脳症が出現するまでの期間が10日以内のもの。
急性肝不全	きゅうせいかんふぜん	acute liver failure	ALF	劇症肝炎	Ⅲ-1 肝疾患	正常肝ないし肝予備能が正常と考えられる肝に肝障害が生じ、初発症状出現から8週以内に、高度の肝機能障害に基づいてプロトロンビン時間が40%以下ないしはINR 値1.5以上を示すもの。
急性拒絶反応	きゅうせいききぜつはんのう	acute rejection			Ⅲ-12 移植	細胞性免疫により移植後1週間から3カ月の間に好発する。
急性呼吸窮迫症候群	きゅうせいききゅうきゅうはくしょうこうぐん	acute respiratory distress syndrome	ARDS		Ⅲ-11 感染症・敗血症	肺炎や敗血症などにより一週間以内に発症もしくは増悪している急性低酸素性呼吸不全。P/F ratioが300 mmHg未満の病態。肺での好中球浸潤と肺血管透過性亢進による間質の浮腫を特徴とする。画像上浸潤影や肺泡虚脱か結節影を呈する。
急性呼吸窮迫症候群	きゅうせいききゅうきゅうはくしょうこうぐん	acute respiratory distress syndrome	ARDS		Ⅲ-14 肺疾患	肺炎や敗血症などにより一週間以内に発症もしくは増悪している急性低酸素性呼吸不全。P/F ratioが301 mmHg未満の病態。肺での好中球浸潤と肺血管透過性亢進による間質の浮腫を特徴とする。画像上浸潤影や肺泡虚脱か結節影を呈する。
急性散在性脳脊髄炎	きゅうせいさんざいせいのうせきずいえん	acute disseminated encephalomyelitis	ADEM		Ⅲ-6 神経疾患	ウイルス感染後やワクチン接種後あるいは特異性に生じるアレルギー性の脱髄疾患。
急性出血性脳炎	きゅうせいしゅつっけつせいのうえん	acute hemorrhagic encephalitis			Ⅲ-6 神経疾患	病理学的に出血を伴う脳炎の総称。
急性出血性白質脳炎	きゅうせいしゅつっけつせいはくしつのうえん	acute hemorrhagic leukoencephalitis		Hurst脳炎	Ⅲ-6 神経疾患	感染後ADEMの劇症型で症状の進展が速く、重症。
急性小脳性運動失調症	きゅうせいしょうのうせいうんどうしつちようしょう	acute cerebellar ataxia			Ⅲ-6 神経疾患	水痘や麻疹などのウイルス感染後の乳幼児に発症する小脳性失調症。
急性自律神経性感覚性ニューロパチー	きゅうせいじりつしんけいせいいかんかくせいにゅうらぱちー	acute autonomic and sensory neuropathy			Ⅲ-6 神経疾患	急性の自律神経障害を主徴とする末梢神経障害で感覚神経障害を伴うもの。
急性腎障害	きゅうせいじんしょうがい	acute kidney injury	AKI		Ⅲ-2 腎疾患	数時間から数日という短期間で急激に腎機能が低下する病態。病態により腎前性、腎性、腎後性に分類される。
急性膵炎	きゅうせいすいえん	acute pancreatitis	AP		Ⅲ-8 消化器疾患	膵機能の破綻による膵臓の急性炎症である。アルコール、胆石、高トリグリセライド血症などが原因となる。
急性相タンパク	きゅうせいそうたんぱく	acute phase protein			Ⅲ-11 感染症・敗血症	侵襲後の急性期に血液中に出現するタンパクのこと。侵襲の指標となる。CRP (C反応性タンパク) など。
急性特発性汎自律神経異常症	きゅうせいとくはつせいはんじりつしんけいいじようしょう	acute idiopathic pandysautonomia	AIPD		Ⅲ-6 神経疾患	急性に広範な自律神経障害をきたす神経疾患。
急性尿管管壊死	きゅうせいにようさいかんえし	acute tubular necrosis	ATN		Ⅲ-2 腎疾患	腎機能障害や腎不全を生じる急性の尿管細胞障害と機能障害。低血圧や薬剤(造影剤、アミノグリコシド系抗菌薬、シスプラチンなど)によるものが多い。
急性妊娠性脂肪肝	きゅうせいにんしんせいしぼうかん	acute fatty liver of pregnancy	AFLP		Ⅲ-1 肝疾患	妊娠後期に発症し、急速に肝障害が進行して肝不全に陥ることもある脂肪肝。ヘルプ症候群と類似しているが発症頻度はこちらの方が低い。
急性肺障害	きゅうせいはいしょうがい	acute lung injury	ALI		Ⅲ-14 肺疾患	重篤な呼吸不全状態。PaO ₂ /FiO ₂ が200～300 mmHg。
急性辺縁系脳炎	きゅうせいへんえんけいのうえん	acute limbic encephalitis			Ⅲ-6 神経疾患	亜急性に近時記憶障害や痙攣、見当識障害をきたす重篤な脳疾患であり、原因としてウイルス感染や細菌感染、腫瘍随伴、自己免疫などがある。自己免疫性脳炎は、主に成人に発症し、年間約700例と推定されている。自己免疫性脳炎は、抗NMDA型グルタミン酸受容体抗体などの、神経細胞表面に発現する蛋白質に対する抗体(自己抗体)による神経細胞の機能障害により発症する。
急性薬物中毒	きゅうせいやくぶつちゅうどく	acute drug intoxication			Ⅲ-15 血液疾患・その他	薬物の過剰摂取や過剰投与などにより中毒症状、腎不全や肝不全などの臓器障害が起きている状態である。
急速進行性間質性肺炎	きゅうそくしんこうせいかんしつせいはいえん	rapidly progressive interstitial lung disease	RP-ILD	抗 MDA5 抗体陽性皮膚筋炎に伴う急速進行性間質性肺炎	Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	数日から数週の単位で急速に呼吸困難が進行する間質性肺炎。一般的には予後不良で、大量の副腎皮質ステロイド薬に免疫抑制薬を併用する治療も奏効しないことが多い。抗MDA5抗体陽性の皮膚筋炎に併発することがある。
急速進行性糸球体腎炎	きゅうそくしんこうせいしきゅうたいじんえん	rapidly progressive glomerulonephritis	RPGN	半月体形成性腎炎	Ⅲ-2 腎疾患	急性あるいは潜在性に発症する肉眼的血尿、蛋白尿など腎炎様の尿所見を呈し、貧血や急速に進行する腎機能障害を生じる症候群。典型病理所見は多数の糸球体に細胞性から線維細胞性の半月体形成を認める壊死性半月体形成性糸球体腎炎。
吸着	きゅうちやく	adsorption			Ⅱ-2 吸着法	物体の界面で周囲よりも濃度が増加する現象。気体、液体、固体のいずれの各界面で起こりえる。アフェレシスでは、ほとんどが液体-固体の界面で生じる現象。
吸着材	きゅうちやくざい	adsorbent		吸着剤	Ⅱ-2 吸着法	ある親和力を利用して、特定の物質を特異的/選択的に取り込み結合する材料。
胸管ドレナージ	きょうかんだれなーじ	thoracic duct drainage		白血球系細胞除去療法、白血球除去療法、リンパ球除去療法、血球成分除去療法	Ⅱ-1 分離法	胸管にカテーテルを挿入しリンパ液を体外に導き出し、フィルタを利用して選択的にリンパ球を除去する方法。
凝固因子	ぎょうこいんし	coagulation factor			Ⅱ-4 置換液・抗凝固法	血液凝固を司る血漿タンパクで、血管の傷害やコラーゲン、異物との接触(内因系)、あるいは組織の損傷(外因系)を契機に活性化され、カスケード反応により最終的にトロンビンが生成され、これがフィブリノーゲンをフィブリンに変換して血液凝固が完了する。
共刺激分子	きょうしげきぶんし	costimulatory molecule			Ⅲ-7 免疫疾患	T細胞の抗原認識の際にT細胞抗原レセプター(TCR)の反応性を補助する分子群。

胸腺摘除(術)	きょうせんできじょ(じゅつ)	thymectomy			Ⅲ-6 神経疾患	重症筋無力症や胸腺腫で胸腺を摘出する手術。
強直性脊椎炎	きょうちよくせいえきついえん	ankylosing spondylitis	AS		Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	主に脊椎に生じ骨性癒着をきたしうる慢性炎症性疾患。
強皮症	きょうひしやう	scleroderma			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	びまん型と限局型に分類される皮膚硬化を特徴とする疾患。
胸腹水濾過濃縮用専用装置	きょうふくすいりゅうかのうしゅく ようせんようそうち	Dedicated Equipment of cell-free concentrated ascites			Ⅱ-3 周辺機器	CART専用装置。
魚眼病	ぎょがんびやう	fish-eye disease	FED		Ⅲ-4 脂質異常症	LCAT欠損症のうち臨床症状が角膜混濁に限局するもの。
局所へparin化	きょくしょへぱりんか	regional heparinization		へparin化、プロタミン硫酸塩	Ⅱ-4 置換液・抗凝固法	体外循環の脱血側回路からへparinを注入して血液凝固を防止し、返血直前の回路からプロタミン硫酸塩を注入することによりへparin作用を中和して、体内全身血の凝固抑制を最小限にとどめる方法。
虚血/再灌流障害	きよけつさいかんりゅうしょうがい	ischemia-reperfusion injury	IRI		Ⅲ-11 感染症・敗血症	虚血後、血流が再開することによって生じる臓器障害。大量に産生された活性酸素などが原因となる。
虚血性腸炎	きよけつせいちやうえん	ischemic colitis	IC		Ⅲ-8 消化器疾患	大腸に血液を送る動脈血が一時的に虚血になることで起こる。多くの場合は一過性の経過であり、自然軽快する。
拒絶反応	きよぜつはんのう	rejection			Ⅲ-7 免疫疾患	移植された非自己の組織・細胞を生体が異物として排除しようとする反応。
キラーT細胞	きらーていーさいぼう	killer T cell			Ⅲ-7 免疫疾患	CD8+T細胞。細胞表面に発現しているT細胞受容体によりがん抗原を特異的に認識し、殺傷する。
ギラン・バレー症候群	ぎらん・ばれーしやうこうぐん	Guillain-Barre´ syndrome	GBS		Ⅲ-6 神経疾患	急性の運動麻痺をきたす末梢神経障害。
筋萎縮性側索硬化症	きんいしゅくせいそくさくこう かしやう	amyotrophic lateral sclerosis	ALS		Ⅲ-6 神経疾患	運動ニューロンが変性する進行性の難病。
菌血症	きんけつしやう	bacteremia			Ⅲ-11 感染症・敗血症	血流中に細菌が存在している状態。
均質染色	きんしつせんしよく	homogeneous staining			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	抗核抗体の染色型。抗ヒストン抗体に対応する染色パターンの一種。
筋無力症性クライシス	きんむりょくしやうせいくらいしす	myasthenic crisis		筋無力症性クリーゼ	Ⅲ-6 神経疾患	重症筋無力症の急性増悪、嚥下障害や呼吸筋麻痺を伴い、挿管・人工呼吸管理が必要となる状態。
クームス試験	くーむすしけん	coombs test			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	赤血球の表面(細胞膜)に結合している免疫グロブリン(抗体)が存在するか否かを調べる試験。
クエン酸中毒	くえんさんちゆうどく	citrate intoxication			I 総説	速心分離法などでクエン酸投与に起因した低カルシウム血症により口唇や手指のしびれ感。重症の場合は意識喪失にいたる。
クリオグロブリン血症	くりおぐるぷりんけつしやう	cryoglobulinemia		本態性クリオグロブリン血症	Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	形質細胞によってつくられる異常な抗体であるクリオグロブリンが血中に増加した状態。クリオグロブリンは体温以下に冷却されると凝集を起こす。血管炎が誘発されることがある。
クリオフィブリノーゲン血症	くりおふいぶりのーげんけつしやう	cryofibrinogenemia			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	フィブリノーゲン由来の異常蛋白であるクリオグロブリンが血中に増加した状態。クリオフィブリノーゲンは温度低下により凝集し、血栓症や血管炎を生じる。
Clinically isolated syndrome	くりにかるあいそれいていっどしんどうろむ	clinically isolated syndrome	CIS		Ⅲ-6 神経疾患	多発性硬化症の85%は視神経、脳幹または脊髄におけるClinically isolated syndromeと呼称される最初は単一の脱髄性症状で発症する。
グルタミン	ぐるたみん	glutamine	Gln		Ⅲ-1 肝疾患	窒素代謝の過程で生ずる。アンモニアの発生源になる。
グルタミン酸受容体	ぐるたみんさんじゅようたい	glutamate receptor			Ⅲ-6 神経疾患	グルタミン酸を主として受容する受容体群で中枢神経系のシナプス部に多く発現しており、シナプス可塑性と記憶・学習に深く関わる。
CREST症候群	くれすとしやうこうぐん	CREST syndrome			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	レイノワ現象等の特徴的の症状を伴う強皮症の一亜型。
クローニング	くろーにんぐ	cloning			Ⅲ-7 免疫疾患	DNA組換え技術で、特定配列をもつ細菌などの細胞を検出し、単離して別個の系統として増殖させること。
クローン	くろーん	clone		クローン細胞	Ⅲ-13 再生医療	遺伝的に同一である個体や細胞。
クローン病	くろーんびやう	crohn's disease	CD		Ⅲ-8 消化器疾患	本疾患は原因不明で、主として若年者にみられ、潰瘍や線維化を伴う肉芽腫性炎症性腸炎病変からなり、消化管のどの部位にも起こりうる。
クローン病	くろーんびやう	crohn's disease	CD		Ⅲ-9 小児疾患・生殖器疾患	本疾患は原因不明で、主として若年者にみられ、潰瘍や線維化を伴う肉芽腫性炎症性腸炎病変からなり、消化管のどの部位にも起こりうる。
クローン病の活動性指数	くろーんびやうかつどうしすう	crohn's disease activity index	CDAI		Ⅲ-8 消化器疾患	クローン病の治療評価を客観的にするための疾患活動性をみたIndex。
蛍光抗体法	けいこうこうたいほう	fluorescent antibody technique			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	免疫組織化学の一つであり、対象とする抗原物質に対する抗体を蛍光色素で標識して抗原抗体反応を実施し、励起光照射で発せられる蛍光像を観察することにより抗原物質の存在を調べる方法。
蛍光抗体法	けいこうこうたいほう	fluorescent antibody technique			Ⅲ-7 免疫疾患	免疫組織化学の一つであり、対象とする抗原物質に対する抗体を蛍光色素で標識して抗原抗体反応を実施し、励起光照射で発せられる蛍光像を観察することにより抗原物質の存在を調べる方法。
憩室出血	けいしつしゅっけつ	diverticular hemorrhage			Ⅲ-8 消化器疾患	主に大腸に発生した憩室からの出血。特に高齢者で下血の原因となりやすい。
形質転換	けいしつてんかん	transformation		化成、変形、変態、応変、転換	Ⅲ-13 再生医療	遺伝子導入や癌化などにより細胞の遺伝的性質が変化すること。
経食道心エコー法	けいしよくどうしんえこーほう	transesophageal echocardiography	TEE		Ⅲ-3 循環器疾患	食道から超音波(エコー)を用いて、心臓を観察する方法。
軽微症状	けいびしやうじやう	minimal manifestations			Ⅲ-6 神経疾患	重症筋無力症のMGFA(MG Foundation of America)において、軽微な筋力低下は存在するが、日常生活には支障がない状態と定義される。
経皮的冠動脈インターベンション	けいひてきかんどうみやくいんたーべんしよん	percutaneous coronary intervention	PCI		Ⅲ-3 循環器疾患	開胸せずにカテーテルを用いて、アテローム等により狭窄した心臓の冠状動脈を拡張し、血流の増加をはかる治療法。
頸部血管エコー法	けいぶけつかんえこーほう	carotid echosonography			Ⅲ-3 循環器疾患	超音波を用いて頸部血管を観察する方法。
外科侵襲	げかしんしゆう	surgical stress			Ⅲ-11 感染症・敗血症	外科的処置により生体に加わる侵襲。手術侵襲ともいう。
劇症型抗リン脂質抗体症候群	げきしやうがたこうりんししつこうたいしやうこうぐん	catastrophic antiphospholipid syndrome			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	急速に多発性血栓症をきたし予後不良となる抗リン脂質抗体症候群の一種。
劇症肝炎	げきしやうかんえん	fulminant hepatitis	FH	急性肝不全	Ⅲ-1 肝疾患	炎症により先行肝障害のない肝臓が破壊され、発症から8週以内に肝性昏睡Ⅱ度以上、プロトロンビン時間40%以下の肝不全に進展した病態。
劇症肝不全	げきしやうかんふぜん	fulminant hepatic failure	FHF	劇症肝炎、急性肝不全	Ⅲ-1 肝疾患	炎症以外の原因も含めて劇症肝炎と同様の肝不全に進展した病態。
劇症化予知式	げきしやうちしき	prediction formula for fulminant hepatic failure			Ⅲ-1 肝疾患	一般的な臨床検査値から急性肝炎が劇症化する確率を推定する式。
血液	けつえき	whole blood		全血	Ⅱ-1 分離法	「全血」の項目参照。
血液回路	けつえきかいろう	blood circuit			Ⅱ-3 周辺機器	体外循環する際に患者血液を導く回路。
血液加温器	けつえきかおんき	blood warmer			Ⅱ-3 周辺機器	体外循環中熱損失により温度低下した血液の温度を上げる装置。
血液型不適合妊娠	けつえきがたふてきごうにんしん	blood type incompatible pregnancy			Ⅲ-15 血液疾患・その他	母児間で血液型不適合がある場合に、母体の血液中に児の赤血球に対する抗体が生じた場合、胎盤を通じて児の赤血球に溶血を生じ、胎児貧血による心不全、胎児水腫を生じる病態である。
血液吸着法	けつえききゅうちやくりゅうほう	hemoadsorption	HA	直接血液灌流	I 総説	全血を体外循環させて直接吸着器に通して病因関連物質を除去する方法。
血液細胞	けつえきさいぼう	blood cell		血球	Ⅱ-1 分離法	血球細胞成分は赤血球96%、白血球3%、血小板1%で構成される。
血液浄化装置	けつえきじようかそうち	blood purification system			Ⅱ-3 周辺機器	血液の量的・質的異常を、透析、濾過、吸着などの原理を用いて是正する治療を行う装置。
血液浄化(療法)	けつえきじようかほう	blood purification			I 総説	全血を体外に循環させて、浄化して体に戻す治療法の総称。
血液神経関門	けつえきしんけいかんもん	blood-nerve barrier	BNB		Ⅲ-6 神経疾患	末梢神経の内部環境を維持する機構で、血液と末梢神経系の組織液との間の物質交換を制限する機構。
血液脳関門	けつえきのうかんもん	blood-brain barrier	BBB		Ⅲ-6 神経疾患	血液と脳(そして脊髄を含む中枢神経系)の組織液との間の物質交換を制限する機構。

血液ポンプ	けつえきぽんぷ	blood pump			II-3 周辺機器	体外循環する際に患者血液を送液するポンプ。
血液流量	けつえきりゅうりょう	quantity of blood flow (blood flow rate)	QB	血流量、QB	I 総説	体外循環された患者血液がアフレスシス用分離器に流入する流量。
血液濾過透析	けつえきろかとうせき	hemodiafiltration	HDF	CHDF	I 総説	血液を透析(拡散)と濾過(対流)によって浄化する血液浄化法。
血管型ベーチェット病	けっかんがたべーちえつとびょう	vasculo(angio) Behçet's disease			III-5 リウマチ・膠原病	血管に炎症をきたすベーチェット病の一種。
血管再生治療	けっかんさいせいりゅう	therapeutic angiogenesis			III-13 再生医療	骨髄や末梢血由来の幹細胞で虚血肢の治療を行うこと。
血管雑音	けっかんざつおん	bruit			III-3 循環器疾患	血管の狭窄により聴取される雑音。
血管新生	けっかんしんせい	angiogenesis, vasculogenesis		脈管発生、脈管形成	III-13 再生医療	基底膜の消化と血管内皮細胞が増殖して新たな血管が形成される過程。
血管内皮前駆細胞	けっかんないひぜんくさいぼう	endothelial progenitor cell	EPC		III-13 再生医療	骨髄に含まれる血管内皮細胞に分化することがすでに運命づけられた細胞。
血球	けつきゅう	blood cell			II-1 分離法	「血液細胞」の項目参照。
血球成分除去療法	けつきゅうせいぶんじょきょうりょうほう	cytapheresis		白血球系細胞除去療法、白血球除去療法、リンパ球除去療法、顆粒球吸着除去療法、白血球吸着除去療法	I 総説	血液を体外に導き出し、疾患あるいは症候の原因と考えられる血液中の細胞成分を取り除く治療法。
血球貪食症候群	けつきゅうどんしょくしょうこうぐん	hemophagocytic syndrome	HPS		III-5 リウマチ・膠原病	特発性もしくは二次的に感染症などに続発して汎血球減少などをきたす疾患。骨髄検査でマクロファージによる自己血球の貪食像が観察される。
血漿(成分)分画器	けっしょう(せいぶん)ぶんかくき	plasma fractionator	PF	血漿(成分)分離器、二次膜、セカンドフィルタ	II-1 分離法	血漿分離器で分離された血漿成分をさらに膜孔径の小さい血漿分離器でアルブミン分画とグロブリン分画にふるい分けする分離器。
血漿灌流	けっしょうかんりゅう	plasma perfusion	PP	血漿吸着療法	I 総説	血液を血漿分離器でいったん分離し、血漿と吸着材を接触させる方法。
血漿吸着器	けっしょうきゅうちやくき	plasma adsorbent column, plasma adsorber			II-2 吸着法	患者の分離血漿から特定物質を特異的/選択的に吸着除去する浄化器。
血漿吸着(法)	けっしょうきゅうちやくりょうほう	plasma adsorption	PA		I 総説	体外に取り出した血液を血漿分離膜により血球成分と血漿成分に分離した後、分離された血漿を特定の吸着器に通し、選択的に病因物質を除去する治療法。
血漿交換(法)	けっしょうこうかんほう	plasma exchange = plasmapheresis)	PE,PP	TPE、Pex	I 総説	血液から血漿成分を分離し、新鮮凍結血漿またはアルブミン液などの血漿製剤で置換する治療法。
血漿再充填速度	けつじょうさいていふつてんそど	plasma refilling Rate		プラスマリフィリング	I 総説	細胞内液から外液への体液移動する現象。
血漿処理量	けっしょうしりりょう	plasma processing volume			II-1 分離法	アフレスシス用分離器に供給した累積分離血漿量。
血漿浸透圧	けっしょうしんとうあつ	Posm,plasma osmotic pressure			I 総説	血漿の浸透圧は約280 mOsm/kgH2Oで、主に電解質、ブドウ糖、尿素濃度により決定される。
血小板	けっしょうばん	platelet			II-1 分離法	血管破壊部分における血栓形成などの止血に関与する血液中の細胞。
血小板活性化(化)因子	けっしょうばんかつせい(か)いんし	platelet activating factor	PAF		III-14 肺疾患	主にマクロファージから分泌される活性化因子でARDSなどの発症に関与。IgE感作ウサギ好塩基球を抗原刺激したときに放出される血小板凝集因子。
血小板結合IgG	けっしょうばんけつごうあいじーじー	platelet associated IgG	PAIgG		III-5 リウマチ・膠原病	血小板表面に結合している抗血小板IgG抗体。
血小板成分採取	けっしょうばんせいぶんさいしゅ	platelet concentrate	PC	ドナーフェレーシス	II-1 分離法	成分献血(採血)により血小板を採取すること。
血漿分離	けっしょうぶんり	plasma separation	PS	plasmapheresis	II-1 分離法	全血を血球成分と血漿成分を分離すること。
血漿分離器	けっしょうぶんりき	plasma separator	PS		II-3 周辺機器	血漿成分は膜を通過させ、赤血球、白血球、血小板などの細胞成分を膜で阻止する分離器。
血漿分離速度(血漿流量/濾過流量/濾液流量)	けっしょうぶんりそくど	quantity of filtration flow (plasma separation rate)	Qf		I 総説	血漿分離器で分離された単位時間あたりの血漿量。
血漿(分離)ポンプ	けっしょうぶんりぽんぷ	plasma (separation) pump		血漿ポンプ	II-3 周辺機器	血漿分離器での血漿を分離するためのポンプ。
血漿冷却(用)回路	けっしょうれいきゃく(よう)かいりう	plasma cooling circuit			II-3 周辺機器	クライオフィルトレーションにおいて冷却濾過器に供給する血漿を導く回路。
血漿冷却濾過(法)	けっしょうれいきゃくろか	cryofiltration		クライオフィルトレーション	I 総説	二重膜濾過血漿交換(DFFP)で分離血漿を4℃以下に冷却し、病因タンパクを凝集させ選択的に分画分離する治療法。
血清反応陰性関節炎	けっせいはんのういんせい かんせつえん	seronegative arthritis			III-5 リウマチ・膠原病	リウマトイド因子が陰性である亜急性関節炎の総称。
結節性紅斑	けっせつせいこうはん	erythema nodosum			II-1 分離法	発熱、関節痛などを伴う、下肢に好発の皮下結節(皮膚の脂肪組織の炎症)であり、潰瘍性大腸炎に合併することもある。
結節性多発動脈炎	けっせつせいはたつどうみゃくえん	polyarteritis nodosa	P(A)N		III-5 リウマチ・膠原病	中小動脈壁およびその周囲の病変を主体とする壊死性血管炎。
血栓性血小板減少性紫斑病	けっせんせいけっしょうばん げんしょうせいしはんびょう	thrombotic thrombocytopenic purpura		TTP	III-5 リウマチ・膠原病	フォンビルブラント因子を切断する酵素であるADAMTS13が著しく減少することによって、血中にフォンビルブラント因子重合体が大量に存在するようになった結果、血小板血栓の形成による血小板の消費、微小血管が血栓により閉塞することで生じる種々の臓器症状や溶血性貧血を生じる疾患。
血中乳酸値	けちゅうにゅうさんち	blood lactate level			III-11 感染症・敗血症	グルコースからの嫌気性代謝性産物。敗血症においては組織低酸素や酸素利用障害などの要因で蓄積する。
ケモカイン	けもかいいん	chemokine			III-7 免疫疾患	chemotactic cytokine)に由来する語。分子量8-12 kD程度の分泌タンパク質で、それぞれ特定のタイプの白血球を遊走する。
ゲル電気泳動法	げるでんきえいどうほう	gel electrophoresis			III-7 免疫疾患	電場を与えたゲル状の支持体の中でタンパク質や核酸などの電荷を帯びた物質を分離分析する方法。
ゲル分極	げるぶんきょく	gel polarization			I 総説	膜濾過において、膜不透過溶質がバルク側で濃度分極、ゲル化を起こすこと。
限外濾過法	げんがいろかほう	extracorporeal ultrafiltration method =isolated ultrafiltration(ECUM)	ECUM		I 総説	透析液や置換液の投与を行わずに血液から除水のみ行う透析方法。
限外濾過(率)	げんがいろかりつ	ultrafiltration rate	UFR		I 総説	半透膜の片側に圧力(陽圧または陰圧)をかけて、水や溶質を濾過の原理で除去する方法。
限局性強皮症	げんきょくせいきょうひしょう	circumscribed scleroderma,localized scleroderma			III-5 リウマチ・膠原病	皮膚のみに非対称性の限局性皮膚硬化が出現する良性疾患で、内臓にも病変が及ぶ全身性強皮症とは異なる。
原発性(全身性)アミロイドーシス	げんばつせい(ぜんしんせい)あみろいどーしす	primary (systemic) amyloidosis			III-6 神経疾患	モノクローン免疫グロブリン軽鎖からなる線維タンパクが主要臓器に蓄積するという特徴を有するまれな疾患。
原発性高カイルミクロン血症	げんばつせいこうかいろんみくろんけっしょう	primary chylomicronemia	PCS		III-4 脂質異常症	LPLやapo CII,GPIIb/IIIaなど、カイルミクロンの分解に必要なタンパクの欠損により、カイルミクロンが血中にうつ滞する遺伝病である。

原発性中枢神経血管炎	げんぱつせいちゆうすうしん けいけつかんえん	primary central nervous system vasculitis			Ⅲ-6 神経疾患	全身性の血管炎を伴わず、中枢神経系の血管に限局して生じる血管炎。
家族性低bリポタンパク血症	げんぱつせいでいべーたり ぼたんぱくけっしょう	familial hypobetalipoproteinemia			Ⅲ-4 脂質異常症	ApoB遺伝子の機能喪失型変異のホモ接合体として発症し、顕著な低LDL-C血症、脂肪吸収障害による脂肪便、網膜色素変性、多彩な神経症状を示す。
原発性肺高血圧症	げんぱつせいはいこうけつ あつしょう	primary pulmonary hypertension	PPH		Ⅲ-14 肺疾患	労作時呼吸困難、全身倦怠感、失神発作などを呈す原因不明の肺高血圧症。
顕微鏡的多発血管炎	けんびきょうてきたはつけつ かんえん	microscopic polyangiitis	MPA		Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	抗好中球細胞質抗体 (ANCA) 関連血管炎症候群のうち、肉芽腫性病変のみられないものを指す。細動静脈や毛細血管の病変を主体とする壊死性血管炎をきたす。
顕微鏡的多発血管炎	けんびきょうてきたはつけつ かんえん	microscopic polyangiitis	MPA		Ⅲ-6 神経疾患	抗好中球細胞質抗体 (ANCA) 関連血管炎症候群のうち、肉芽腫性病変のみられないものを指す。細動静脈や毛細血管の病変を主体とする壊死性血管炎をきたす。
抗RNP抗体	こうあーるえぬびーこうたい	anti-RNP antibody			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	非ヒストン核タンパクとRNAの複合体に対する自己抗体。
抗アкваポリン4抗体	こうあくあぽりんふおーこうたい	anti-aquaporin4 (AQP4) antibody			Ⅲ-6 神経疾患	視神経脊髄炎に関連する水チャネルに対する抗体。
抗アセチルコリン受容体抗体	こうあせちるこりんこうたい	antiacetylcholine receptor antibody		抗AChR抗体	Ⅱ-2 吸着法	重症筋無力症ではアセチルコリンレセプター α サブユニットに対する自己抗体 (抗アセチルコリンレセプター抗体) が産生され、レセプターとアセチルコリンの結合を阻害し、筋肉の収縮が阻害される。
抗アセチルコリンレセプター抗体	こうあせちるこりんれせぶ たーこうたい	anti-acetylcholine receptor antibody		抗AChR抗体	Ⅲ-6 神経疾患	神経接合部に存在するアセチルコリン受容体に対する自己抗体である。重症筋無力症患者で特異的に検出される。
抗apoB抗体	こうあぽびーこうたい	anti-apo B antibody			Ⅱ-2 吸着法	血漿中のLDLを抗原抗体反応で吸着するLDL-Therasorb (Miltien Biotec社) のリガンド。
抗amphiphysin (アンフィフィン) 抗体	こうあんふいふいしんこうたい	anti-amphiphysin antibody			Ⅲ-6 神経疾患	stiff-man症候群に関連する自己抗体の一種。
抗ARS抗体	こうえいあーるえすこうたい	anti-aminoacyl-tRNA synthetase (ARS) antibody			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	抗アミノアシル tRNA 合成酵素 (ARS) 抗体。細胞質のアミノアシルtRNA synthetaseに対する抗体。抗Jo-1、抗PL-7、抗PL-12、抗EJ、抗KS、抗OJ、抗Zo、抗Ha抗体などが同定されている。
抗ARS抗体症候群	こうえいあーるえすこうたい しょうこうぐん	antisynthetase syndrome	ASS		Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	特発性炎症性筋疾患 (IIM) のサブタイプとして分類される。特異抗体によって特異的な臨床所見を呈する。
抗HLA抗体	こうえいちえるえーこうたい	anti-human leukocyte antigen antibody			Ⅲ-12 移植	ドナー表面抗原に対する特異的抗体のうち、MHCクラス I、Ⅱに対する抗体 (抗HLA-DSA)。移植・輸血・妊娠等の感作によってもたらされる。
抗SRP抗体	こうえすあーるびーこうたい	anti-signal recognition particle antibody			Ⅲ-6 神経疾患	炎症性筋疾患の患者血清中に存在する自己抗体で、シグナル認識粒子 (signal recognition particle: SRP) に対する自己抗体。
抗SS-A (Ro) 抗体	こうえすえすえー (あー おー) こうたい	anti-SSA (Ro) antibody			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	シェーグレン症候群で特徴的に同定される抗体の一種。
抗SS-B (La) 抗体	こうえすえすびー (えるえー) こうたい	anti-SSB (La) antibody			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	シェーグレン症候群で特徴的に同定される抗体の一種。
抗Sm抗体	こうえすえむこうたい	anti-Sm antibody			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	SLEなどで認められる非ヒストン核タンパクの自己抗体。
抗Scl-70抗体	こうえすしーえるせぶんてい こうたい	anti-Scl-70 antibody			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	強皮症で認められる非ヒストン可溶性核タンパクの自己抗体。
抗NH2 terminal of alpha-enolase 抗体	こうえぬえいちうーたーみな るおぶあるふあえのらーぜ こうたい	anti-NH2 terminal of alpha enolase antibody		抗NAE抗体	Ⅲ-6 神経疾患	α -エノラーゼのN末端領域に対する自己抗体であり、橋本脳症患者において検出されることがある。
抗NMDA受容体抗体脳炎	こうえぬえむでいえいじゅよう たいこうたいのうえん	anti-NMDA receptor encephalitis			Ⅲ-6 神経疾患	卵巣奇形腫に随伴する傍腫瘍性脳炎であり、NMDA受容体の細胞外成分に対する抗体 (抗NMDA受容体抗体) を有する自己免疫性脳炎。
抗N-methyl-D-aspartate 受容体抗体	こうえぬめちるでいーあすば るてーとじゅようたいこうたい	anti-NMDA receptor antibody		anti-NMDAR	Ⅲ-6 神経疾患	慢性辺縁系脳炎*脳症の病像を呈することが多く、卵巣奇形腫を有する若年女性に好発する。精神症状、記憶障害、けいこ、意識障害、呼吸不全、不随意運動、自覚神経症状などを呈する。多くは免疫療法に反応して長期的には予後が良好であるが、一部は重篤な後遺症を残す。患者髄液・血清中にNMDA受容体に対する自己抗体を生じ、病勢と並行して増強される。
抗Mi-2抗体	こうえむあいつーこうたい	anti-Mi-2 antibody			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	皮膚筋炎で特徴的に認められる自己抗体。
抗MOG抗体関連疾患 (MOGAD)	こうえむおーじーこうたいか んれんしっかん	anti-MOG antibody- associated disease		MOGAD	Ⅲ-6 神経疾患	MOG を標的とする自己抗体。MOG 抗体が中枢神経に炎症性病変をきたす疾患。
抗MDA5抗体	こうえむでいーえーふあいぶ こうたい	anti-MDA5 antibody			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	皮膚筋炎特異的抗体。同抗体陽性例は筋症状が少なく、高率に急速進行性間質性肺炎を併発し予後不良と言われている。
抗LM1抗体	こうえるえむわんこうたい	anti-LM1 antibody			Ⅲ-6 神経疾患	LM1はミエリンに局在する糖脂質である。抗LM1抗体は急性炎症性脱髄性多発根神経炎で検出されることがある。
抗LDL受容体関連タンパク質4	こうえるでいえるじゅようたい かんれんたんぱくしつふおー	low-density lipoprotein receptor-related protein 4			Ⅲ-6 神経疾患	LDL受容体ファミリーの一群に属する1回膜貫通型蛋白質で、骨や各臓器における発現が確認されており、神経系にも大脳など広範に発現している。神経筋接合部においてはアセチルコリン受容体、MuSK同様、神経筋接合部形成に必須である。
高Lp(a)血症	こうえるびーえーけつしょう	hyper-lipoprotein(a)-emia			Ⅲ-3 循環器疾患	動脈硬化の独立危険因子であり、血液中リポ蛋白(a) $\geq 50\text{mg/dl}$ は高リスクとなる。
好塩基球	こうえんききゅう	basophilic leukocyte			Ⅱ-1 分離法	普通染色の塩基性色素により暗紫色に染まる大型の顆粒をもち、白血球の0.5%程度を占める。免疫機能への関与は完全には解明されていない。
抗炎症性サイトカイン	こうえんしょうせいさいとかい ん	anti-inflammatory cytokines			Ⅲ-11 感染症・敗血症	炎症時に増加する炎症性サイトカインに対して、炎症抑制的に働くサイトカイン。IL-10やTGF- β など。
抗核抗体	こうかくこうたい	Anti nucleolar antibody			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	細胞核に対する抗体で膠原病診断の基本。疾患特異自己抗体が疾患と密接に関係する。間接蛍光抗体法で検出できる。
高カリウム血症周期性四肢麻痺	こうかりうむけつせいしゅうき せいししまひ	hyperkalemic periodic paralysis			Ⅲ-6 神経疾患	周期性四肢麻痺で高カリウム血症の場合に起こるもので第17染色体にあるナトリウムチャネルの遺伝子異常が報告されている。
抗カリウムチャンネル抗体	こうかりうむちゃんねるこうたい	anti-potassium channel antibody			Ⅲ-6 神経疾患	Isaacs症候群、辺縁系脳炎等に関連する自己抗体。
抗カルジオリピン抗体	こうかるじおりびんこうたい	anticardiolipin antibody			Ⅱ-2 吸着法	抗リン脂質抗体症候群 (APS) の自己抗体。
抗ガングリオシド抗体 (糖脂質抗体)	こうがんぐりおしどこうたい	anti ganglioside antibody			Ⅱ-2 吸着法	Guillain-Barré 症候群 (GBS) や Fisher 症候群 (FS) 等の自己免疫機序の関与する末梢神経障害に特異的にみられる各種ガンリオシドを認識する自己抗体の総称。
抗ガングリオシド抗体 (糖脂質抗体)	こうがんぐりおしどこうたい	antiganglioside antibody			Ⅲ-6 神経疾患	Guillain-Barré 症候群 (GBS) や Fisher 症候群 (FS) 等の自己免疫機序の関与する末梢神経障害に特異的にみられる各種ガンリオシドを認識する自己抗体の総称。
交換輸血	こうかんゆけつ	exchange transfusion	ET	全血交換輸血	I 総説	患者血液を瀉血しながら血液または血液製剤を輸注し置き換えることで、病因物質を除去し病態の改善を図る治療法。本法は新生児溶血性疾患の治療法として開発された。
交換輸血	こうかんゆけつ	exchange transfusion	ET	全血交換輸血	Ⅲ-9 小児疾患・生殖器疾患	患者血液を瀉血しながら血液または血液製剤を輸注し置き換えることで、病因物質を除去し病態の改善を図る治療法。本法は新生児溶血性疾患の治療法として開発された。
後希釈法	こうきしやくほう	post-substitution method, post-dilution method		後置換法	Ⅱ-4 置換液・抗凝固法	前置換法参照。CHFやCHFなどの濾過療法において、血液浄化器後の血液回路に置換液を注入する方法。血球成分の存在のため、濾過流量、置換液量には限界がある。

抗GABA _B 受容体抗体	こうぎやばじゅようたいこうたい	anti-GABA _B receptor antibody	anti-GABA _B R		Ⅲ-6 神経疾患	亜急性経過の辺縁系脳炎を呈する。患者血清・髄液中にGABA受容体に結合する抗体が検出され、けいれんなどの症状を生じる。
抗凝固薬	こうぎょうこやく	anticoagulant			Ⅱ-4 置換液・抗凝固法	血液凝固を阻害し、血栓塞栓症の治療と予防。体外循環回路内の凝固防止、輸血用血液の保存や血液検査の際などに用いられる薬剤。
抗凝固療法	こうぎょうこりょうほう	anticoagulant therapy		抗凝固薬	Ⅱ-4 置換液・抗凝固法	体外循環回路内に抗凝固薬を注入して、回路内での血液凝固を防止する治療法。
抗筋特異的チロシンキナーゼ抗体	こうきんとくいていき(ちろしん)きなーぜこうたい	anti-muscle specific tyrosine kinase antibody	抗MuSK抗体		Ⅲ-6 神経疾患	抗アセチルコリン受容体(AChR)抗体陰性の重症筋無力症と関連する自己抗体の一種。
抗筋特異的チロシンキナーゼ抗体	こうきんとくいていきちろしんきなーぜこうたい	anti-muscle specific tyrosine kinase antibody	抗MuSK抗体		Ⅱ-2 吸着法	抗アセチルコリン受容体(AChR)抗体陰性の重症筋無力症と関連する自己抗体の一種。
抗グルタミン酸デカルボキシラーゼ抗体	こうぐるたまんさんでかるぼきしらーぜこうたい	anti-glutamic acid decarboxylase antibody	抗GAD抗体		Ⅱ-2 吸着法	膵β細胞などに存在するグルタミン酸デカルボキシラーゼに対する自己抗体である。Ⅰ型糖尿病の判定補助や発症予知に有用である。
抗グルタミン酸デカルボキシラーゼ抗体	こうぐるたまんさんでかるぼきしらーぜこうたい	anti-glutamic acid decarboxylase antibody	抗GAD抗体		Ⅲ-6 神経疾患	膵β細胞などに存在するグルタミン酸デカルボキシラーゼに対する自己抗体である。Ⅰ型糖尿病の判定補助や発症予知に有用である。
高クレアチンキナーゼ血症	こうくれあちんきなーぜけっしょう	hyper-creatinemia	CKemia		Ⅲ-6 神経疾患	血清クレアチンキナーゼが高値の状態。
高血圧緊急症	こうけつあつきんきゅうしょう	hypertensive emergency			Ⅲ-3 循環器疾患	血圧の高度の上昇(通常180/120 mmHg以上)により、脳、心、腎、大血管などの標的臓器に急性の障害が生じ進行する病態。
抗血液型抗体	こうけつえきがたこうたい	anti-blood type antibody			Ⅲ-12 移植	ドナー表面抗原に対する特異的抗体のうち、血液型抗原に対する抗体(抗A、抗B)。生理的に産生されている。
抗血小板	こうけっしょうばんやく	antiplatelet [agent/drug]			Ⅲ-3 循環器疾患	血小板の凝集を阻害することで、血栓形成を予防する薬剤。アスピリン、クロピドグレル、シロスタゾールなどがある。
抗原	こうげん	antigen	Ag		Ⅲ-7 免疫疾患	動物に投与することにより、非自己と認識され抗体の産生を含む各種免疫現象や免疫寛容(tolerance)状態を成立させる物質。
抗原抗体結合	こうげんこうたいけつごう	antigen-antibody reaction			Ⅱ-2 吸着法	抗原と抗体間に生ずる結合反応。
抗原提示細胞	こうげんていしさいぼう	antigen presenting cell	APC		Ⅲ-7 免疫疾患	抗原ペプチドをMHC分子に結合させて、抗原特異的T細胞に提示し、その活性化を誘導する細胞。
抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体	こうこうじょうせんべんおきしだーぜこうたい	anti-thyroid peroxidase antibody			Ⅲ-6 神経疾患	甲状腺ホルモン合成に関わるペルオキシダーゼに対する自己抗体である。甲状腺障害性が認められており、自己免疫性甲状腺疾患の病態に関与する。
抗好中球細胞質抗体	こうこうちゅうきゅうさいぼうしつこうたい	anti-neutrophil cytoplasmic antibody	ANCA		Ⅱ-2 吸着法	好中球の細胞質内顆粒とリソソームを対応抗原とする自己抗体の総称。P(MPO)-ANCAとC(PR3)-ANCAがある。
抗好中球細胞質抗体	こうこうちゅうきゅうさいぼうしつこうたい	anti-neutrophil cytoplasmic antibody	ANCA		Ⅲ-2 腎疾患	好中球の細胞質内顆粒とリソソームを対応抗原とする自己抗体の総称。P(MPO)-ANCAとC(PR3)-ANCAがある。
抗好中球細胞質抗体関連腎炎	こうこうちゅうきゅうさいぼうしつこうたいかんれんじんえん	anti-neutrophil cytoplasmic antibody (ANCA)-associated nephritis	ANCA関連腎炎		Ⅲ-2 腎疾患	ANCA陽性で、急速進行性糸球体腎炎の形をとり、病理組織学的に蛍光染色陰性の半月体形成腎炎を呈する腎炎。
抗コリンエステラーゼ薬	こうこりんえすてらーぜやく	anticholinesterase agent			Ⅲ-6 神経疾患	生体内のコリンエステラーゼを不活性化することにより、アセチルコリンの分解を阻害し、コリン作動性神経と効果器官の結合部位においてアセチルコリンを蓄積させ、結果的にコリン作動性薬物として働くもの。
抗Contactin-1抗体	こうこんたくちんわんこうたい	anti-contactin-1 antibody			Ⅲ-6 神経疾患	傍紋輪部のグリア側に存在し、軸索側のNF-155やCaspr-1と複合体を形成し、傍紋輪部における軸索グリア接合に関与している膜貫通型蛋白であるContactin-1に対する抗体で、Guillain-Barré症候群や慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチーの一部で陽性になる。
高サイトカイン血症	こうさいとかいんけっしょう	hypercytokinemia			Ⅲ-11 感染症・敗血症	血中でサイトカインが高値となる状態。
交差反応	こうさはんのう	cross reaction			Ⅲ-7 免疫疾患	ある抗原で免疫して得られた抗体が、他の抗原にも反応して結合する現象。
好酸球	こうさんきゅう	eosinophil granulocyte			Ⅱ-1 分離法	正常な末梢血でみられるのは成熟型で、白血球の0.5-13%を占める。アレルギー反応の制御を行い、Ⅰ型アレルギーで増加し、ヒスタミンを不活性化する。弱い貪食能力をもちⅠ型アレルギー、寄生虫の感染などで増殖する。
好酸球性筋膜炎	こうさんきゅうせいきんまくえん	eosinophilic fasciitis			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	筋膜の炎症性変化に続く線維化と肥厚を特徴とする疾患。
好酸球性多発血管炎生肉芽腫症	こうさんきゅうせいいたはつけっかんえんせいにくげしゅしょう	eosinophilic granulomatous angiitis →eosinophilic granulomatosis with polyangiitis	EGPA		Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	先行する気管支喘息、好酸球増多症に血管炎を伴う疾患。
好酸球性肺(臓)炎	こうさんきゅうせいはい(ぞう)えん	eosinophilic pneumonia, eosinophilic pneumonitis			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	好酸球浸潤を特徴とする肺実質の炎症をきたす疾患。
抗GM1抗体	こうじーえむわんこうたい	anti-GM1 antibody			Ⅲ-6 神経疾患	神経組織に広範に存在しているガングリオシドのGM1に対する抗体である。ギランバレーの発症に関わる。
抗GQ1b抗体	こうじーきゅーわんびーこうたい	anti-GQ1b antibody			Ⅲ-6 神経疾患	GQ1bは外眼筋を支配する脳神経の傍紋輪部ミエリンに局在が示されている。外眼筋麻痺と強い相関があり、ギランバレー症候群の亜型であるフィッシャー症候群で陽性となる。
抗CCP抗体	こうしーしーびーこうたい	anti-cyclic citrullinated peptide (CCP) antibody			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	関節リウマチに特徴的なシトルリン化タンパクに対する自己抗体。
抗CD20抗体	こうしーでーとうえんていこうたい	anti-CD20 antibody			Ⅲ-10 皮膚疾患	分子標的薬の一つ。B細胞表面のCD20抗原に結合しCD20陽性細胞を抑制する。
抗糸球体基底膜(抗体)腎炎	こうしきゅうたいきていまく(こうたい)じんえん	anti-glomerular basement membrane antibody nephritis		Goodpasture症候群	Ⅲ-2 腎疾患	血清中又は腎糸球体に抗糸球体基底膜抗体を認め、典型例では腎糸球体に急速かつ激烈な炎症がおこり、数週から数か月間の経過で腎機能が急速に低下する急速進行性糸球体腎炎症候群を呈する。
抗糸球体基底膜抗体	こうしきゅうたいきていまくこうたい	anti-glomerular basement membrane antibody	抗GBM抗体		Ⅱ-2 吸着法	糸球体基底膜(glomerular basement membrane:GBM)に対する自己抗体である抗GBM抗体が原因となり、肺出血や急速進行性糸球体腎炎(rapidly progressive glomerulonephritis: RPGN)を来す。
抗糸球体基底膜抗体	こうしきゅうたいきていまくこうたい	anti-glomerular basement membrane antibody	抗GBM抗体		Ⅲ-2 腎疾患	糸球体基底膜(glomerular basement membrane:GBM)に対する自己抗体である抗GBM抗体が原因となり、肺出血や急速進行性糸球体腎炎(rapidly progressive glomerulonephritis: RPGN)を来す。
抗糸球体基底膜抗体	こうしきゅうたいきていまくこうたい	anti-glomerular basement membrane antibody	抗GBM抗体		Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	糸球体基底膜(glomerular basement membrane:GBM)に対する自己抗体である抗GBM抗体が原因となり、肺出血や急速進行性糸球体腎炎(rapidly progressive glomerulonephritis: RPGN)を来す。
膠質(コロイド)浸透圧	こうしつしんとうあつ	colloid osmotic pressure	COP		Ⅰ 総説	血漿蛋白による浸透圧で、血管外の水分を血管内に引っ張る圧力。
高周波アブレーション	こうしゅうはあぶれーしょん	radiofrequency ablation	RFA		Ⅲ-3 循環器疾患	カテーテルで不整脈の原因となる異常興奮旋回経路を高周波電氣的に焼灼する治療法。
甲状腺中毒(性)昏迷	こうじょうせんちゅうどく(せい)こんすい	thyrotoxic coma		甲状腺クリーゼ	Ⅲ-6 神経疾患	甲状腺機能亢進患者において、甲状腺中毒症が急速かつ高度に増悪した場合に、意識障害から昏迷になる病態。
甲状腺中毒性ミオパチー	こうじょうせんちゅうどくせいみおぱちー	thyrotoxic myopathy			Ⅲ-6 神経疾患	甲状腺機能亢進症に合併する筋症状で近位筋優位の筋力低下が主な症状。
抗Jo-1抗体	こうじょーわんこうたい	anti-Jo-1 antibody			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	多発性筋炎と皮膚筋炎に特徴的な自己抗体。

高浸透圧高血糖非ケトン性昏睡	こうしんとうあつせいこうけつとうひけとんせいこんすい	hyperosmolar hyperglycemic nonketotic coma			Ⅲ-6 神経疾患	糖尿病で高血糖から高浸透圧となって昏睡状態に陥る病態。
光線過敏症	こうせんかびんしょう	photosensitivity			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	日光によって惹起される免疫反応の総称。
抗セントロメア抗体	こうせんとろめあくうたい	anticentromere antibody	ACA		Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	CREST症候群に特徴的なセントロメア領域の自己抗体。
高速液体クロマトグラフィー	こうそくえきたいくろまどぐらふいー	high performance liquid chromatography			Ⅲ-7 免疫疾患	液体の移動相をポンプなどによって加圧してカラムを通過させ、分析種を固定相及び移動相との相互作用(吸着、分配、イオン交換、サイズ排除など)の差を利用して高性能に分離して検出する分析方法。
酵素抗体法	こうそこうたいほう	enzyme immunoassay	EIA		Ⅲ-7 免疫疾患	微量な物質を特異的な抗体を用いて検出、定量する方法。
酵素免疫測定法	こうそめんえきそくていほう	enzyme-linked immunosorbent assay	ELISA	固相酵素免疫定量法	Ⅲ-7 免疫疾患	抗原あるいは抗体に酵素を共有結合で結合させたものをプローブとし、抗体あるいは抗原の存在を抗原抗体反応を利用して測定する方法。
抗体	こうたい	antibody	Ab		Ⅲ-7 免疫疾患	生体内に生体を構成するもの以外の物質が侵入してくると、その物質と厳密に1対1の対応性をもって結合するタンパク質。
抗体依存性細胞障害作用	こうたいいぞんせいさいぼうしょうがいさよう	antibody-dependent cellular cytotoxicity	ADCC		Ⅲ-12 移植	活性細胞や病原体に抗体が結合すると、その抗体がマクロファージやナチュラルキラー細胞を呼び寄せ、その抗体が結合している細胞や病原体を殺傷する作用。
抗体依存性細胞媒介性細胞傷害作用	こうたいいぞんせいさいぼうばいかいせいさいいぼうしょうがいさよう	antibody dependent cell-mediated cytotoxicity	ADCC		Ⅲ-7 免疫疾患	抗体分子のFc部分に対するレセプター(Fcレセプター)をもった免疫細胞が、抗体の結合を受けた標的細胞を傷害する機構。
抗体関連型拒絶反応	こうたいかんれんがたきよぜつはんのう	antibody mediated rejection	AMR		Ⅲ-12 移植	液性拒絶反応と同義。
好中球	こうちゅうきゅう	neutrophil			Ⅲ-7 免疫疾患	強い殺菌・貪食能力を持ち、細菌や真菌感染から体を守る主要な防御機構をなす白血球の中の顆粒球の一種で、白血球全体の約45-75%を占める。
好中球	こうちゅうきゅう	neutrophil			Ⅲ-11 感染症・敗血症	強い殺菌・貪食能力を持ち、細菌や真菌感染から体を守る主要な防御機構をなす白血球の中の顆粒球の一種で、白血球全体の約45-75%を占める。
好中球エラスターゼ	こうちゅうきゅうえらすたーぜ	neutrophil elastase			Ⅲ-11 感染症・敗血症	好中球より分泌される強力な中性タンパク分解酵素、炎症や敗血症の病態に関与する。
抗TNF α 抗体製剤	こうていーえぬえふあるふあこうたいせいざい	anti-TNF α antagonist	anti-TNF RA		Ⅲ-8 消化器疾患	生物学的製剤のひとつ、TNF α の作用を阻害することにより炎症を抑える薬剤、炎症性腸疾患や関節リウマチなどの治療に用いられている。
抗THSD7A抗体	こうていえっちえすていせぶんえいこうたい	thrombospondin type-1 domain-containing 7A antibody			Ⅲ-2 腎疾患	糸球体上皮細胞(ポドサイト)の表面に発現しており、一次性膜性腎症の原因抗原の一つ。
抗低密度リポタンパク質受容体関連タンパク質4抗体	こうていみつとりぼたんぱくしつじゅふたいかんれんたんぱくしつぷおーこうたい	anti-low density lipoprotein receptor-related protein 4 antibody	抗LRP4抗体		Ⅲ-6 神経疾患	低密度リポタンパク質受容体関連タンパク質4(LRP4)はLDL受容体ファミリー群に属する1回膜貫通型タンパク質である。抗LRP4抗体は一部の重症筋無力症患者で検出される。
抗デスモグレイン3抗体	こうですもぐれいんすりーこうたい	anti-desmoglein 3 antibody	Dsg-3 Ab	天疱瘡抗体	Ⅱ-2 吸着法	デスモグレインに結合し攻撃することで、デスモグレインの接着する動きを阻害し、その結果、表皮細胞と表皮細胞がばらばらになり、表皮の中で水疱が生じる。落葉状天疱瘡・尋常性天疱瘡の原因となる自己抗体。
抗デスモグレイン3抗体	こうですもぐれいんすりーこうたい	anti desmoglein-3 antibody	Dsg-3 Ab	天疱瘡抗体	Ⅲ-10 皮膚疾患	デスモグレインに結合し攻撃することで、デスモグレインの接着する動きを阻害し、その結果、表皮細胞と表皮細胞がばらばらになり、表皮の中で水疱が生じる。落葉状天疱瘡・尋常性天疱瘡の原因となる自己抗体。
抗デスモグレイン1抗体	こうですもぐれいんわんこうたい	anti-desmoglein 1 antibody	Dsg-1 Ab	天疱瘡抗体	Ⅱ-2 吸着法	デスモグレインに結合し攻撃することで、デスモグレインの接着する動きを阻害し、その結果、表皮細胞と表皮細胞がばらばらになり、表皮の中で水疱が生じる。落葉状天疱瘡・尋常性天疱瘡の原因となる自己抗体。
抗デスモグレイン1抗体	こうですもぐれいんわんこうたい	anti desmoglein-1 antibody	Dsg-1 Ab	天疱瘡抗体	Ⅲ-10 皮膚疾患	デスモグレインに結合し攻撃することで、デスモグレインの接着する動きを阻害し、その結果、表皮細胞と表皮細胞がばらばらになり、表皮の中で水疱が生じる。落葉状天疱瘡・尋常性天疱瘡の原因となる自己抗体。
抗電位依存性カリウムチャンネル抗体	こうでんいいぞんせいかりうむちゃんねるこうたい	anti-voltage-gated potassium channel(anti-VGKC)antibody	anti-VGKC		Ⅲ-6 神経疾患	Isaacs症候群、辺縁系脳炎等に関連する自己抗体。
抗電位依存性カルシウムチャンネル抗体	こうでんいいぞんせいかるしうむちゃんねるこうたい	anti-voltage-gated calcium channel antibody	anti-VGCC		Ⅲ-6 神経疾患	Lambert-Eaton筋無力症候群に関する自己抗体。
後天性表皮水疱症	こうてんせいひょうひすいほうしょう	epidermolysis bullosa acquisita	EBA		Ⅲ-10 皮膚疾患	表皮下水疱を示す自己免疫性水疱症の一つ、抗VII型コラーゲン抗体による。
後天性免疫不全症候群	こうてんせいめんえきふぜんしょうこうぐん	acquired immunodeficiency syndrome	AIDS		Ⅲ-6 神経疾患	HIV感染による免疫不全状態。
抗ドナー抗体	こうどなーこうたい	anti-donor antibody			Ⅲ-12 移植	ドナー表面抗原に対する特異的抗体、主なものに血液型抗原に対する抗体(抗A、抗B)とMHCクラスⅠ、Ⅱに対する抗体(抗HLA-DSA)がある。
高トリグリセリド血症	こうとりぐりせりどけっしょう	hypertriglyceridemia	HTG		Ⅲ-4 脂質異常症	空腹時の血中TG値が150 mg/dL以上の状態。
抗二本鎖DNA抗体	こうにほんさでいーえぬえーこうたい	anti-dsDNA antibody			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	SLEなどで認められる二本鎖DNAに対する自己抗体。
抗Neurofascin155抗体	こうにゅーふあしんいちこうこうたい	anti-neurofascin 155 antibody			Ⅲ-6 神経疾患	傍紋輪部のグリア側に存在し、軸索側のcontactin-1やCaspr-1と複合体を形成し、傍紋輪部における軸索グリア接合に関与している膜貫通型蛋白であるNeurofascin-155に対する抗体で、Guillain-Barre症候群や慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパシーの一部で陽性になる。
抗PL-7抗体	こうびーえるせぶんこうたい	anti-PL-7 antibody			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	多発性筋炎などで出現する自己抗体の一種。
抗BP-230抗体	こうびーびーとうーさーていこうたい	anti BP-230 antibody	BP-230 Ab	類天疱瘡抗体	Ⅲ-10 皮膚疾患	水疱性類天疱瘡の原因となる自己抗体。
抗BP180抗体	こうびーびーわんえいていこうたい	anti-BP180 antibody	BP-180 Ab		Ⅱ-2 吸着法	表皮基底膜部抗原(ヘミデスモソーム構成蛋白であるBP180)に対する自己抗体(IgG)の関与により、表皮下水疱を生じる。水疱性類天疱瘡の原因となる自己抗体。
抗BP180抗体	こうびーびーわんえいていこうたい	anti BP-180 antibody	BP-180 Ab	類天疱瘡抗体	Ⅲ-10 皮膚疾患	表皮基底膜部抗原(ヘミデスモソーム構成蛋白であるBP180)に対する自己抗体(IgG)の関与により、表皮下水疱を生じる。水疱性類天疱瘡の原因となる自己抗体。
高比重リポタンパク	こうひじゅうりぼたんぱく	high-density lipoprotein	HDL	高密度リポタンパク	Ⅲ-4 脂質異常症	直径6-12 nm、超遠心法により比重1.063-1.210に分画されるリポタンパク、コレステロールを末梢組織から引き抜き、肝臓へ輸送する。抗動脈硬化作用を有すると考えられている。
高比重リポタンパクコレステロール	こうひじゅうりぼたんぱくこれすてろーる	high-density lipoprotein cholesterol	HDL-C	高密度リポタンパクコレステロール	Ⅲ-4 脂質異常症	HDL中に含まれるコレステロール。
抗ヒストン抗体	こうひすとんこうたい	anti-histone antibody			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	ヌクレオソームを構成するタンパク成分に対する自己抗体。
抗VGKC抗体関連疾患	こうぶいじいけいしいうたいかんれんしっかん	anti voltage gated potassium channel VGKC complex antibody disorders			Ⅲ-6 神経疾患	神経筋接合部の運動終末側にある電位依存性カリウムチャンネル(VGKC)に対する自己抗体が病態に深く関与する傍腫瘍性神経疾患、抗VGKC抗体はIsaacs症候群の病因自己抗体。
抗PLA2R抗体	こうぷらつーじゅふたいこうたい	phospholipase A2 receptor antibody		ホスホリパーゼ A2 レセプター抗体	Ⅲ-2 腎疾患	糸球体上皮細胞(ポドサイト)の表面に発現する膜貫通蛋白質、一次性膜性腎症の原因抗原の一つ。
抗平滑筋抗体	こうへいかつきんこうたい	anti-smooth muscle antibody	ASMA		Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	自己免疫的機序の関与する肝炎で出現する自己抗体。

抗b2GP I 抗体	こうべーたつーぐりこぶろていんわんこうたい	anti-b2GP1antibody			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	カルジオリピンとb2GP1との複合体への自己抗体。
抗補体療法	こうほたいりょうほう	anti-complement therapy			Ⅲ-6 神経疾患	補体介在性の自己免疫性疾患に対する補体を標的とした治療。
抗myelin associated glycoprotein抗体	こうみえりんあそそえいていっどぐりこぶろていんこうたい	anti-myelin associated glycoprotein antibody			Ⅲ-6 神経疾患	ミエリン随伴性糖蛋白自己抗体。末梢神経のミエリンに高濃度に存在し、硫酸化グルクロン酸と結合するオリゴ糖を認識する抗体。
抗ミエリン塩基性タンパク質抗体	こうみえりんえんきせいたんぱくしつこうたい	anti-myelin basic protein antibody	抗MBP抗体		Ⅲ-6 神経疾患	ミエリン塩基性タンパクは神経ミエリン鞘を形成する主要な蛋白である。多発性硬化症への進行リスクが増加すると報告されている。
抗myelin oligodendrocyte glycoprotein 抗体	こうみえりんおりごでんどうさいとぐりこぶろていんこうたい	anti-myelin oligodendrocyte glycoprotein antibody	抗MOG抗体		Ⅲ-6 神経疾患	小児の亜急性散在性脳脊髄炎、成人の視神経炎、脊髄炎などで検出される抗体で、免疫療法に反応が良好であるが、再発が多い一群。
抗U1-RNP抗体	こうゆーわんあーえぬびーこうたい	anti-U1-RNP antibody			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	非ヒストン核タンパクとRNAの複合体への自己抗体の一種。
抗リボソームP抗体	こうりぼそーむびーこうたい	anti-ribosomal P antibody			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	ループス精神病などと関連するリボソームへの自己抗体。
抗リン脂質抗体	こうりんしつこうたい	antiphospholipid antibody	aPL		Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	抗カルジオリピン抗体など細胞膜の構成成分であるリン脂質に対する自己抗体。
抗リン脂質抗体症候群	こうりんしつこうたいしゅうこうぐん	antiphospholipid syndrome	APS		Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	抗リン脂質抗体陽性で習慣流産、動・静脈血栓症、血小板減少症などの血栓症をきたす疾患群。
抗リンパ球グロブリン V 型アレルギー	こうりんぱきゅうぐるぶりんV 型アレルギー	anti-lymphocyte globulin type V allergy	ALG		Ⅲ-12 移植 Ⅲ-7 免疫疾患	拒絶反応の予防に用いる血清からの精製グロブリン。近年は抗ヒト胸腺細胞ウサギ免疫グロブリン(商品名サイモグロブリン)抗体と称されることが多い。抗体が結合することにより、組織傷害が起こるかわりに、機能亢進がもたらされる。
呼吸終末陽圧	こきしゅうまつようあつ	positive endo-expiratory pressure	PEEP		Ⅲ-14 肺疾患	人工呼吸管理の手法で、呼吸終末に陽圧をかけることで肺胞の虚脱を防ぎ、肺酸化を改善する。
呼吸不全	こきゅうふぜん	respiratory failure			Ⅲ-14 肺疾患	呼吸機能障害によって生体が正常に機能できない状態。酸素分圧が60 Torr以下。
極低出生体重児	ごくていしゅつせいたいじゅうじ	very low birth weight infant	VLBWI		Ⅲ-9 小児疾患・生殖器疾患	出産時の体重が1,500 g未満の新生児。
個人用透析装置	こじんようとうせきそうち	personal dialysis machine			Ⅱ-3 周辺機器	透析液作成・供給機構が装備された透析装置で、主に除水制御機構、血液ポンプ、漏血検知器、気泡検知器、持続注入器などで構成されている。
骨髓移植	こつずいしよく	bone marrow transplantation	BMT	末梢血幹細胞移植、造血幹細胞移植	Ⅱ-1 分離法	骨髓中の造血系細胞を移植する治療法で、白血病やリンパ腫のような造血器の悪性腫瘍や再生不良性貧血など骨髓不全をきたす疾患の治療に用いる。
ゴナドトロピン	ごなどとろびん	gonadotrop(h)in, gonadotropic hormone	Gn	性腺刺激ホルモン	Ⅲ-9 小児疾患・生殖器疾患	性腺に作用し性腺の発育促進、機能調整などの働きをもつホルモン。
孤立性心房細動	こりつせいしんぼうさいどう	lone atrial fibrillation			Ⅲ-3 循環器疾患	60歳未満で臨床所見と心エコー所見で高血圧を含めて心肺疾患の全くない心房細動。
コリン作動性クリーゼ	こりんさどうせいくリーゼ	cholinergic crisis			Ⅲ-6 神経疾患	コリンエステラーゼ阻害薬(抗ChE薬)による治療中に起こる呼吸困難を伴うアセチルコリン過剰症状の急激な悪化とされ、人工呼吸を要する状態。
コレステミド	これすちみど	colestimide			Ⅲ-4 脂質異常症	「陰イオン交換樹脂」の項目参照。
コレステラミン	これすちらみん	cholestyramine			Ⅲ-4 脂質異常症	「陰イオン交換樹脂」の項目参照。
コレステリルエステル	これすてりるえすてる	cholesteryl ester	CE		Ⅲ-4 脂質異常症	LCAT(リポタンパク)またはACAT(細胞内)の作用でエステル化されたコレステロール。
コレステリルエステル転送タンパク	これすてりるえすてるてんそんぱく	cholesteryl ester transfer protein	CETP		Ⅲ-4 脂質異常症	高比重リポタンパク(HDL)からアポB含有タンパクへCEを転送し、交換にトリグリセリド(TG)を高比重リポタンパク(HDL)へ転送するタンパク。その欠損症では高HDL-C血症が生じる。
コレステリルエステル転送タンパク欠損症	これすてりるえすてるてんそんぱくけつそんしょう	cholesteryl ester transfer protein deficiency	CETP deficiency		Ⅲ-4 脂質異常症	原発性高HDL-C血症の代表的な成因。その抗動脈硬化惹起性については議論されている。
コレステロール	これすてろーる	cholesterol			Ⅲ-4 脂質異常症	細胞膜の構成成分、胆汁酸やホルモンの材料、動脈硬化の成因に強く関与。
コレステロール吸収阻害薬	これすてろーるきゅうしゅうそうがいやく	cholesterol adsorption inhibitor		小腸コレステロールトランスポーター阻害薬、エゼチミブ	Ⅲ-4 脂質異常症	「小腸コレステロールトランスポーター阻害薬」を参照。
コレステロール塞栓症	これすてろーるそくせんしょう	cholesterol crystal embolism	CCE		Ⅲ-2 腎疾患	動脈硬化が強い症例で、血管内カテーテルの操作や血管手術により、動脈壁にあるアテロプラークの破片であるコレステロール脂質がはがれ、末梢の小動脈に塞栓症を引き起こす病態。
コロニー刺激因子	ころにーしげきいんし	colony stimulating factor	CSF		Ⅲ-7 免疫疾患	造血因子のうち、in vitroでのコロニー形成を指標に単離された生理活性物質で、多くは分子量20万前後の液性因子である。
混合静脈血酸素飽和度	こんごうじょうみゃくけつさんそほうわど	mixed venous oxygen saturation	SvO2		Ⅲ-14 肺疾患	動脈血酸素飽和度、ヘモグロビン濃度、心拍出量、全身酸素消費量の4つの因子から計算され、通常は心拍出量の変化を反映する。
混合性結合(組)織病	こんごうせいけつごう(そ)しきびょう	mixed connective tissue disease	MCTD		Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	全身性エリテマトーデスや強皮症、皮膚筋炎・多発性筋炎の臨床像を併せもち抗核抗体の一つである抗U1-RNP抗体陽性を特徴とする膠原病。
昏睡型急性肝不全	こんすいがたいきゅうせいいかんふぜん	acute liver failure with coma			Ⅲ-1 肝疾患	昏睡Ⅱ度以上の肝性脳症を呈する急性肝不全。
コンベクション	こんべくしょん	convective transport = convection			Ⅱ-1 分離法	濾過により溶質を除去すること。濾過に伴う溶質移動。
細孔(径)	さいこう	pore(size)			I 総説	血液浄化膜(透析膜、濾過膜、分離膜)に開いている孔。
再生医療	さいせいりょう	regenerative medicine/× regenerative therapy			Ⅲ-13 再生医療	損傷や機能障害を起こした細胞・組織・臓器を幹細胞や人工素材等を用いて再生して治療する医療の総称。
再生医療等安全性確保法	さいせいりょうあんぜんせいりょうとう	the act on the saafety of regenerative medicine	ASRM		Ⅲ-13 再生医療	平成26(2014)1年1月施行された法律。再生医療等の安全性の確保等を図るため、再生医療等の提供機関及び細胞培養加工施設についての基準が新たに設けられた。医薬品医療機器等法と併せて「再生医療関連法」と呼ばれる。
再生医療法	さいせいりょうほう	The Act on the Safety of Regenerative Medicine	ASRM	再生医療等の安全性の確保等に関する法律	Ⅲ-13 再生医療	平成26(2014)1年1月に施行された法律。再生医療等を提供しようとする者が講ずべき措置や、特定細胞加工物等の製造許可などについて定めている。
在宅経腸栄養	ざいたくけいちょうえいよう	home enteral nutrition	HEN		Ⅲ-8 消化器疾患	入院をせず、在宅で経管的または経口的に成分栄養を行う治療法。
在宅酸素療法	ざいたくさんそりょうほう	home oxygen therapy	HOT		Ⅲ-14 肺疾患	自宅に酸素供給機を設置し、必要時に酸素吸入をする治療法。
在宅中心静脈栄養	ざいたくちゅうしんじょうみゃくえいよう	home parental nutrition	HPN		Ⅲ-8 消化器疾患	経腸的に十分な栄養を摂取できない患者に対して、在宅で高カロリー輸液による経静脈栄養を投与する方法。中心静脈ポートを留置する場合が多い。
サイトカイン	さいとかいん	cytokine			Ⅲ-7 免疫疾患	感染や外傷などの刺激に対し免疫担当細胞から産生される可溶性ペプチドまたは糖タンパク。標的細胞表面に存在する特異的受容体を介して極めて微量で生理作用を示し、細胞間の情報伝達を担う。
サイトカイン	さいとかいん	cytokine			Ⅲ-11 感染症・敗血症	感染や外傷などの刺激に対し免疫担当細胞から産生される可溶性ペプチドまたは糖タンパク。標的細胞表面に存在する特異的受容体を介して極めて微量で生理作用を示し、細胞間の情報伝達を担う。
サイトカイン吸着	さいとかいんきゅうちやく	cytokine adsorption			Ⅱ-2 吸着法	侵襲に対する生体反応を惹起するサイトカインを吸着除去する血液浄化法。サイトカイン吸着カラムやヘモフィルター膜による吸着除去がある。
サイトカイン吸着	さいとかいんきゅうちやく	cytokine adsorption			Ⅲ-11 感染症・敗血症	侵襲に対する生体反応を惹起するサイトカインを吸着除去する血液浄化法。サイトカイン吸着カラムやヘモフィルター膜による吸着除去がある。
サイトカイン吸着ヘモフィルタ	さいとかいんきゅうちやくへもふいるた	cytokine adsorbing hemofilter			Ⅱ-2 吸着法	サイトカインを吸着する性質を持った血液濾過器。

サイトカインストーム	さいとかいんすとーむ	cytokine storm			Ⅲ-7 免疫疾患	感染症や薬剤投与などの原因により、血中サイトカインの異常上昇が起こり、その作用が全身に及び好中球の活性化、血液凝固機構活性化、血管拡張などを介して、ショック、播種性血管内凝固症候群、多臓器不全にまで進行する状態。
サイトカインストーム	さいとかいんすとーむ	cytokine storm			Ⅲ-11 感染症・敗血症	感染症や薬剤投与などの原因により、血中サイトカインの異常上昇が起こり、その作用が全身に及び好中球の活性化、血液凝固機構活性化、血管拡張などを介して、ショック、播種性血管内凝固症候群、多臓器不全にまで進行する状態。
サイトカイン放出症候群	さいとかいんほうしゅつしょうこうぐん	cytokine release syndrome:	CRS	サイトカインストーム	Ⅲ-13 再生医療	過剰な免疫反応にともない細胞から多量のサイトカインが放出され、血中のサイトカイン濃度が高度に上昇し炎症反応が引き起こされる。CAR-T療法の副作用の一つ。
再発寛解型多発性硬化症	さいはつかんかいがいたはつせいこうかしょう	relapsing-remitting multiple sclerosis	RRMS		Ⅲ-6 神経疾患	再発と寛解を繰り返すタイプの多発性硬化症。
再発性多発(性)軟骨炎	さいはつせいたはつ(せい)なんこつえん	recurrent polychondritis, relapsing polychondritis	RP		Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	耳介などの軟骨組織に生じる自己免疫性慢性炎症性疾患。
細胞性拒絶反応	さいぼうきよぜつはんのう	cellular rejection			Ⅲ-12 移植	リンパ球などの免疫担当細胞が原因の急性拒絶反応。
細胞シート	さいぼうしーと	cell sheet			Ⅲ-13 再生医療	シート状に培養した細胞であり、そのまま培養皿から剥離し、組織として移植できる。
細胞傷害性Tリンパ球	さいぼうしょうがいせいていーりんぱきゅう	cytotoxic T cell	CTL		Ⅲ-7 免疫疾患	個体の細胞、腫瘍細胞、ウイルス感染細胞、化学物質が表面に結合した細胞などに結合し、それを傷害する作用を示すT細胞。
細胞性免疫	さいぼうせいめんえき	cell-mediated immunity	CMI		Ⅲ-7 免疫疾患	局所的に起こる免疫反応で、抗体が関与せず、細胞障害性T細胞やマクロファージが直接細胞を攻撃する免疫反応。
細胞性免疫	さいぼうせいめんえき	cell-mediated immunity	CMI		Ⅲ-12 移植	局所的に起こる免疫反応で、抗体が関与せず、細胞障害性T細胞やマクロファージが直接細胞を攻撃する免疫反応。
細胞融合	さいぼうゆうごう	cell fusion			Ⅲ-13 再生医療	隣接した細胞間で隔壁が消失して一つの細胞となる現象。
サイモグロブリン	さいもぐろりん	anti-thymocyte globulin	ATG		Ⅲ-12 移植	抗ヒト胸腺細胞ウサギ免疫グロブリン(サイモグロブリン :aATG)はヒト胸腺細胞をウサギに免疫することにより得られたポリクローナル抗体。IgGを主成分とする免疫抑制薬。移植後急性拒絶反応の治療に用いられる。
酢酸セルロース	さくさんせるうす	cellulose acetate	CA		Ⅱ-2 吸着法	顆粒球、単球などを吸着する吸着材の材質として用いられる。
サクビトリルバルサルタン	さくびとりるばるさるたん	sacubitril/valsartan			Ⅲ-4 脂質異常症	降圧薬の一種でネプリライシン阻害薬であるサクビトリルとアンジオテンシン受容体拮抗薬であるバルサルタンの合剤でネプリライシン阻害薬はブラジキニン分解抑制作用がありデキストラン硫酸セルロース法を用いたLDLアフェレシスでは血圧低下の恐れがあるため併用注意薬である。
サテライト細胞	さてらいとさいぼう	satellite cell		衛星細胞	Ⅲ-13 再生医療	骨格筋組織に存在する組織幹細胞で、その働きは損傷を受けた筋組織の再生に必要である。
サブレッサーT細胞	さぶれっさーていーさいぼう	suppressor T cell			Ⅲ-7 免疫疾患	細胞性免疫・液性免疫を含めて、免疫反応を抑制する機能をもつT細胞集団。
作用薬	さようやく	agonist			Ⅲ-7 免疫疾患	レセプターに結合して生理的応答を引き起こす物質。
Sulfated glucuronyl paragloboside	さるふえいていどぐるくのうにばらぐろぼしど	sulfated glucuronyl paragloboside			Ⅲ-6 神経疾患	ミエリンの糖脂質であり、慢性後天性脱髄性多発根ニューロパチーに関与する。
酸化LDL	さんかえるでいーえる	oxidized low-density lipoprotein	oxLDL	変性LDL	Ⅲ-4 脂質異常症	酸化により生じる変性LDL。スカベンジャー受容体を介して取り込まれマクロファージの泡沫化をきたす。
Ⅲ型アレルギー	さんがたあるるぎー	type III allergy			Ⅲ-7 免疫疾患	免疫複合体型のアレルギー反応。
酸素運搬能	さんそうんぱんのう	oxygen delivery	DO2		Ⅲ-14 肺疾患	体外循環血漿量、ヘモグロビン濃度、(経皮的)動脈血酸素飽和度、溶存酸素(PaO ₂ ×0.003)に依存する。ECMOではECMO送血酸素含有量(CaO ₂)×体外循環流量(L/min)で規定される。
酸素消費量	さんそしょうひりょう	oxygen consumption	VO2		Ⅲ-14 肺疾患	心拍出量、血中ヘモグロビン濃度、(経皮的)動脈血酸素飽和度、混合静脈血酸素飽和度から算出される。ECMOでは280-300 mL/min/m ² が臨界点とされている。
酸素飽和度	さんそほうわど	oxygen saturation			Ⅲ-14 肺疾患	経皮的動脈血酸素飽和度(SpO ₂)、動脈血酸素飽和度(SaO ₂)混合静脈血酸素飽和度(SvO ₂)、中心静脈酸素飽和度(ScvO ₂)がある。
C-ANCA	シーあんか	anti-neutrophil cytoplasmic antibody	PR3-ANCA		Ⅱ-2 吸着法	好中球細胞質に存在するproteinase3 (PR3)を主な対応抗原とする自己抗体の一種で、細胞質が染まるもの。多発血管炎性肉芽腫症などで陽性となることが多い。
C-ANCA	シーあんか	anti-neutrophil cytoplasmic antibody	PR3-ANCA	PR3-ANCA	Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	好中球細胞質に存在するproteinase3 (PR3)を主な対応抗原とする自己抗体の一種で、細胞質が染まるもの。多発血管炎性肉芽腫症などで陽性となることが多い。
csDMARDs	シーえすでいーまーず	conventional synthetic DMARDs	csDMARDs		Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	生物学的製剤に対して古典的に用いられている従来からの疾患修飾性関節リウマチ治療薬の総称。サラゾスルファピリジン(SASP)、ブシラミン(BUC)、タクロリムス(TAC)、イグラムオチド(IGU)、レフルノミド(LEF)、金製剤(GST)MTX。
CNSループス	シーえぬえするーぶす	central nervous system lupus	CNS lupus		Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	全身性エリテマトーデスの一病態として出現する中枢神経症状。
CO2ナルコーシス	シーおーつーなるこーしす	CO2 narcosis			Ⅲ-14 肺疾患	肺胞低換気によりCO ₂ が蓄積し、意識障害などの中枢神経症状を伴い、自発呼吸が障害される病態。
C型肝炎ウイルス	シーがたかんえんいういるす	hepatitis C virus	HCV		Ⅲ-1 肝疾患	一本鎖RNAウイルス。持続感染することが多く劇症肝炎の原因となることは稀である。
CD抗原	シーでいーこうげん	cluster of differentiation antigen			Ⅲ-7 免疫疾患	CD分類により番号付けされた抗原。現在、CD1-CD247がある。
CD34陽性細胞	シーでいーさーていーふおーようせいさいぼう	CD34-positive cell			Ⅲ-13 再生医療	骨髄や血中にある未分化な造血幹細胞で、その中に血管内皮前駆細胞があり移植により血管再生に寄与する。
CTD-ILD	シーていでいーあいえるでいー	interstitial lung disease associated with connective tissue disease	CTD-ILD	CTD-IP	Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	膠原病に合併する間質性肺疾患の総称。
シェーグレン症候群	シェーぐれんしょうこうぐん	Sjögren's syndrome	SJS		Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	慢性唾液腺炎と乾燥性角結膜炎を生じる自己免疫疾患。
子癇	しかん	eclampsia			Ⅲ-9 小児疾患・生殖器疾患	妊娠20週以降に初めて痙攣発作を起こし、てんかんや二次性痙攣が否定されるもの。
子宮内胎児死亡	しきゅうたいたいじしぼう	intrauterine fetal death	IUFD		Ⅲ-9 小児疾患・生殖器疾患	妊娠持続期間を問わず、胎児発育が停止し胎児の心拍動、運動などの生命現象が全く消失し死亡したものである。
シクロスポリン	しころすぽりん	cyclosporin A	CyA		Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	免疫抑制剤。カルシニューリン阻害薬。
自己寛容	じこかんよう	self tolerance			Ⅲ-7 免疫疾患	正常な個体の構成細胞や組織に由来する抗原(自己抗原)に対して免疫学的応答が消失ないし、抑制されている状態。
自己血輸血	じこけつゆけつ	autologous blood transfusion			Ⅱ-1 分離法	手術を受ける患者自身の血液を予め採取、保存し、手術時の輸血に用いる方法。
自己複製	じこふくせい	self-replication			Ⅲ-13 再生医療	分裂によって自らと全く同じ性質・能力をもつ細胞を作ることであり、幹細胞の特徴の一つとなっている。
自己末梢血幹細胞採取	じこまつしょうけつかんさいぼううさいしゅ	auto-peripheral blood stem cell harvest(collection)	auto-PBSCH		Ⅱ-1 分離法	自己の末梢血の造血幹細胞を採取すること。
自己免疫介在性脳炎	じこめんえきかいざいせいのうえん	autoimmune-mediated encephalitis			Ⅲ-6 神経疾患	自己免疫学的機序が関連し発症する脳炎・脳症である。意識障害や痙攣、高次脳機能障害などが急性・亜急性に出現する病態を呈する。日本での報告が多い代表的な疾患として(NMDAR)脳炎、VGKC複合体抗体脳炎、橋本脳症があげられる。
自己免疫性高脂血症	じこめんえきせいこうしゅけつしょう	autoimmune hyperlipidemia			Ⅲ-4 脂質異常症	自己抗体が、リポ蛋白質代謝に重要な、酵素や受容体などに対して産生され、その欠損症類似的病態を呈するもの。LPLやGPIIb/IIIaの抗体による自己免疫性高カロミクロン血症などがある。
自己免疫性自律神経障害	じこめんえきせいじりつしんけいしやうがい	autoimmune autonomic ganglionopathy	AAG		Ⅲ-6 神経疾患	自律神経系が免疫異常の標的となる比較的新しい疾患概念で、抗自律神経節アセチルコリン受容体抗体が病原性自己抗体として病態の鍵となる。広範な自律神経症状以外に自律神経系外の症候(中枢神経系障害、感覚障害、内分泌障害)や併存症(膠原病、腫瘍)を呈する。
自己免疫性脳炎	じこめんえきせいのうえん	autoimmune encephalitis	AE		Ⅲ-6 神経疾患	自己免疫機序による脳炎であり、標的となる抗原によって特徴は異なる。ステロイドパルス、IVIg、アフェレシスなどの免疫療法に奏功することが多いので、腫瘍の問題がなければ免疫療法を行う。

自己免疫性ノドパチー	じこめんえきせいのだばちー	autoimmune nodopathy			Ⅲ-6 神経疾患	ランビエ絞輪部に局在するさまざまな蛋白抗原を標的とするIgG4クラスの自己抗体が相次いで発見され、その抗体陽性例は特異な病像を呈することから、autoimmune nodopathyという新たな疾患概念が生まれた。
自己免疫性溶血性貧血	じこめんえきせいやうけつせいひんけつ	autoimmune hemolytic anemia	AIHA		Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	赤血球に対する自己抗体によって赤血球の破壊が起こる後天性溶血性貧血。
死産	しざん	stillbirth, fetal death			Ⅲ-9 小児疾患・生殖器疾患	妊娠期間にかかわらず、母体から受胎による生成物が完全に排出または娩出されるに先立って死亡した場合。
脂質異常症	しつじょうしやう	dyslipidemia			Ⅲ-4 脂質異常症	LDL-C高値やTG高値に加え、HDL-C低値を含む動脈硬化性疾患との関連が深い病態。
四肢麻痺	ししまひ	quadriplegia, tetraplegia			Ⅲ-6 神経疾患	四肢がすべて麻痺している状態。
視神経脊髄炎	ししんけいせきずいえん	optic neuromyelitis, neuromyelitis optica	NMOSD	Devic disease	Ⅲ-6 神経疾患	視神経炎と脊髄炎を起こす自己免疫性疾患。
視神経脊髄型多発性硬化症	ししんけいせきずいがたはつせいこうかしやう	optico-spinal form of multiple sclerosis	OSMS		Ⅲ-6 神経疾患	視神経と脊髄を中心に多発性の病変を生じる多発性硬化症。
dysoxia	じすおきしあ	dysoxia			Ⅲ-11 感染症・敗血症	細胞内における酸素利用障害。臓器血流低下や、組織での酸素取り込みの障害、細胞内での酸素利用障害などが原因である。
施設内倫理委員会	しせつないりんりいゐんかい	institutional review board		治験審査委員会	Ⅲ-13 再生医療	臨床試験(治験)に先立って、試験の安全性や倫理性を審査する委員会。
自然免疫	しぜんめんえき	innate immunity			Ⅲ-7 免疫疾患	マクロファージ、好中球などの貪食細胞や樹状細胞が中心となる抗原非特異的な初期応答。
自然流産	しぜんりゆうざん	spontaneous abortion			Ⅲ-9 小児疾患・生殖器疾患	妊娠22週未満において、何らかの人工的操作を加えることなく、種々の原因で妊娠が中断すること。
持続血液濾過透析	じぞくけつえきろかとうせき	continuous hemodiafiltration	CHDF		I 総説	長時間にわたり緩徐に血液を透析と濾過で浄化する膜型血液浄化法。
持続性伝導ブロックを伴う多発性脱髄性ニューロパチー	じぞくせいでんどうぶろつくとともなたそうせいだつずいせいいぬーろばちー	multifocal demyelinating neuropathy with persistent conduction block			Ⅲ-6 神経疾患	伝導ブロックを伴う下位運動ニューロン疾患。
持続的血液浄化療法(持続緩徐式血液濾過)	じぞくてききけつえいじやうかりやうほう	continuous blood purification therapy	CBP		I 総説	持続的血液濾過、持続的血液濾過透析など、持続的血液浄化法の保険診療上の名称。
持続的気道陽圧法	じぞくてききどうやうあつ	continuous positive airway pressure	CPAP		Ⅲ-14 肺疾患	人工呼吸器使用時、気道内圧を常に大気圧よりも高くすること。
疾患修飾(性)抗リウマチ薬	しっかんしゆうしよく(せい)こうりうまちやく	disease-modifying antirheumatic drugs	DMARDs	bDMARDs, csDMARDs	Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	関節リウマチに対し免疫異常を修飾し活動性を調節する薬剤。
疾患修飾薬	しっかんしゆうしよくやく	disease-modifying drug	DMD		Ⅲ-6 神経疾患	疾患の原因となっている物質を標的として作用し、疾患の発症や進行を抑制する薬剤。
疾患特異的iPS細胞	しっかんとかいてきあいびーえすさいぼう	disease-specific iPS cells			Ⅲ-13 再生医療	患者から樹立されたiPS細胞。
疾患モデリング	しっかんもでりんぐ	disease modeling	IRB		Ⅲ-13 再生医療	疾患の遺伝情報を有するES細胞やiPS細胞を試験管内で罹患臓器に分化させ、病態を模倣することによって病態解析や治療薬の探索を行う研究。
実験のアレルギー性神経炎	じっけんできあれるぎーせいしんけいえん	experimental allergic neuritis	EAN		Ⅲ-6 神経疾患	自己免疫性末梢神経障害、ギラン・バレー症候群の動物モデル。
実験のアレルギー性脳炎	じっけんできあれるぎーせいのおうえん	experimental allergic encephalitis	EAE		Ⅲ-6 神経疾患	多発性硬化症の動物モデル。
実験のアレルギー性脳脊髄炎	じっけんできあれるぎーせいのおうせきずいえん	experimental allergic encephalomyelitis	EAE		Ⅲ-6 神経疾患	多発性硬化症の動物モデル。
実験の自己免疫性重症筋無力症	じっけんできじこめんえきせいじゅうしやうきんむりよくしやう	experimental autoimmune myasthenia gravis	EAMG		Ⅲ-6 神経疾患	アセチルコリン受容体で動物を免疫して発症させる筋無力症の動物モデル。
シデナム舞踏病	しでなむぶとうびやう	Sydenham chorea			Ⅲ-6 神経疾患	A群連鎖球菌感染が原因で引き起こされる神経精神障害で、強迫観念、強迫行為、注意欠如および情動不安定が生じる。
自動体外式除細動器	じどうたいがいしきじよさいどうき	automated external defibrillator	AED		Ⅲ-3 循環器疾患	心室細動に対し機器が自動的に解析を行い、除細動する機器。
シトステロール	しとすてろーる	sitosterol			Ⅲ-4 脂質異常症	植物の細胞を構成する植物性ステロールの一種。ヒトでは小腸からNPC1L1を介して取り込まれ、通常はABCG5、ABCG8を介して排出される。
シトステロール血症	しとすてろーるけっしやう	sitosterolemia			Ⅲ-4 脂質異常症	ABCG5、ABCG8の異常のため植物性ステロールの体外排出が不十分となり体内に蓄積されるために血中植物性ステロールが上昇し、著明な黄色腫、若年性冠動脈疾患などを合併する常染色体性劣性遺伝形式をとる代謝疾患。
シナプトポディン	しなぶとぽでいん	synaptopodin			Ⅲ-2 腎疾患	ポドサイトの細胞骨格関連蛋白の一つ。
脂肪肝	しぼうかん	fatty liver			Ⅲ-4 脂質異常症	肝臓に脂肪が蓄積した病態。
若年性特発性関節炎	じゃくねんせいとかはつせいかんせつえん	juvenile idiopathic arthritis	JIA	若年性関節リウマチ、小児リウマチ	Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	16歳未満に発症し、5週間以上持続する原因不明の慢性関節炎。全身型と少/多関節型等に分けられる。
若年性特発性関節炎	じゃくねんせいとかはつせいかんせつえん	juvenile idiopathic arthritis	JIA	若年性関節リウマチ、小児リウマチ	Ⅲ-9 小児疾患・生殖器疾患	16歳未満に発症し、5週間以上持続する原因不明の慢性関節炎。全身型と少/多関節型等に分けられる。
習慣流産	しゅうかんりゅうざん	habitual abortion			Ⅲ-9 小児疾患・生殖器疾患	連続3回以上の自然流産を繰り返した状態。
周期性四肢麻痺	しゅうきせいししまひ	periodic paralysis			Ⅲ-6 神経疾患	随意筋に発作性に反復する可逆性の弛緩性麻痺。
重症筋無力症	じゅうしやうきんむりよくしやう	myasthenia gravis	MG		Ⅲ-6 神経疾患	神経筋接合部に対する自己抗体により神経筋伝達障害をきたす自己免疫性疾患。
重症疾患多発ニューロパチー	じゅうしやうしっかんたはつにぬーろばちー	critical illness polyneuropathy			Ⅲ-6 神経疾患	敗血症・SIRSと多臓器障害に陥った患者が、重度の軸索性ニューロパチーを発症することがあり、多くの例は重症疾患の回復後、人工呼吸器離脱困難ないし四肢の弛緩性麻痺が認められる。
重症敗血症	じゅうしやうはいけつしやう	severe sepsis			Ⅲ-11 感染症・敗血症	敗血症のなかで、臓器障害、臓器灌流低下または低血圧を呈する状態。
重症複合型免疫不全マウス	じゅうしやうふくごうがためんえきふぜんまうす	severe combined immunodeficiency mouse			Ⅲ-13 再生医療	T・B細胞の欠損により免疫不全状態にあるマウス。
粥腫	じゅくしゅ	atheroma, plaque			Ⅲ-3 循環器疾患	脂質、カルシウムや様々な線維性結合組織を含んだ細胞やその死骸から構成された動脈内の蓄積物。
手根管症候群	しゅこんかんしやうこうぐん	carpal tunnel syndrome	GTS		Ⅲ-6 神経疾患	手関節にある手根管という正中神経が入っているトンネルで、正中神経が何らかの原因で圧迫されて第1-3指に痺れがくるもの。
手術部位感染	しゅじゅつぶいかんせん	surgical site infection	SSI		Ⅲ-11 感染症・敗血症	手術に関連する部位の感染症。
樹状細胞	じゅじやうさいぼう	dendritic cell	DC		Ⅲ-7 免疫疾患	リンパ節や脾臓に存在する樹状構造を持つ抗原提示細胞。血液中にも低レベルで存在する。異物(抗原)の貪食、プロセッシング、特異的に反応するT細胞への抗原提示など、免疫応答に重要な役割を担う。
樹状細胞	じゅじやうさいぼう	dendritic cell	DC		Ⅲ-11 感染症・敗血症	リンパ節や脾臓に存在する樹状構造を持つ抗原提示細胞。血液中にも低レベルで存在する。異物(抗原)の貪食、プロセッシング、特異的に反応するT細胞への抗原提示など、免疫応答に重要な役割を担う。
樹状細胞	じゅじやうさいぼう	dendritic cell	DC	樹状細胞療法	Ⅲ-13 再生医療	リンパ節や脾臓に存在する樹状構造を持つ抗原提示細胞。血液中にも低レベルで存在する。異物(抗原)の貪食、プロセッシング、特異的に反応するT細胞への抗原提示など、免疫応答に重要な役割を担う。
主要組織適合遺伝子複合体	しゅしやうそしきてきごういでんしふくごうたい	major histocompatibility complex	MHC		Ⅲ-12 移植	細胞内で処理した抗原を乗せ、免疫担当細胞に対して抗原提示を行うための分子。クラスⅠはすべての細胞に発現する。クラスⅡは貪食細胞のみに発現し、抗原提示による獲得免疫誘導にかかわる。ヒトではHLA(human leukocyte antigen)とよばれる。

腫瘍壊死因子	しゅようえいしんし	tumor necrosis factor	TNF- α		III-11 感染症・敗血症	腫瘍および炎症性疾患に際し、単球から産生されるサイトカイン。
腫瘍壊死因子a	しゅようえいしんし あるふあ	tumor necrosis factor α	TNF α		III-7 免疫疾患	マウスや他動物にBCGなどを投与すると血清内に出現する因子で、腫瘍細胞に対して傷害活性を有する。
腫瘍壊死因子b	しゅようえいしんし ベーた	tumor necrosis factor b	TNFb		III-7 免疫疾患	TNF- α と類似した生物活性を有し、炎症や免疫反応のメディエーターの役割を担い、細胞増殖、分化、アポトーシス、脂質代謝、神経伝達などに関与する。
腫瘍随伴性天疱瘡	しゅようずいはんせいてんぽうそう	paraneoplastic pemphigus	PNP		III-10 皮膚疾患	悪性腫瘍に伴う自己免疫性水疱症の一つ。多彩な自己抗体が出現する。
主要組織適合遺伝子複合体	しゅようそしきてきごういでんしふくごうたい	major histocompatibility complex	MHC		III-7 免疫疾患	免疫系において重要な役割を担っている主要組織適合抗原(MHC分子)をコードする一連の遺伝子領域。
主要組織適合性抗原	しゅようそしきてきごうせいこうげん	major histocompatibility complex	SCIDマウス	ヒト白血球抗原(HLA)	III-13 再生医療	自己と非自己の認識に関与する分子であり、移植の際に問題となる。ヒトの場合はHLAとして知られる。
腫瘍様脱髄性病変	しゅようようだつずいせいびょうへん	tumefactive demyelinating lesion			III-6 神経疾患	径2cm以上の腫瘍状形態を示す脱髄病変で、周囲への mass effectや浮腫をともない多発性硬化症や急性散在性脳脊髄炎の亜型と考えられていた。しばしば亜急性に進行する意識障害や同名半盲、言語障害、けいれん、頭痛・嘔吐など、多発性硬化症としては非典型的な症状を示し、その病変が単一の初発巣として発見されることも多いために、脳腫瘍との鑑別がしばしば問題になる。
循環血液変化率	じゅんかんけつえきへんかりつ	% blood volume	Δ BV%		II-3 周辺機器	患者循環血液量の変化率で、ヘマトクリットモニターを用いて体外循環施行時連続的に求めることが可能。
循環血液量	じゅんかんけつえきりょう	circulating blood volume	PB		I 総説	血管系内をに循環している血液量。
循環血漿量	じゅんかんけつしゅうりょう	circulating plasma volume	PV		I 総説	血管系内をに循環している血漿量。
消化管間質腫瘍	しょうかかんかんしつしゅよう	gastrointestinal stromal tumor	GIST		III-8 消化器疾患	消化管の粘膜の下層から発生する粘膜下腫瘍の一種であり、粘膜から発生する癌とは異なる。粘膜下の腫瘍のため内視鏡ではSMTとして観察。
消化管関連リンパ系組織	しょうかかんかんれんりんばけいそしき	gut-associated lymphoid tissue	GALT		III-11 感染症・敗血症	消化管のリンパ系組織で、特にB細胞が豊富。細菌、ウイルス、寄生虫などの病原微生物に対する局所免疫に関与する。
消化管リンパ組織	しょうかかんりんばそしき	gut-associated lymphoid tissue	GALT		III-8 消化器疾患	外界と接する気道や消化管の粘膜には明瞭な構造をもつリンパ組織が認められ、小腸にはパイエル板(Peyer's patch: PP)と呼ばれるリンパ小節が存在し、腸間膜動脈の根元には腸間膜リンパ節(mesenteric lymph node: MLN)と呼ばれるリンパ節群が分布する。これらを総称して腸管関連リンパ組織(GALT)と呼ぶ。
消化態栄養剤	しょうかたいいようざい	low residue diet		ペプチド栄養剤	III-8 消化器疾患	経腸栄養剤のうち、窒素源をペプチドとアミノ酸の形で配合したのも、消化吸収率が低下していても使用可能。
掌趾膿疱症	しょうせきのうほうしょう	pustulosis palmaris et plantaris	PPP		III-10 皮膚疾患	手掌・足底に無菌性膿疱を繰り返し生じる皮膚疾患。
常染色体顕性多発性嚢胞腎	じょうせんしよくたいいけんせいたはつせいのうほうじん	autosomal dominant polycystic kidney disease	ADPKD	常染色体優性多発性嚢胞腎	III-9 小児疾患・生殖器疾患	ポリシステンをコードするPKDの異常により腎嚢胞を形成する。両腎の段階的な腫大をもたらし、60歳代で半数が腎不全に進行する。
常染色体性顕性(優性)高コレステロール血症	じょうせんしよくたいせいいゆうせいこうこれすてろーるけっしょう	autosomal dominant hypercholesterolemia	ADH		III-4 脂質異常症	LDL受容体およびその関連分子の遺伝子変異による遺伝性高コレステロール血症のうち常染色体優性(顕性)遺伝形式をとる疾患。
常染色体潜性(劣性)高コレステロール血症	じょうせんしよくたいせいいれつせいこうこれすてろーるけっしょう	autosomal recessive hypercholesterolemia	ARH	LDLRAP1 (low-density lipoprotein receptor adaptor protein 1)	III-4 脂質異常症	LDL受容体のアダプタータンパクであるARHタンパク(LDLRAP1 (low-density lipoprotein receptor adaptor protein 1))の欠損による高コレステロール血症。常染色体性劣性の遺伝型式をとる。
常染色体潜性多発性嚢胞腎	じょうせんしよくたいせんせいたはつこのうほうじん	autosomal recessive polycystic kidney disease	ARPKD	常染色体劣性多発性嚢胞腎	III-9 小児疾患・生殖器疾患	PKHD1異常により、腎臓と肝臓の著明な肥大と小嚢胞の集簇がみられる。発生頻度は低いが、幼少期に腎不全に至ることもある。
上腸間膜動脈	じょうちようかんまくだうみやく	superior mesenteric artery	SMA		III-8 消化器疾患	腹部大動脈より分岐し十二指腸動脈、右結腸動脈、中結腸動脈、空腸動脈、回腸動脈に分布する動脈。
上腸間膜動脈閉塞症	じょうちようかんまくだうみやくへいそくしょう	superior mesenteric artery occlusion	SMAO		III-8 消化器疾患	上腸間膜動脈が血栓や塞栓で閉塞し、広範囲の小腸虚血を来たした状態。緊急手術や血管内治療を要する場合が多い。
小腸コレステロールトランスポーター阻害薬	しょうちようこれすてろーるとらんすぽーたーそがいやく	cholesterol transporter inhibitor			III-4 脂質異常症	小腸においてNPC1L1に作用してコレステロールの小腸からの吸収を特異的に阻害する。腸肝循環を繰り返すことにより、持続的なコレステロール吸収抑制作用を発揮し、LDLコレステロール低下作用を有する。脂質異常症治療薬としてエゼチミブがある。
上皮間葉転換	じょうひかんようてんかん	epithelial-mesenchymal transition	MHC		III-13 再生医療	上皮細胞が遊走能をもった間葉系細胞に変換する現象で、発生・再生・癌の進展過程などに関与している。
小舞踏症	しょうぶとうしょう	chorea minor			III-6 神経疾患	リウマチ熱の大症状の一つで、発症してから数カ月後に無意識のうちに手足が動いたり顔をしかめたりするもの。
静脈(回路)圧	じょうみやく(かいろう)あつ	venous circuit pressure		返血(回路)圧	II-3 周辺機器	血漿分離器の血液出口(静脈)部流出圧。
静脈圧計	じょうみやくあつけい	pressure monitor for blood flow at venous side	Vp, Pv	venous pressure	II-3 周辺機器	静脈側エアートラップの圧力を測定する。主に浄化された血液が体内に返血される圧力を監視する。
小油滴性脂肪肝	しょうゆてきせいしぼうかん	microvesicular steatosis	MVS		III-1 肝疾患	急性妊娠性脂肪肝、バルブロン酸ナトリウム、テトラサイクリンによる肝細胞障害機序。
除去率	じょきりつ	removal (reduction) rate	RR		I 総説	治療前後での溶質濃度の低下率。
食道静脈瘤	しょくどうじょうみやくりゅう	esophageal varices	EV		III-8 消化器疾患	肝硬変等で門脈圧上昇のため、食道の静脈が膨らんだ状態、破裂すると大量の吐血の原因になる。
ショック	しょくく	shock			III-11 感染症・敗血症	組織へ十分な酸素が供給されない、あるいは酸素の利用障害によって、細胞機能が障害され臓器障害を引き起こした状態。
処理自己血漿	しゅりじこけっしょう	processed autologous fresh plasma	PA-FP		II-4 置換液・抗凝固法	抗体除去などの処理を行った自己の血漿。
自律神経ニューロパチー	じりつしんけいにゅーろぱちー	autonomic neuropathy			III-6 神経疾患	自律神経障害を主徴とする末梢神経障害。
シリンジポンプ	しりんじぽんぷ	syringe pump			II-3 周辺機器	注射器内の薬液を持続的に正確に注入するポンプ。血液浄化装置では、主に抗凝固薬の持続注入として用いられる。
シングルニードル	しんぐるにーどる	single-needle		間歇採取方式	I 総説	採血と返血(返血漿)を一本のアクセスで交互に行う遠心分離方式。
神経筋シナプス	しんけいきんしなぷす	neuromuscular synapse			III-6 神経疾患	神経に生じた興奮を筋に伝え、筋を興奮・収縮させる構造。
神経筋接合部	しんけいきんせつごうぶ	myoneural junction, neuromuscular junction	NMJ		III-6 神経疾患	末梢神経が筋肉に接合する部分。
神経原性筋萎縮	しんけいげんせいきんいしゅく	neurogenic muscle (muscular) atrophy			III-6 神経疾患	骨格筋を支配している脊髄前角細胞(下位運動ニューロン)に原因があって筋肉が萎縮してくるもの。
神経原線維変化	しんけいげんせんいへんか	neurofibrillary change, neurofibrillary tangle	NFT		III-6 神経疾患	微小管結合タンパク質の一つであるタウタンパクが細胞質中で線維化し、沈着した病理像。
神経サルコイドーシス	しんけいさるこいどーしす	neurosarcoidosis			III-6 神経疾患	末梢神経障害としては顔面神経を中心とした脳神経障害が多くみられる。中枢神経サルコイドーシスは慢性に起こり、その病変部位により痙攣、意識障害、運動失調など、多彩な神経症状を呈する。
心係数	しんけいすう	cardiac index	CI		III-11 感染症・敗血症	心拍出量を体表面積で補正した値。
神経スウィート病	しんけいすいーとびょう	neuro-Sweet disease			III-6 神経疾患	発熱を伴う再発性の脳炎・髄膜炎で好中球増加や有痛性浮腫性紅斑などの皮膚症状を呈するものもある。

神経痛性筋萎縮症	しんけいつうせいきんいしゅくしょう	neuralgic amyotrophy			Ⅲ-6 神経疾患	原因不明だが、ウイルス性または免疫性炎症過程が疑われる急性腕神経叢炎。
神経伝達	しんけいでんたつ	neurotransmission			Ⅲ-6 神経疾患	一つのニューロンからもう一つのニューロンへ、あるいはニューロン以外の効果細胞へのシナプスを介したインパルス伝達。
神経伝導	しんけいでんどう	nerve conduction			Ⅲ-6 神経疾患	神経繊維を刺激(インパルス)が移動していくこと。
神経伝導検査	しんけいでんどうけんさ	nerve conduction study			Ⅲ-6 神経疾患	誘発筋電図の一つで末梢神経を皮膚の上から電気で刺激することで反応が得られ、この反応を用いて神経の伝わる速さを測定したり、波形の分析を行う。
神経伝導速度	しんけいでんどうそくど	nerve conduction velocity	NCV		Ⅲ-6 神経疾患	末梢神経を皮膚の上から電気で刺激することで反応が得られ、この反応を用いて神経の伝わる速さを測定したもの。
神経毒	しんけいどく	neurotoxin			Ⅲ-6 神経疾患	神経細胞に特異的に作用する毒のことで、通常、膜タンパク質とイオンチャネルとの相互作用によって効果を及ぼす。
神経皮膚炎	しんけいひふえん	neurodermatitis			Ⅲ-6 神経疾患	神経系統の障害によってかゆみを生じ、これをかきむしっているうちに特異な皮疹を生ずるもの。
神経皮膚症候群	しんけいひふしょうこうぐん	neurocutaneous syndrome			Ⅲ-6 神経疾患	皮膚に母斑が現れ、中枢神経系に腫瘍が発生する症状を伴う病気の総称。
神経ベーチェット症候群	しんけいべーちえつとしょうこうぐん	neuro-Behçet syndrome			Ⅲ-6 神経疾患	ベーチェット病の10-30%にみられ、急性型では脳幹、基底核周辺部、小脳を好発部位として、髄膜炎症状を伴い、慢性型では多発症などの精神症状をきたし、進行すると人格荒廃、痴呆を呈する。
人工肝補助	じんこうかんほじょ	artificial liver support	ALS		Ⅲ-1 肝疾患	肝不全期間をサポートする人工臓器の総称。
人工呼吸器関連肺炎	じんこうききゅうきかんれんはいえん	ventilation-associated pneumonia	VAP		Ⅲ-14 肺炎患	人工呼吸開始後48時間以降に新たに発症した肺炎。
人工呼吸器関連肺傷害	じんこうききゅうきかんれんはいしやうがい	ventilator associated lung injury	VALI		Ⅲ-14 肺炎患	人工呼吸による肺泡の過膨張による圧損傷や肺泡の過進展、虚脱の反復で生じるサイトカイン産生によって引き起こされる肺損傷の総称。
進行性多巣性白質脳症	しんこうせいいたそうせいはいくつのおうしょう	progressive multifocal leukoencephalopathy	PML		Ⅲ-6 神経疾患	潜伏感染していたJCウイルスが免疫不全状態にある患者の脳内で活性化されて初めて病原性を現す稀な疾患。
人工多能性幹細胞	じんこうたのうせいいかんさいぼう	induced pluripotent stem cell	EMT	誘導多能性幹細胞	Ⅲ-13 再生医療	体細胞に数種類の遺伝子を導入することにより作製されたES細胞様の多分化能をもつ細胞。
人工弁	じんこうべん	artificial (prosthetic) valve			Ⅲ-3 循環器疾患	心臓弁膜疾患の非薬物治療時に用いられる代替の弁で、生体弁と機械弁がある。
人工流産	じんこうりゅうざん	induced (artificial) abortion		人工妊娠中絶	Ⅲ-9 小児疾患・生殖器疾患	人工的操作により妊娠22週未満の妊娠を中断すること。
浸潤影	しんじゅんえい	consolidation			Ⅲ-14 肺炎患	肺胞腔内に滲出液、粘液、血液などが充満した病態。
尋常性天疱瘡	じんじょうせいてんぼうそう	pemphigus vulgaris	PV	天疱瘡	Ⅲ-10 皮膚疾患	抗デスモグレイン1抗体および抗デスモグレイン3抗体による自己免疫性水疱症。
新生児死亡率	しんせいじしほうつ	neonatal mortality rate			Ⅲ-9 小児疾患・生殖器疾患	生後28日未満の死亡を新生児死亡と定義し、1年間の出生数1,000件に対する1年間の新生児死亡数の比で表す。
新生児ループス	しんせいじるーぷす	neonatal lupus			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	母親の抗体が胎盤を介し胎児および新生児に影響する病態。
真性多血症	しんせいいたけつしょう	polycythemia vera	PV		Ⅲ-15 血液疾患・その他	赤血球数および総血液量の著しい増加を来とし、通常は白血球および血小板増加、脾腫を特徴とする骨髓増殖性腫瘍である。
振戦	しんせん	tremor			Ⅲ-6 神経疾患	自分の意志で動かそうとしないのに不随意に手足や軀幹が動いてしまう現象。
振戦せん妄	しんせんせんもう	delirium tremens			Ⅲ-6 神経疾患	発汗や頻脈、発熱、手指の振戦、不眠、幻覚や錯覚、興奮、不安などを伴うアルコール離脱症状。
新鮮凍結血漿	しんせんとうけつけつしょう	fresh frozen plasma	FFP		Ⅱ-4 置換液・抗凝固法	規格としては、FFP-LR120(1単位)、FFP-LR240(2単位)、FFP-LR480(4単位)の3つがある。FFP-LR120、FFP-LR240は全血採血由来であり、FFP-LR480は成分採血由来である。
腎代替療法	じんだいたいりょうほう	renal replacement therapy	RRT	血液透析(HD)、血液濾過(HF)、血液透析濾過(HDF)、膜膜透析(PD)	Ⅲ-2 腎疾患	廃絶あるいは著明に低下した腎機能を補完する治療法。
浸透圧	しんとうあつ	osmotic pressure			I 総説	浸透膜を介して2つの濃度が違う液体が隣り合っているときに、濃度を一定に保とうとして水分が移動する力。
心拍出量	しんはくしゅつりょう	cardiac output	CO		Ⅲ-11 感染症・敗血症	心臓が1分間に拍出する血液の量、正常値は、約5 L/min。
深部静脈血栓症	しんぶじょうみゃくけっせんしょう	deep vein thrombosis	DVT	エコノミークラス症候群	Ⅲ-3 循環器疾患	筋膜より深い深部静脈に発生する血栓症。
心房細動	しんぼうさいどう	atrial fibrillation	AF		Ⅲ-3 循環器疾患	心房が洞房結節の刺激によらずに速く部分的に興奮収縮し、規則的な洞房結節の活動が伝わらず、心室の収縮が不規則な間隔で起こる不整脈。
心房性ナトリウム利尿ペプチド	しんぼうせいなとりうむりにようぺぷちど	atrial natriuretic peptide	ANP		Ⅲ-3 循環器疾患	心不全時などに心房圧、静脈圧の上昇が認められると心房から分泌されるホルモンで、利尿作用、血管拡張作用などを有する。
水痘-带状疱疹ウイルス	すいとうたいじょうほうしんういるす	varicella-zoster virus	VZV		Ⅲ-10 皮膚疾患	初感染で水痘を引き起こすウイルス。治癒後潜伏感染し、再活性化すると帯状疱疹として発症する。
水疱性類天疱瘡	すいほうせいいるいてんぼうそう	bullous pemphigoid	BP		Ⅲ-10 皮膚疾患	表皮下に水疱を形成する自己免疫性水疱症の一つ。
髄膜炎	すいまくえん	meningitis			Ⅲ-6 神経疾患	脳軟膜の炎症性疾患。
髄膜刺激候	すいまくしげきしょうこう	meningeal irritation		meningeal sign、髄膜徴候	Ⅲ-6 神経疾患	髄膜が刺激された時にみられる症候の総称で、項部硬直、ケルニッツ徴候、ブルジンスキー徴候などのほか、頭痛、羞明、悪心、嘔吐など。
スウィート症候群	すういーとびょう	sweet disease		急性熱性好中球性紅斑皮膚症	Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	発熱に加え末梢好中球増加と浸潤性紅斑を特徴とする疾患群。
スウィート病	すういーとびょう	sweet disease		好中球性皮膚症	Ⅲ-6 神経疾患	発熱、末梢好中球増加、好中球浸潤性紅斑を三徴とする疾患で、好中球性皮膚症ともいう。
スーパーオキシディスムターゼ	すーばーおきしどでいすむたーぜ	superoxide dismutase	SOD		Ⅲ-7 免疫疾患	超酸化物不均化酵素の一種。
スーパー抗原	すーばーこうげん	superantigen			Ⅲ-7 免疫疾患	T細胞抗原レセプター(TCR)を介して個々のクローンの枠を超えてT細胞にシグナル(活性化あるいは不活性化)を与える物質。
スカフォールド	すかふぉーど	scaffold	iPS細胞	足場	Ⅲ-13 再生医療	組織再生における細胞増殖の足場となる基質。
スカベンジャー受容体	すかべんじやーじゅうたい	scavenger receptor	SR		Ⅲ-4 脂質異常症	酸化、アセチル化、糖化などの修飾をうけて変性したLDLを取り込む受容体であり、マクロファージや血管平滑筋細胞に存在する。SR-AI/II、SR-B1、LOX-1、CD36など。
スタインブロッカー病期分類	すたいんぶろっかーびょうきふんるい	Steinblocker stage			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	臨床所見とX線所見から関節リウマチの病期を分類する方法。
スタチン	すたちん	statin			Ⅲ-4 脂質異常症	「HMG-CoA還元酵素阻害薬」の同義語。
スタチン関連筋症状	すたちんかんれんきんししょうじょう	statin associated muscle symptom	SAMS	追加しました	Ⅲ-4 脂質異常症	スタチンの投与に伴う筋肉に出現する副作用の総称。ミオパチー、筋痛、筋炎、横紋筋融解症がある。
スタチン不耐	すたちんふたい	statin intolerance			Ⅲ-4 脂質異常症	スタチン服用に伴って見られる有害な症状、徴候、ならびに検査値異常により、服用者の日常生活に許容困難な障害が生じ、結果としてスタチン服用の中断や減量に至るもの。
スチーブンス-ジョンソン症候群	すちーぶんすじょんそんしょうこうぐん	stevens-johnson syndrome	SJS	皮膚粘膜眼症候群	Ⅲ-10 皮膚疾患	発熱を伴って重症の粘膜疹、紅斑を生じ、しばしば水疱を認める。多くは薬剤による。
スチレン・ジ・ビニルベンゼン共重合体ビーズ	すちれんびにるべんぜんきょうじゅうごうたいびーず	styrene-divinylbenzene copolymer beads			Ⅱ-2 吸着法	主に胆汁酸、ビリルビンを血漿中から吸着する陰イオン交換樹脂としてカラムに充填されている。
スティッフパーソン症候群	すていつふーそんししょうこうぐん	stiff person syndrome			Ⅲ-6 神経疾患	体幹および四肢の変動する硬直、有痛性の筋攣縮、課題特異的な恐怖症、過剰な驚愕反応、および腰椎の固定された過前弯などの強直性の変形からなる神経疾患。
ステロイドパルス療法	すてろいどばるすりょうほう	steroid pulse therapy			Ⅲ-6 神経疾患	メチルプレドニゾン1 g/日の点滴静注を3日間継続し、その後は高用量ステロイド療法に引き継ぐ治療法。
スニップ	すにっぷ	single nucleotide polymorphism	SNP		Ⅲ-7 免疫疾患	ゲノム上の相同部位の個体間による1塩基の違いを示すもの。

スフェア培養法	すふえあばいようほう	sphere culture			III-13 再生医療	1個の細胞から球状の浮遊細胞塊(スフェア)を形成させる培養法で、神経幹細胞の培養法として確立された方法。
スフェロイド	すふえろいど	spheroid			III-13 再生医療	細胞同士が集合・凝集化して三次元構造を構築したもの。
small dense LDL	すもーるでんすえるでいーえ	small dense low-density lipoprotein	sdLDL		III-4 脂質異常症	低比重リポタンパク(LDL)粒子分画中のサイズが小さく密度の高い低比重リポタンパク(LDL)分画であり、酸化されやすいなどの特性があるため強い動脈硬化惹起作用をもつ。
ずり応力	ずりおうりょく	shear stress		剪断応力	I 総説	流体のずり流動面の単位面積あたりに作用する力。
すり硝子状陰影	すりがらすじょういんえい	ground-glass appearance			III-14 肺疾患	肺野にびまん性に分布する細顆粒状間質陰影。
ずり速度	ずりそくど	shear rate		剪断速度	I 総説	流体のずり流動面における速度勾配。
持続的低効率透析	スレッド	sustained low-efficiency dialysis	SLED		I 総説	透析効率(血液流量と透析液流量)を少なくし、治療時間を6-12時間に延長して行う方法。
正常分娩	せいじょうぶんべん	normal labor (delivery), eutocia			III-9 小児疾患・生殖器疾患	正期(37～41週)に自然に陣痛が発来し成熟胎児が経陰的に前後頭位にて娩出し母児ともに障害や合併症がなく、予後良好であった分娩。
成人(発症)スチル病	せいじん(はっしょうがた)ずらるびょう	adult-onset Steill's disease	AOSD	成人スチル病	III-5 リウマチ・膠原病	高サイトカイン血症が病態形成にかかわる発熱、皮疹、関節炎を主徴として、肝障害、脾腫、リンパ節腫脹など全身の臓器に炎症をきたす全身性炎症性疾患。
成人呼吸促迫症候群	せいじんこきゅうきゅうはくしょうこうぐん	adult respiratory distress syndrome	ARDS		III-14 肺疾患	「急性呼吸窮迫症候群」と同意語。
精巣由来多能性幹細胞	せいそうゆらいたのうせいかんさいぼう	multipotent germline stem cell			III-13 再生医療	精巣から樹立されたES細胞様の多分化能をもつ細胞。
生体肝移植	せいたいかんいしょく	living donor liver transplantation	LDLx		III-1 肝疾患	近親者を臓器提供者(ドナー)とし、ドナーの肝臓の一部を肝不全患者に移植する方法
生体適合性	せいたいてきごうせい	biocompatibility			I 総説	生体に悪影響を及ぼさず、本来の機能を果たしながら生体と平和共存できる材料の性質。
静電結合	せいでんけつごう	electrostatic coupling		イオン結合	II-2 吸着法	陽性荷電と陰性荷電との間に働く静電引力による結合。
生物学的吸着材	せいぶつがくてききゅうちやくざい	biological adsorbent			II-2 吸着法	生物学的相互作用を有して、病因関連物質を選択性・特異的に吸着除去する材料。
生物学的製剤	せいぶつがくてきせいざい	biological agent			III-5 リウマチ・膠原病	遺伝子工学的技術を用いて作られた薬で、生物が産生したタンパク質を利用している。
生物学的相互作用	せいぶつがくてきさうどうさく	biointeraction			II-2 吸着法	抗原-抗体結合反応など生物が有する特異的相互作用。
成分栄養剤	せいぶんえいようざい	elemental diet	ED		III-8 消化器疾患	経腸栄養剤のうち、窒素源をアミノ酸の形で配合したもの。消化が必要ないため吸収が容易、脂肪の含有量は少ない。
成分献血	せいぶんけんけつ	donor apheresis		成分採血	II-1 分離法	成分採血装置により血液中の血小板成分と血漿成分を採取、献血する方法。採血時に赤血球は再び体内に戻される。
精密濾過	せいみつろか	microfiltration	MF		II-1 分離法	血漿分離膜のように固体粒子(有形成分)の分離に用いられる膜濾過法。
生理食塩液	せいりしょくえんえき	physiological saline (solution), normal saline (solution)	NS (normal saline)		II-4 置換液・抗凝固法	日本薬局方・処方せん医薬品で規定された塩化ナトリウムを0.9w/v%含有する食塩液。
セカンドアタックセオリー	せかんだあたっくせおりー	second attack theory		two-hit theory	III-11 感染症・敗血症	感染などのfirst attackによりサイトカインが誘導され、second attackが加わると重症の臓器障害を引き起こす。
脊髄炎	せきずいえん	myelitis			III-6 神経疾患	脊髄の炎症性疾患の総称。
脊髄症	せきずいしょう	myelopathy		ミエロパシー	III-6 神経疾患	脊髄障害の総称。
石油ピッチ系活性炭	せきゆびつちけいかっせいたん	active carbon of oil pitch group			II-2 吸着法	石油精製の最後に残留したアスファルトをさらに加熱し高分子化したもの。ビーズ状に加工された活性炭として血液吸着に用いられる。
赤血球	せつけっきゅう	red blood cell, erythrocyte	RBC		II-1 分離法	血色素(ヘモグロビン)を含み、外呼吸で取り入れた酸素を全身の組織に運ぶ細胞。
赤血球濃厚液	せつけっきゅうのうこうえき	packed red cell, red cells concentrates	RCC		II-1 分離法	ヒト血液から血漿および白血球層の大部分を除去し、赤血球保存用添加液(MAP液)を混和した血液。
赤血球ロゼット	せつけっきゅうろせっと	erythrocyte rosette	EOロゼット		III-7 免疫疾患	ヒトのT細胞はヒトジ赤血球と結合する性質をもち、周辺に多数のヒトジ赤血球を結合してロゼット(花冠)状になること。
接着分子	せつちやくぶんし	adhesion molecule			III-7 免疫疾患	細胞接着に関与する分子の総称。正しくは細胞接着分子。
セレクチンファミリー	せれくちんふぁみりー	selectin family			III-7 免疫疾患	特定の糖鎖を認識するC型レクチン様構造をN末端にもつ糖タンパク質の一群で、白血球の血管外移動に関与する接着分子。
セロトニン症候群	せろとんにんしょうこうぐん	serotonin syndrome			III-6 神経疾患	セロトニン作動系の薬剤との相互作用によって発生する脳内のセロトニン濃度が高すぎることによって引き起こされる症状(軽いものから、頭痛、めまい、嘔吐、昏睡、そして死亡)。
線維芽細胞増殖因子	せんいがさいぼうぞうしよくいんし	fibroblast growth factor	FGF		III-7 免疫疾患	大脳および脳下垂体中に存在して線維芽細胞のDNA合成・増殖を促進する分泌性タンパク質として分離精製された。
線維筋痛症	せんいきんつうしょう	fibromyalgia			III-5 リウマチ・膠原病	関節炎を伴わずに広い範囲の筋骨格系の疼痛、易疲労感を主徴とする疾患。
繊維状吸着体	せんいじょうきゅうちやくたい	fiber-shaped adsorption body			II-2 吸着法	エンドキシン吸着に用いるポリミキシンB固定化ポリスチレン繊維などがある。
前希釈法	ぜんきしゃくほう	pre-substitution method, pre-dilution method		前置換法	II-4 置換液・抗凝固法	CHFやCHDFなどの濾過療法において、血液浄化器前の血液回路に置換液を注入する方法。大量置換が可能という特長があるが、同量の希釈では後希釈より溶質除去効率は低下する。
前駆細胞	ぜんくさいぼう	progenitor cell / precursor cell	mGS細胞		III-13 再生医療	ある細胞へとすでに分化を運命づけられた細胞。
全血	ぜんけつ	whole blood		血液	II-1 分離法	血球成分(細胞性成分)と血漿成分(液性成分)からなり、その比率はおおよそ45:55。
全血交換	ぜんけつこうかん	whole blood exchange	WBE		I 総説	約6Lの血液の脱血と輸血を1.5-3時間かけて同時に行う血液浄化。
全身血管抵抗係数	ぜんしんけつかんていこうけいすう	systemic vascular resistance index	SVRI		III-11 感染症・敗血症	左心室を出てから右心房に戻るまでの体循環系全体の全抵抗を体表面積で割った値。
全身こむら返り病	ぜんしんこむらがえりびょう	syndrome of progressive muscle spasm, alopecia and diarrhea		里吉病	III-6 神経疾患	全身の筋肉のこむら返り、脱毛、下痢を伴う自己免疫性神経疾患。
全身性エリテマトーデス	ぜんしんせいえりてまとーです	systemic lupus erythematosus	SLE		III-5 リウマチ・膠原病	免疫複合体の組織沈着により起こる全身性炎症性病害を特徴とする自己免疫疾患。
全身性エリテマトーデス脳症	ぜんしんせいえりてまとーですのうしょう	systemic lupus erythema tosus encephalopathy			III-6 神経疾患	全身性エリテマトーデス(SLE)に伴発した中枢神経障害、末梢神経障害。
全身性炎症反応症候群	ぜんしんせいえんしょうはんのうしょうこうぐん	systemic inflammatory response syndrome	SIRS		III-11 感染症・敗血症	種々の要因により惹起される全身性の炎症反応。体温、脈拍数、呼吸数、白血球数の4項目のうち、2項目以上陽性で診断される。
全身性強皮症	ぜんしんせいきょうひしょう	systemic sclerosis	SSc		III-5 リウマチ・膠原病	びまん型と限局型に分類される皮膚硬化を特徴とする疾患。
選択的血漿交換(法)	せんたくてきけつしょうこうかん(ほう)	selective plasmaexchange	SePE		I 総説	膜型血漿分離器を用いて凝固因子などを保持しながら病因物質除去する治療(血漿交換法の変法)。

選択的消化管除菌	せんたくてきしょうかかんじょきん	selective digestive decontamination	SDD		Ⅲ-11 感染症・敗血症	口・咽頭、胃腸管における好気性潜在的病原菌のコロニー化を防止することにより全身の感染を予防する方法。
選択的免疫吸着法	せんたくてきめいえききゅうちゃくりょうほう	selective immunoadsorption plasmapheresis	SeIA		I 総説	患者血液から免疫疾患の病因タンパクを凝固因子を保持しながら選択的に吸着除去する治療法。抗二重鎖DNA抗体、抗カルジオリピン抗体、免疫複合体などの選択的吸着除去に用いられる。
先天性腎奇形(腎尿路形態異常)	せんてんせいじんきけい(じんようりいじょう)	congenital renal anomaly(congenital anomalies of the kidney and urinary tract)	CAKUT	腎無形成、低形成腎、腎異形成	Ⅲ-9 小児疾患・生殖器疾患	生まれつきの腎臓の形成異常や閉塞性尿路疾患などを含む概念。小児慢性腎臓病や末期腎不全の最大の原因疾患。
先天性代謝異常	せんてんせいたいしやいじょう	inborn error of metabolism		先天代謝異常	Ⅲ-9 小児疾患・生殖器疾患	生まれつきの特定の酵素の欠損や機能低下により生じる疾患。早期発見により発症や重症化を予防するため、新生児マス・スクリーニング検査が行われる。
セントロメア	せんとろめあ	centromere			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	染色体のほぼ中央に位置し長腕と短腕が交差する部位。
全能性	ぜんのうせい	totipotency			Ⅲ-13 再生医療	一つの細胞から分化して、完全な個体を形成することのできる能力。
喘鳴	ぜんめい	wheeze, rhonchi, stridor			Ⅲ-14 肺疾患	狭窄した気道を通過する空気が乱流を形成して振動したり、狭窄部の粘液などが振動して発生する連続性の音。
走化性	そうかせい	chemotaxis	ケモタキシス		Ⅲ-7 免疫疾患	細胞が環境中の化学物質の濃度差に反応して、その化学物質に対して一方向性に移動する性質。
総括物質移動膜面積係数	そうかつぶっしついどうまくめいんせきけいすう	overall mass transfer area coefficient(MTAC)	KoA		I 総説	透析膜の通過しやすさ(Ko)と面積(A)を掛けたもの。
早期高血圧	そうきこうけつあつ	morning hypertension			Ⅲ-3 循環器疾患	早朝起床後の家庭血圧が特異的に高い状況。早朝に急激に上昇するモーニングサージと、夜間から高いnon-dipperやriserも含む。
早期速攻性治療戦略	そうきそくこうせいりょうしせんりやく	early fast-acting treatment strategy	EFT		Ⅲ-6 神経疾患	カルシニューリンインヒターを初期治療から用い、速効性治療を初期、維持期または増悪時の治療で積極的に繰り返し、症状改善を早め、かつ経口ステロイド量を抑制する治療戦略。
造血幹細胞	ぞうけつつかんさいぼう	hematopoietic stem cell	HSC	末梢血幹細胞	Ⅱ-1 分離法	血球系細胞に分化可能な幹細胞。
造血幹細胞移植	ぞうけつつかんさいぼういしょく	hematopoietic stem cell transplantation	HSCT	末梢血幹細胞移植	Ⅱ-1 分離法	骨髓移植、末梢血幹細胞移植、臍帯血移植を含む移植の総称。
巣状分節性糸球体硬化症	そうじょうぶんせつせいしきゅうたいこうかしょう	focal segmental glomerulosclerosis	FSGS	巣状糸球体硬化症, focal glomerulosclerosis (FGS)	Ⅲ-2 腎疾患	臨床的にタンパク尿(通常はネフローゼ症候群)を呈し、一部(巣状)の糸球体に部分的な(分節性の)硬化病変を認め、電顕にて広範な糸球体上皮細胞の足突起の消失(effacement)を呈する症候群。多くは急速に進行し、ステロイド抵抗性で末期慢性腎不全に進行する場合も多い。さらに腎移植後の再発も多く、予後の悪い疾患。
巣状分節性糸球体硬化症	そうじょうぶんせつせいしきゅうたいこうかしょう	focal segmental glomerulosclerosis	FSGS	巣状糸球体硬化症, focal glomerulosclerosis (FGS)	Ⅲ-9 小児疾患・生殖器疾患	臨床的にタンパク尿(通常はネフローゼ症候群)を呈し、一部(巣状)の糸球体に部分的な(分節性の)硬化病変を認め、電顕にて広範な糸球体上皮細胞の足突起の消失(effacement)を呈する症候群。多くは急速に進行し、ステロイド抵抗性で末期慢性腎不全に進行する場合も多い。さらに腎移植後の再発も多く、予後の悪い疾患。
SOFA	そうふあ	sequential organ failure assessment score			Ⅲ-11 感染症・敗血症	重症患者の臓器障害スコアの一つ。6臓器4段階で予後を評価する。世界中で広く用いられる。
ソーセージ状浮腫	ソーセイーじじょうふしゅ	sausage-like edema			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	強皮症や混合性結合組織病などで認める手指の浮腫。
足関節上腕血圧比	そくかんせつじょうわんけつあつひ	ankle brachial index	ABI	ankle-brachial pressure index (ABPI)	Ⅲ-3 循環器疾患	下肢の虚血度を非侵襲的に測定する検査であり、閉塞性動脈硬化症のスクリーニングと重症度判定に有用である。足首の収縮期血圧/上腕の収縮期血圧により0.9以下は閉塞性動脈硬化症を示唆する。
即時型アレルギー	そくじがたあれるぎー	immediate-type hypersensitivity			Ⅲ-7 免疫疾患	数秒から2-3時間以内に起こるアレルギー反応。
促進急性拒絶反応	そくしんきゅうせいきざつはんのう	accelerated rejection			Ⅲ-12 移植	細胞性免疫とおそらくは既存抗体の双方の関与で移植後1週間以内に発生する。
側頭動脈炎	そくとうどうみやくえん	temporal arteritis			Ⅲ-6 神経疾患	60歳以上の高齢者に発症する頰動脈とその分枝の動脈。特に側頭動脈の炎症を主徴とする原因不明の血管炎。
続発性無月経	そくはつせいむげつけい	secondary amenorrhea			Ⅲ-9 小児疾患・生殖器疾患	妊娠していないにもかかわらず3ヵ月以上月経がない状態を指す。原発性と続発性がある。
組織因子	そしきいんし	tissue factor	TF		Ⅲ-11 感染症・敗血症	膜結合型のタンパク質で、外因系血液凝固反応を開始する因子。
組織工学	そしきこうがく	tissue engineering		ティッシュエンジニアリング	Ⅲ-13 再生医療	組織を再生させたり、再生組織を作るための工学的手法。
組織酸素代謝	そしきさんそたいしや	tissue oxygen metabolism			Ⅲ-11 感染症・敗血症	実際の組織での酸素代謝状態。血中乳酸値、動脈血中ケトン体比、消化管粘膜pHなどで把握できる。
疎水結合	そすいけつごう	hydrophobic bond			Ⅱ-2 吸着法	炭化水素のような無極性物質どうの結合のこと。一方、水分子は双極子分子となっているため、無極性分子との親和性はきわめて低い。
体位性頻脈症候群	たいいせいひんみやくしやうこうぐん	postural orthostatic tachycardia syndrome	POTS		Ⅲ-6 神経疾患	起立時の立ち眩み症状と起立時の著明な頻脈を特徴とした。若年女性に好発する症候群。
体液性免疫	たいえきせいめいんえき	humoral immunity			Ⅲ-7 免疫疾患	抗体や補体などの体液性免疫系を構成する細胞外体液性因子が関与する免疫。
体外循環	たいがいじゅんかん	extracorporeal circulation	ECC		I 総説	血液に治療を加えるため、体外に血液を取り出し循環する方法。
胎児性Fc受容体	たいいせいえふーじゅようたい	neonatal Fc receptor			Ⅲ-6 神経疾患	疾患の原因となるIgGの半減期の延長と作用持続の強化作用を持つ。
代謝性アシドーシス	たいしやせいあしどーしす	metabolic acidosis			Ⅲ-11 感染症・敗血症	酸の産生過剰、酸の排泄不全、塩基の過剰喪失の結果起こるアシドーシス。
代謝性脳症	たいしやせいのうしやう	metabolic encephalopathy			Ⅲ-6 神経疾患	代謝性の要因より引き起こされる脳機能障害の総称。
代謝性ミオパチー	たいしやせいみおぱちー	metabolic myopathy			Ⅲ-6 神経疾患	糖質代謝異常、脂質代謝異常、その他のエネルギー代謝異常(ミトコンドリア異常を伴うもの等)、電解質代謝異常(周期性四肢麻痺)による筋疾患の総称。
帯状疱疹	たいじょうほうしん	herpes zoster, shingles, zoster			Ⅲ-10 皮膚疾患	水痘・帯状疱疹ウイルスの再活性化による。片側の一定神経領域に紅暈を伴う小水疱が集簇し疼痛を伴う。
大食細胞	たいしょくさいぼう	macrophages			Ⅱ-1 分離法	「マクロファージ」の同義語。
脱髄性多発ニューロパチー	だいついせいいたはつにゅーるぱちー	demyelinating polyneuropathy			Ⅲ-6 神経疾患	髄鞘の障害で生じる末梢神経の疾患。
体性幹細胞	たいせいかんさいぼう	somatic stem cell, adult stem cell		組織幹細胞, 成体幹細胞	Ⅲ-13 再生医療	生体内の組織に存在する幹細胞。
大腸菌	だいちようきん	escherichia coli	E. coli		Ⅲ-8 消化器疾患	大腸に多数存在するグラム陰性、中等大桿菌。細胞壁には、エンドトキシンが存在する。
大動脈炎症候群	だいだうみやくえんしやうこうぐん	aortitis syndrome		高安静脈炎, 高安静病	Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	大動脈およびその主要分枝を侵す。非特異的大型血管炎を起こす疾患。
代用血漿製剤	だいうけつしょうせいざい	plasma substitute		血漿代用剤	I 総説	生体由来の血液製剤に代わるものとして近年開発が進められている人工的血液製剤の総称。
タクロリムス	たくりむす	tacrolimus	TAC		Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	免疫抑制薬。カルシニューリン阻害薬。
多血小板血漿	たけつしょうばんけつしょう	platelet-rich plasma			Ⅱ-1 分離法	「濃厚血小板」の項目参照。
多孔質セルロースビーズ	たこうしつせるろーすびーず	porous cellulose beads			Ⅱ-2 吸着法	一部の吸着型血漿浄化器の担体として用いられる素材。
多剤耐性緑膿菌	たざいたいせいりよくのうきん	multiple-drug-resistant Pseudomonas aeruginosa	MDRP, MDRPA		Ⅲ-11 感染症・敗血症	カルバペネム系、フルオロキノロン系、抗緑膿菌用アミノ配糖体の3系統の抗菌薬に対しすべて耐性と判定された緑膿菌。
多臓器機能障害スコア	たぞうききのうしやうがいうすこあ	multiple organ dysfunction score	MODS		Ⅲ-11 感染症・敗血症	多臓器不全症候群の予後を評価するスコア。SOFA (sequential organ failure assessment) スコアが頻用されている。
多臓器不全	たぞうきふぜん	multiple organ failure	MOF		Ⅲ-11 感染症・敗血症	大きな侵襲が生体に及んだ際に重要臓器が2臓器以上、同時あるいは連続して機能不全に陥る状態。

多巣性運動性ニューロパチー	たそうせいいうどうにゅーろばちー	multifocal motor neuropathy			Ⅲ-6 神経疾患	局所的な神経の絶縁体(髄鞘)の障害に伴い、神経の伝導がブロックされる疾患で、脱髄性末梢神経障害の一つ。
多巣性脱髄性ニューロパチー	たそうせいだつずいせいにゅーろばちー	multifocal demyelinating neuropathy			Ⅲ-6 神経疾患	局所的な神経の絶縁体(髄鞘)の障害に伴い、神経の伝導がブロックされる疾患で、脱髄性末梢神経障害の一つ。
脱感作療法	だつかんざりようほう	desensitization therapy			Ⅲ-12 移植	移植前に行われる免疫抑制療法。血液型不適合に関連する拒絶反応を抑制する目的。
脱分化	だつぶんか	dedifferentiation		退行成性	Ⅲ-13 再生医療	細胞が分化の方向に逆行して幼弱化する現象。
多能性	たのうせい	multipotency / pluripotency			Ⅲ-13 再生医療	内胚葉・中胚葉・外胚葉という三胚葉に分化できる能力。
多能性成体前駆細胞	たのうせいせいたいぜんくさいぼう	multipotent adult progenitor cell		多能性成体幹細胞	Ⅲ-13 再生医療	成体の骨髓から培養された多能性をもつ幹細胞。
多発(性)筋炎	たはつ(せい)きんえん	polymyositis	PM		Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	近位筋に対称性に筋力低下を生じるびまん性炎症性筋疾患。
多発(性)軟骨炎	たはつ(せい)なんこつえん	polychondritis			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	全身の軟骨組織に生じる慢性炎症。
多発血管炎性肉芽腫症	たはつけつかんえんせいにくげしゅしょう	granulomatosis with polyangiitis	GPA	ウエゲナー肉芽腫症	Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	病理組織学的に、(1)全身の壊死性肉芽腫性血管炎、(2)上気道と肺を主とする壊死性肉芽腫性炎、(3)半月体形成腎炎を呈し、その発症機序に抗好中球細胞質抗体(ANCA)が関与する血管炎症候群。
多発血管炎性肉芽腫症	たはつけつかんえんせいにくげしゅしょう	granulomatosis with polyangiitis	GPA	ウエゲナー肉芽腫症	Ⅲ-6 神経疾患	病理組織学的に、(1)全身の壊死性肉芽腫性血管炎、(2)上気道と肺を主とする壊死性肉芽腫性炎、(3)半月体形成腎炎を呈し、その発症機序に抗好中球細胞質抗体(ANCA)が関与する血管炎症候群。
多発神経炎	たはつしんけいえん	polyneuritis			Ⅲ-6 神経疾患	多発性の末梢神経障害の総称。
多発性硬化症	たはつせいこうかしょう	multiple sclerosis	MS		Ⅲ-6 神経疾患	中枢神経系の慢性炎症性脱髄疾患であり、時間的、空間的に多発するのが特徴。
多発性単神経炎	たはつせいたんしんけいえん	multiple mononeuritis, mononeuritis multiplex			Ⅲ-6 神経疾患	末梢神経が左右非対称に複数で障害される状態。
多発性単ニューロパチー	たはつせいたんにゅーろばちー	mononeuropathy multiplex			Ⅲ-6 神経疾患	末梢神経が左右非対称に複数で障害される状態。
多発性内分泌腫瘍症候群	たはつせいないぶんびつしゅようしやうこうぐん	multiple endocrine neoplasia syndrome	MEN		Ⅲ-6 神経疾患	いくつかの内分泌腺で非癌性(良性)あるいは癌性(悪性)の腫瘍または過形成となって症状を起こす病態。
多発性脳神経ニューロパチー	たはつせいのうしんけいにゅーろばちー	multiple cranial neuropathy			Ⅲ-6 神経疾患	脳神経が多発性に障害される状態。
多発ニューロパチー	たはつにゅーろばちー	polyneuropathy			Ⅲ-6 神経疾患	四肢の末梢神経(運動線維and/or感覚線維)が左右対称性に障害されるもの。
ダブルバルーン内視鏡検査	だぶるばるーんないしきょうけんさ	double-balloon enteroscopy			Ⅲ-8 消化器疾患	内視鏡とオーバークューブにそれぞれバルーンをつけ、バルーンで腸管を押さえながら内視鏡とオーバークューブを交互に進める内視鏡検査。全小腸を観察可能。
多用途血液処理用装置	たようとけつえきしりようそうち	Versatile haematological equipment			Ⅱ-3 周辺機器	持続血液濾過透析、血漿浄化(PE, SePE, DFPP, PA)、吸着式血液浄化、腹水濾過再静注法などに使用する装置。
単為発生	たんいはっせい	parthenogenesis	MAPC	単為生殖, 処女生殖	Ⅲ-13 再生医療	卵子が精子と受精することなく、雌の遺伝子のみで起こる発生。
単球	たんきゅう	monocyte		マクロファージ(大食細胞)	Ⅱ-1 分離法	白血球のうち3-8%を占める。免疫の始動に関与する細胞であり、アメーバ運動を行って移動し、細菌などの異物を細胞内に取り込み、細胞内酵素を使って消化する。
単クローン性免疫グロブリン	たんくろーんせいめいめんえきぐらぶりん	monoclonal immunoglobulin		Mタンパク, M-protein	Ⅲ-6 神経疾患	形質細胞の単クローン性(腫瘍性)増殖により生じた免疫グロブリン(Mタンパク)。
タンジール病	たんじーるびょう	tangier disease		原発性低HDLコレステロール血症	Ⅲ-4 脂質異常症	網内系組織(扁桃、肝、脾、リンパ、骨髓など)にコレステロールエステルが沈着し、軽度の肝脾腫を示す。ABCA1遺伝子変異により、高比重リポタンパク(HDL)粒子が形成されない。
単純性潰瘍	たんじゅんせいいかいよう	simple ulcer		非特異的炎症性潰瘍	Ⅲ-8 消化器疾患	回盲部に好発する原因不明の打ち抜き潰瘍であり、組織像は腸管ペーチェットの潰瘍と同様の非特異的炎症。
単純ヘルペスウイルス	たんじゅんへるべす	herpes simplex virus	HSV		Ⅲ-10 皮膚疾患	HSV-1とHSV-2の2型があり、HSV-1は口唇ヘルペスHSV-2は陰部ヘルペスの原因となる。
単純ヘルペス脳炎	たんじゅんへるべすのうえん	herpes simplex encephalitis	HSE		Ⅲ-6 神経疾患	単純ヘルペスウイルス1型(HSV-1)によって引き起こされる脳炎。
単神経炎	たんしんけいえん	mononeuritis			Ⅲ-6 神経疾患	1本の末梢神経が障害された状態。
担体	たんたい	carrier			Ⅱ-2 吸着法	吸着材の中で吸着能をもつリガンドを支持固定する素材。
短腸症候群	たんちやうしやうこうぐん	short bowel syndrome	SBS		Ⅲ-8 消化器疾患	腸管の大量切除に伴って生じる消化吸収障害に起因して、栄養障害をはじめとした様々な病態が生じる症候群。
蛋白細胞解離	たんぱくさいぼうかいり	albuminocytologic dissociation			Ⅲ-6 神経疾患	髄液中のタンパクが増加しているが細胞数は増えていない状態。
タンパク分解酵素阻害薬	たんぱくぶんかいこうそそがいやく	protease inhibitor			Ⅲ-11 感染症・敗血症	タンパク分解酵素であるプロテアーゼの活性を阻害する物質。
DAMPs	だんぶず	damage-associated molecular patterns			Ⅲ-11 感染症・敗血症	細胞死や細胞の損傷など、細胞のストレスに伴って放出され自然免疫を活性化するたんぱく質や核酸などの分子で、細胞の危機を知らせるアラームとして働く。アラーミンと同義
DAMPs	だんぶず	damage-associated molecular patterns			Ⅲ-14 肺疾患	細胞死や細胞の損傷など、細胞のストレスに伴って放出され自然免疫を活性化するたんぱく質や核酸などの分子で、細胞の危機を知らせるアラームとして働く。アラーミンと同義
チアノーゼ	ちあの一ぜ	cyanosis			Ⅲ-14 肺疾患	動脈酸素飽和度が低下した時出現する皮膚粘膜が紫青色に変化した状態。
チェーン・ストークス呼吸	ちえーんすとーくすこきゅう	cheyne-Stokes breathing			Ⅲ-14 肺疾患	一回換気量が大小の周期をへて一時的に呼吸停止をとまとう病的呼吸周期。
チェリーレッドスポット	ちえりーれつどすぽつと	cherry red spot	CRS		Ⅲ-8 消化器疾患	食道静脈瘤のred spotの中でも出血し易いとされる部分。
遅延型アレルギー	ちえんがたアレルギー	delayed type hypersensitivity	DTH		Ⅲ-7 免疫疾患	T細胞からのサイトカイン放出を契機とする炎症性の組織反応。
置換液/補充液	ちかんえき/ほじゅうえき	replacement fluid/substitution fluid		substitution fluid, 補充液	Ⅱ-4 置換液・抗凝固法	血液濾過の際に用いる置換液。
遅発性肝不全	ちはつせいかんふぜん	late onset hepatic failure (LOHF)			Ⅲ-1 肝疾患	初発症状出現から8週以降24週以内に昏睡Ⅱ度以上の脳症を発現した肝不全。急性肝不全の類縁疾患と位置付けられる。
遅発性ジスキネジア	ちはつせいじすきねじあ	tardive dyskinesia	TD	遅発性ジスキネジー	Ⅲ-6 神経疾患	抗精神病薬などのドパミン遮断作用を有する薬剤の長期投与(数カ月以上)によって発現する常同的な不随意運動。
チャーグ・シュトラウス症候群	ちやーぐ・しゅとらうすしやうこうぐん	churg-strauss syndrome		好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	Ⅲ-3 循環器疾患	気管支炎喘息発作と末梢血好酸球増多を有する症例に、血管炎を生じ、末梢神経炎、紫斑、消化管潰瘍、脳硬塞・脳出血・心筋梗塞・心外膜炎などの臨床症状を呈する疾患。
中間比重リポタンパク	ちゅうかんひじゅうりぼたんぱく	intermediate density lipoprotein	IDL		Ⅲ-4 脂質異常症	超速心法により、密度1.006～1.019 g/mLに分離されるリポタンパクを指す。VLDLやカイロミクロンが代謝される中間の粒子。
中空糸	ちゅうくうし	hollow fiber	HF		Ⅱ-1 分離法	血液浄化法に用いられる中空糸状の半透膜。通常、中空糸内腔を血液が流れ、外側を透析液や濾過液が流れる。
中枢神経(系)ループス	ちゅうしんけい(けい)るーぶす	central nervous system lupus		CNSループス	Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	全身性エリテマトーデスの一病態として出現する中枢神経症状。
中心静脈血酸素飽和度	ちゅうしんじょうみやくけつさんそほうわど	mixed venous oxygen saturation	ScvO2		Ⅲ-11 感染症・敗血症	中心静脈カテーテルから採血した静脈血の酸素飽和度。組織における酸素需要を反映し、ショック時の循環管理の指標となる。

中枢神経限局性血管炎	ちゅうすうしんけいげんきよくせいけっかんえん	isolated angitis of central nervous system			Ⅲ-6 神経疾患	脳内の血管に生じた血管炎により症状をきたす神経疾患。
中枢神経性ループス	ちゅうすうしんけいせいいるーぶす	CNS lupus			Ⅲ-6 神経疾患	中枢神経症状を呈し重症である。うつ状態、失見識、妄想などの精神症状と痙攣、脳血管障害を示し、稀に髄膜炎、脳炎、脳神経障害もみらる。
中枢末梢連合脱髄症	ちゅうすうまっしょうれんごうたづしいしょう	combined central and peripheral demyelination	CCPD		Ⅲ-6 神経疾患	中枢神経と末梢神経を同時に侵す脱髄性疾患であり、原因不明の希少な難治性疾患。
中性脂肪	ちゅうせいしぼう	triglyceride	TG	トリグリセリド、トリグリセライド	Ⅲ-4 脂質異常症	グリセロールの3個の硫酸基がアシルエステル化された分子エネルギー源として利用され、余剰分は肝臓や脂肪組織に蓄積される。
中毒性巨大結腸症	ちゅうどくせいきょだいけっちょうしょう	toxic megacolon	TM		Ⅲ-8 消化器疾患	潰瘍が深く固り腸筋層と神経叢が露出することにより、大腸の筋収縮機構が破綻して進行性に大腸の異常拡張をきたした状態。
中毒性ニューロパチー	ちゅうどくせいにゅーろぱちー	toxic neuropathy			Ⅲ-6 神経疾患	中毒による末梢神経障害の総称。
中毒性表皮壊死症	ちゅうどくせいひょううえししょう	toxic epidermal necrolysis	TEN	ライエル症候群	Ⅲ-10 皮膚疾患	重症薬疹の一つ。全身の広範囲に水疱・びらんを生じる。
中胚葉	ちゅうはいよう	mesoderm			Ⅲ-13 再生医療	動物の胚発生で形成され、主に筋肉や生殖器、骨、結合組織が分化する胚葉。
超音波内視鏡	ちようおんばないしきょう	endoscopic ultrasonography	EUS		Ⅲ-8 消化器疾患	先端に超音波振動子がついた内視鏡を口から胃・十二指腸に挿入し、胆嚢、胆管、膵臓などを観察する検査。
腸管原脱	ちようかんげんせつ	gut hypothesis			Ⅲ-11 感染症・敗血症	SIRSやMODSの原因が腸管関連リンパ組織（GALT）の破綻によるバクテリアルトランスロケーションにあるとする説。
腸肝循環	ちようかんじゅんかん	enterohepatic circulation	EHC		Ⅲ-8 消化器疾患	胆汁中の胆汁酸のように、胆嚢より十二指腸に放出された後、大部分は回腸末端で再吸収されて再び肝臓へ戻ること。
腸管粘膜防御機能	ちようかんねんまくぼうぎよきのう	gut barrier function			Ⅲ-11 感染症・敗血症	腸管内に存在する多種の細菌、有害異種タンパクの体内への侵入を阻止するための免疫防御機構。
超急性拒絶反応	ちようきゅうせいきよげつ	hyperacute rejection	HAR		Ⅲ-12 移植	既存抗体の関与で移植後直ちに発生し24時間以内に拒絶される反応。
蝶形紅斑	ちようけいこうはん	butterfly erythema			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	全身性エリテマトーデスなどで認める鼻翼から両頬部に生じる蝶形の紅斑。
超低出生体重児	ちようていしゅつせいたいじゅうじ	extremely low birth weight infant	ELBWI		Ⅲ-9 小児疾患・生殖器疾患	出産時の体重が1,000 g未満の新生児。
超低比重リポタンパク	ちようていひじゅうりぼたんぱく	very-low-density lipoprotein	VLDL	超低密度リポタンパク	Ⅲ-4 脂質異常症	超遠心法により密度0.951-1.006g/mLに分画されるリポタンパクで、肝で合成され、アポB100、C、Eが主要アポタンパク。
超低比重リポタンパク受容体	ちようていひじゅうりぼたんぱくじゅけいようたい	very-low-density lipoprotein receptor	VLDL受容体		Ⅲ-4 脂質異常症	アポリポタンパクE（アポE）を認識し、アポE含有リポタンパクを取り込む受容体。心筋、骨格筋、脂肪組織に多く発現するが肝臓ではその発現は少ない
腸内細菌共通抗原	ちようないさいきんきょうつうこうげん	enterobacterial common antigen	ECA		Ⅲ-8 消化器疾患	腸内細菌が共通してもっている抗原。
腸閉塞	ちようへいそく	intestinal obstruction	IO	ileus	Ⅲ-8 消化器疾患	腸内容の肛門側への移動が阻害された状態で、機械的な腸管の閉塞と機能的に腸管蠕動麻痺の場合がある。
直接クーミス試験	ちよくせつくーむすしけん	direct Coombs test		直接抗グロブリン試験	Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	生体内で自己赤血球と結合している不完全抗体の検出方法。
直接血液灌流	ちよくせつけつえきかんりゅう	direct hemoperfusion	DHP	血液吸着法	I 総説	全血を体外循環させて直接吸着器に通す方法。
通常型多発性硬化症	つうじょうがたたはつせいきょうかしょう	conventional form of multiple sclerosis			Ⅲ-6 神経疾患	欧米に多い大脳病変を主体とする多発性硬化症。
Th2細胞	ていーえいちつーさいいぼう	Th2 cell			Ⅲ-7 免疫疾患	主としてIL-4、IL-5、IL-10などを産生し、液性免疫反応を制御するCD4+ヘルパーT細胞亜集団（サブセット）。
Th1細胞	ていーえいちわんさいいぼう	Th1 cell			Ⅲ-7 免疫疾患	主としてIL-2、INFγなどを産生し細胞性免疫反応を制御するCD4+ヘルパーT細胞の亜集団（サブセット）。
tsDMARDs	ていーえすていーまーず	targeted synthetic DMARDs	tsDMARDs		Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	関節リウマチ治療薬のうち、分子標的薬の総称。
DNA依存性RNAポリメラーゼ	ていーえぬえーいごんせいあいーるえぬえーぼりめらーぜ	RNA polymerase	RNAポリメラーゼ		Ⅲ-7 免疫疾患	ヌクレオチドを重合させ、RNAを合成する酵素。RNAポリメラーゼⅠ・Ⅱ・Ⅲが含まれる。
DNAポリメラーゼ	ていーえぬえーぼりめらーぜ	DNA polymerase			Ⅲ-7 免疫疾患	鎖型DNAに依存してDNA鎖の重合を触媒する酵素の総称。
D型肝炎ウイルス	ていーがたかんえんウイルス	hepatitis D virus	HDV		Ⅲ-1 肝疾患	RNAウイルス、HBVと重感染すると重症化することが多い。
T細胞	ていーさいいぼう	T cell			Ⅲ-7 免疫疾患	細胞表面に発現するT細胞抗原受容体を介して、マクロファージや樹状細胞などの抗原提示細胞から抗原情報を受け取り、さまざまな機能を発揮するリンパ球。リンパ球の約60-80%を占める。キラーT細胞とヘルパーT細胞に大別される。
Dダイマー	ていーだいまー	D-dimer			Ⅲ-11 感染症・敗血症	フィブリンがプラスミンによって分解される際の生成物。
Tリンパ球	ていーりんぱきゅう	T cell, T lymphocyte		細胞性免疫	Ⅱ-1 分離法	末梢血中のリンパ球の70-80%を占める。細胞表面のマーカ―分子としてCD4、CD8、CD25などを発現しており、それぞれヘルパーT細胞、キラーT細胞、レギュラトリーT細胞として機能する。また、NK細胞とT細胞の性質を併せもつNKT細胞や、最近では胸腺を介さずに分化成熟する末梢性T細胞が存在することも知られるようになった。
低HDLコレステロール血症	ていはいちでいーえるこれすてーるけっしょう	low HDL cholesterolemia			Ⅲ-4 脂質異常症	血中高比重リポタンパク（HDL）コレステロール値が40 mg/dL未満の病態。
DSA陽性腎移植	ていえすえーようせいじんいしよく	donor specific antibody positive kidney transplant			Ⅲ-2 腎疾患	DSA陽性の場合、腎移植後に高率に抗体関連拒絶反応を惹起し、移植腎機能予後に多大な影響を及ぼす。
低カリウム血症周期性四肢麻痺	ていかりうむけつせいしゅうきせいししまひ	hypokalemic periodic paralysis			Ⅲ-6 神経疾患	随意筋に発作性に反復する可逆性の弛緩性麻痺でKの低下を伴うもの、Caチャネル遺伝子の異常とされる。
低換気症候群	ていかんきしょうこうぐん	hypoventilation syndrome			Ⅲ-14 肺疾患	種々の病態により肺胞換気量が低下すること。
T細胞抗原レセプター	ていさいいぼうこうげんれせがた	T cell receptor	TCR		Ⅲ-7 免疫疾患	T細胞表面の抗原レセプターの総称。
低酸素誘導因子	ていさんそやうどういんし	hypoxia-inducible factor	HIF		Ⅲ-2 腎疾患	組織低酸素に対する生理的反応を司る主要な転写因子。造血にかかわるエリスロポエチン（EPO）は HIF の標的遺伝子の一つ。
低出生体重児	ていしゅつせいたいじゅうじ	low birth weight infant	LBWI		Ⅲ-9 小児疾患・生殖器疾患	出産時の体重が2,500 g未満の新生児。
低心拍出量症候群	ていしんぱくしりょうしょうこうぐん	low cardiac output syndrome			Ⅲ-14 肺疾患	心臓のポンプ機能障害により全身の循環障害に陥る病態。
低比重リポタンパク	ていひじゅうりぼたんぱく	low-density lipoprotein	LDL		Ⅲ-4 脂質異常症	超遠心法で密度0.951-1.006g/mLに分画されるリポタンパク。コレステロールを運搬し、末梢細胞でLDL受容体を介して取り込まれる。
低比重リポタンパクアフェレシス	ていひじゅうりぼたんぱくあふえれしす	LDL apheresis	LA	LDLアフェレシス	Ⅲ-4 脂質異常症	体外循環を用い、血漿から低比重リポタンパク（LDL）を直接除去する方法。薬物療法で効果の得られない重度の高LDL-C血症に対する治療法であり、家族性高コレステロール血症ホモ接合体、重症ヘテロ接合体、高脂血症を伴う末梢血管疾患などが適応となる。
低比重リポタンパクコレステロール	ていひじゅうりぼたんぱくこれすてーる	low-density lipoprotein cholesterol	LDL-C	LDLコレステロール	Ⅲ-4 脂質異常症	LDL中に含まれるコレステロール。高LDL-C血症は動脈硬化の危険因子である。
低比重リポタンパク受容体	ていひじゅうりぼたんぱくじゅけいようたい	LDL receptor	LDLR	LDL受容体	Ⅲ-4 脂質異常症	血中の主要なコレステロール運搬体である低比重リポタンパク（LDL）を取り込む受容体。その遺伝子変異は家族性高コレステロール血症の成因である。
低比重リポタンパク受容体関連タンパク	ていひじゅうりぼたんぱくじゅけいようたいかんれんたんぱく	LDL receptor related protein	LRP	LDL受容体関連物質	Ⅲ-4 脂質異常症	LDL受容体と構造の類似した受容体で、このファミリーに属するタンパクのすべてがリポタンパクの受容体として機能するわけではない。

低分子(量)ヘパリン	ていぶんし(りょう)へぱりん	low molecular weight heparin	LMWH		II-4 置換液・抗凝固法	ヘパリンの製造過程で分子量の小さな分画(3,000~6,000 Da)だけを収集した製剤。抗トロンピン作用が微弱で抗活性X因子(Xa)作用が主体のヘパリン製剤。出血の助長作用が少なく出血傾向のある患者で用いる。
de-escalating療法	でえすかれーしゅんりょうほう	de-escalating strategy			III-11 感染症・敗血症	severe sepsisの治療でまず広域の推定菌をカバーする抗菌薬を選択し、48~72時間後に再評価し狭域抗菌薬レジメに変更する方法。
デキストラン硫酸	できすとらんりゅうさん	dextran sulfate			II-2 吸着法	一部の吸着型血漿浄化器のリガンドで、LDL表面の陽性荷電したアポタンパクBや抗DNA抗体を吸着する。
デキストラン硫酸LDL吸着(法)	できすとらんりゅうさんえるでいーえるきゅうちゃく(ほう)	dextran sulfate adsorption for LDL	DSAL	LDLアフェレシス	I 総説	吸着材を用いてLDLを吸着除去する方法で、多孔質セルロースゲルの担体にデキストラン硫酸をリガンドとして結合させたものがある。
デキストラン硫酸セルロース法	できすとらんりゅうさんせるろーすほう	dextran sulfate cellulose method	DSC法	リボソーパー	III-4 脂質異常症	デキストラン硫酸の陰性荷電とアポリポタンパクB-100の陽性荷電との静電結合によるアポリポタンパクBの選択的な吸着を原理とするLDLアフェレシスの方法。
手袋靴下型感覚消失	てぶくろくつしたがつかなくしょうしつ	glove and stocking anesthesia			III-6 神経疾患	両手両足の遠位部遠位の手袋と靴下を着けたような分布の感覚低下・障害。
テロメア	てろめあ	telomere			III-13 再生医療	真核生物の染色体末端部分にある構造。染色体末端を保護する役割があり、その短縮が老化と関連している。
電位依存性カルシウムチャンネル	でんいゐんぜんせいかるしうみちゃんねる	voltage-dependent (gated) calcium channel			III-6 神経疾患	神経の脱分極に関連するCaイオンを通す細胞膜中の分子。
転写	てんしゃ	transcription			III-7 免疫疾患	DNAのヌクレオチド配列が鋳型となり、これと相補的な配列をもつRNAを作成すること。
伝導ブロック	でんどうぶろくく	conduction block			III-6 神経疾患	神経伝導が障害される状態。
天疱瘡	てんぽうそう	pemphigus			III-10 皮膚疾患	表皮、粘膜に水疱を形成する自己免疫性水疱症。尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡などがある。
同種血輸血	どうしゅけつけつ	blood transfusion		輸血	II-1 分離法	患者本人以外の供血者の血液を輸血に用いる治療法。
同種末梢血幹細胞採取	どうしゅまつしゅけつつかんさいぼうさいしゅ	allo-peripheral blood stem cell harvest (collection)	allo-PBSCH		II-1 分離法	患者本人以外のドナーの末梢血幹細胞を採取すること。
同心円性硬化症	どうしんえんせいこうしやう	Balo's concentric sclerosis		バロー同心円硬化症	III-6 神経疾患	多発性硬化症の一種で脳に同心円状の病巣があるもの。
透析アミロイドシス	とうせきあみろいどーしす	dialysis-related amyloidosis	DRA	透析アミロイド症	III-2 腎疾患	b2ミクログロブリン由来のAβ2Mというアミロイド蛋白が沈着して生じる長期透析の合併症。主に骨や軟骨、滑膜などの骨関節組織にアミロイドの沈着が起こり、手根管症候群やばね指、多関節痛、破壊性脊椎関節症など多彩な症状を呈する。
糖尿病性腎症	とうによびょうせいじんしやう	diabetic nephropathy			III-2 腎疾患	糖尿病の合併症により腎臓の機能が低下した病態。
糖尿病性腎臓病	とうによびょうせいじんぞうびやう	diabetic kidney disease	DKD		III-2 腎疾患	糖尿病性腎臓病は、蛋白尿が出現したのちに腎機能が低下する古典的な糖尿病性腎症に加え、蛋白尿は少量で腎機能のみが低下する非典型的な糖尿病性腎症を含む概念。
糖尿病性ニューロパチー	とうによびょうせいいにゅーろぱちー	diabetic neuropathy			III-6 神経疾患	糖尿病に合併する末梢神経障害。
動脈圧計	どうみゃくあつけい	pressure monitor for blood flow at venous side	Ap, Pa	arterial pressure	II-3 周辺機器	動脈側エアートラップ圧力をモニターし、血液浄化器の入口側の圧力をモニターする。海外における動脈圧は脱血圧を意味し、ここでいう動脈圧ではない。
動脈血液ガス分析	どうみゃくけつがすぶんせき	blood gas analysis			III-14 肺疾患	末梢動脈から穿刺法で直接動脈血を測定する方法。
動脈血酸素飽和度	どうみゃくけつさんそふあんど	arterial oxygen saturation	SaO2		III-14 肺疾患	Hbに結合可能な酸素量に対する実際に結合している酸素量の割合。
toll-like receptor(s)	とーるらいけりせぶたー	toll-like receptor(s)	TLR(s)		III-11 感染症・敗血症	ショウジョウバエTollのホモログとして同定されたレセプター。病原体特異的なPAMPsやアラミンを認識し自然免疫応答を誘導する。
特発性炎症性筋疾患	とくはつせいえんしやうせいきんしつかん	Idiopathic inflammatory myopathy	IIM		III-5 リウマチ・膠原病	骨格筋の炎症に伴う筋力低下、筋肉痛を主訴とする疾患群。皮膚筋炎・多発性筋炎が代表的。
特発性間質性肺炎	とくはつせいかんしつせいはいえん	Idiopathic interstitial pneumonia	IIP		III-14 肺疾患	原因不明の間質性肺炎で多くは予後不良。
特発性血小板減少性紫斑病	とくはつせいけっしょうばんげんしょうせいしはんびやう	Idiopathic thrombocytopenic purpura	ITP		III-5 リウマチ・膠原病	血小板膜タンパクに対する自己抗体による血小板減少と紫斑を起こす疾患。
特発性肺線維症	とくはつせいはいせいせんいしやう	Idiopathic pulmonary fibrosis	IPF		III-14 肺疾患	原因が明らかでない肺間質の炎症と線維化をきたす疾患で、特発性間質性肺炎の一種。病理学的には通常型間質性肺炎(UIP)を示す。
ドコサヘキサエン酸	どこさへきさえんさん	docosahexaenoic acid	DHA	魚油に含まれるω-3多価不飽和脂肪酸	III-4 脂質異常症	生体内で合成されない必須脂肪酸のうち魚油に多く含まれる多価不飽和脂肪酸で、ω-3脂肪酸に分類される。トリグリセリド低下作用などに基づいた動脈硬化抑制作用が報告されている。
トシリズマブ	としりずまぶ	tocilizumab	TCZ		III-5 リウマチ・膠原病	抗IL-6受容体モノクローナル抗体。
ドナー	どなー	donor			III-2 腎疾患	移植用の臓器・骨髄や、輸血用の血液などを提供する人。
ドナーアフェレシス	どなーあふえれしす	donor apheresis			II-1 分離法	血小板や血漿の成分採血、同種(ドナー)からの末梢血幹細胞採取(移植)などのこと。
ドナーアフェレシス	どなーあふえれしす	donor apheresis			III-12 移植	血小板や血漿の成分採血、同種(ドナー)からの末梢血幹細胞採取(移植)などのこと。
ドナー特異的同種抗体	どなーとくいてきどうしゅこうたい	donor specific alloantibody	DSA		III-2 腎疾患	移植・輸血・妊娠により、非自己のHLA抗原に感作された場合、抗HLA抗体を産生する。臓器移植・造血幹細胞移植前にレシビエントの血清中に抗HLA抗体がある場合、移植後急性性拒絶を起こす可能性がある。
ドナー特異的同種抗体	どなーとくいてきどうしゅこうたい	donor specific alloantibody	DSA		III-12 移植	移植・輸血・妊娠により、非自己のHLA抗原に感作された場合、抗HLA抗体を産生する。臓器移植・造血幹細胞移植前にレシビエントの血清中に抗HLA抗体がある場合、移植後急性性拒絶を起こす可能性がある。
ドナーリンパ球輸注	どなーりんぱきゅうゆちゆう	donor lymphocyte infusion	DLI		II-1 分離法	移植で造血幹細胞を提供したドナーのリンパ球を改めて患者へ輸注すること。
トランスサイレチン	とらんすさいれちん	transferritin		ブレアルブミン	III-2 腎疾患	血液中に存在するプロトンピンが第V因子によって活性化され生じる。凝固反応の中心的存在である。
トランスジェニックマウス	とらんすじえにっくまうす	transgenic mouse			III-7 免疫疾患	外来遺伝子をマウス受精卵に導入し、その遺伝子を染色体に組み込んだマウス。
トリグリセリド	とりぐりせりど	triglyceride	TG	中性脂肪・トリグリセライド	III-4 脂質異常症	「中性脂肪」の同義語。
ドリップチャンバ	どりっぷちゃんば	drip chamber			II-3 周辺機器	「エアートラップチャンバ」の同義語。
トルエン中毒	とるえんちゆうどく	toluene intoxication, toluene poisoning		シンナー中毒	III-6 神経疾患	有機溶剤の一種による中毒で、症状は麻酔作用により、嘔気、眩暈、意識喪失などを呈する。
トロサ・ハント症候群	とろさ・はんとしやうこうぐん	Tolosa-Hunt syndrome			III-6 神経疾患	眼窩先端部や上眼窩裂や海綿静脈洞前部周辺の硬膜炎による痛みのある肉芽腫性疾患。
トロンビン	とろんびん	thrombin			III-11 感染症・敗血症	血液中に存在するプロトンピンが第V因子によって活性化され生じる。凝固反応の中心的存在である。
貪食細胞	どんしよくさいぼう	macrophages			II-1 分離法	「マクロファージ」の同義語。
貪食作用	どんしよくさよう	phagocytosis			III-7 免疫疾患	単球、マクロファージや好中球など貪食細胞が外来性ならびに内因性の大きな粒状の異物を摂取する現象。
ナイーブ細胞	ないーぶさいぼう	naive cell			III-7 免疫疾患	抗原に曝されたことのないリンパ球のこと。
内因性アナンダマイド	ないいんせいあんなだまいど	endogenous anandamide			II-2 吸着法	神経伝達物質または脂質メディエーターの一種。PMXはエンドキシンのみならず内因性アナンダマイドも吸着する。
内視鏡的粘膜下層剥離術	ないしきやうてきえんまくかそうはくりじゅつ	endoscopic submucosal dissection	ESD		III-8 消化器疾患	経内視鏡的に高周波切除器を用いて病変の周囲を全周性に切開し、粘膜下層を剥離することにより病変部を切除。
内視鏡的逆行性胆膵管造影	ないしきやうてきぎやっこうせいたんすいかんぞうえい	endoscopic retrograde cholangiopancreatography	ERCP		III-8 消化器疾患	胆管・膵管が開口する十二指腸乳頭より内視鏡的に細いチューブを入れ、造影剤を注入し、造影検査をする方法。
内視鏡的食道静脈瘤硬化術	ないしきやうてきしよくどうじやうみゃくりゅうこうかじゅつ	endoscopic injection sclerotherapy	EIS		III-8 消化器疾患	食道・胃内視鏡検査下に食道静脈瘤硬化薬を内視鏡用の針を穿刺し注入する治療法。

内視鏡的食道静脈瘤結紮術	ないしきょうてききょうどうじょうみやくりゅうけつさつじゅつ	endoscopic variceal ligation	EVL		Ⅲ-8 消化器疾患	食道・胃内視鏡検査下に食道静脈瘤を収縮性の強いゴム輪で結紮する治療法。
内視鏡的乳頭括約筋切開術	ないしきょうてきにゅうとうかつやくきんせつかいじゅつ	endoscopic sphincterotomy	EST		Ⅲ-8 消化器疾患	胆道の石などを除去する際に、乳頭部分を広くするため、乳頭括約筋を切開し、除去しやすくする手術。
内視鏡的ネクロセクトミー	ないしきょうてきねくろせくとみー	endoscopic necrosectomy			Ⅲ-8 消化器疾患	重症急性膵炎後に生じる腹腔内の壊死物質などを、内視鏡的に除去する治療法。経消化管的に行われる場合が多い。
内視鏡的粘膜切除術	ないしきょうてきねんまくせつじょじゅつ	endoscopic mucosal resection	EMR		Ⅲ-8 消化器疾患	直径2 cm以下の小さな粘膜内にとどまる癌に対する治療で、粘膜下層に生理食塩水などを注入することにより、病巣を固有筋層から浮かせて高周波を用いて切除する方法。
内臓脂肪	ないぞうしぼう	visceral fat			Ⅲ-4 脂質異常症	腹部内臓周囲に蓄積した脂肪。その蓄積は脂質異常症、高血圧症、糖尿病、動脈硬化症との関連が報告されている。
内胚葉	ないはいよう	endoderm			Ⅲ-13 再生医療	動物の胚発生で形成され、主に消化管が分化する胚葉。
内皮機能	ないひきのう	endothelial function			Ⅲ-3 循環器疾患	血管の拡がりやすさを表す指標で、動脈硬化により低下する。
内部細胞塊	ないぶさいぼうかい	inner cell mass			Ⅲ-13 再生医療	哺乳類の胚発生で胚盤胞の内側に形成され、胚本体と羊膜に分化する細胞集団。ES細胞の樹立にも用いられる。
内腹中膜(複合体)厚	ないまくちゅうまくふくごうたいあつ	intima media thickness	IMT		Ⅲ-3 循環器疾患	頸動脈のBモードエコー法によって測定される内腹中膜複合体の厚さのことで、頸動脈の動脈硬化の指標である。虚血性心疾患や末梢動脈閉塞性疾患の発症・進行と関連を認める。
ナタリズマブ	なたりずまぶ	natalizumab			Ⅲ-6 神経疾患	細胞接着分子α4インテグリンに対するヒト化モノクローナル抗体。多発性硬化症やクローン病等の治療に用いられる。
ナタリズマブ関連進行性多巣性白質脳症	なたりずまぶかんれんしんこうせいたそうせいはいくしつのおうしやう	natalizumab-Associated Progressive Multifocal Leukoencephalopathy			Ⅲ-6 神経疾患	ナタリズマブによる治療に関連して、多くの人に潜伏感染しているJCウイルスが、免疫力が低下した状況で再活性化して脳内に多発性の脱髄病巣を来す疾患。
ナチュラルキラー細胞	なちゅらるきらーさいぼう	natural killer cell	NKC	大型顆粒リンパ球	Ⅱ-1 分離法	先天免疫の主要因子として働く細胞傷害性リンパ球の一種。特に腫瘍細胞やウイルス感染細胞の拒絶に重要である。T細胞と異なり事前感作を必要としないことから、ナチュラルキラー細胞と名付けられた。
ナファモスタット・メシル酸塩	なふあもすたつめしるさんえん	nafamostat mesilate	NM		Ⅱ-4 置換液・抗凝固法	セリンタンパク分解酵素の阻害作用がある合成抗凝固薬。抗トロンビン作用、抗活性化X因子(Xa)作用、抗活性化XII因子(XIIa)作用、抗キニン作用、抗血小板作用がある。その作用は血液中のアンチトロンビンⅢに依存しない。
鉛中毒	なまりちゅうどく	lead poisoning, plumbism, saturnism			Ⅲ-6 神経疾患	重金属である鉛による中毒。末梢神経障害を生じる。
ナルコレプシー	なるこれぷしー	narcolepsy			Ⅲ-6 神経疾患	強い眠気の発作を主な症状とする神経疾患(睡眠障害)。
難治性ネフローゼ症候群	なんちせいねふろーぜしやうこうぐん	refractory nephrotic syndrome			Ⅲ-2 腎疾患	種々の治療(副腎皮質ステロイド薬と免疫抑制薬の併用は必須)を施行しても、6カ月の治療期間に完全寛解ないし不完全寛解Ⅰ型に至らないもの。
Ⅱ型アレルギー	にがたあれるぎー	type Ⅱ allergy			Ⅲ-7 免疫疾患	細胞溶解型あるいは細胞傷害型のアレルギー反応。
Ⅱ型呼吸不全	にがたこきゅうふぜん	Ⅱ type respiratory failure			Ⅲ-14 肺疾患	呼吸不全でPaCO ₂ が45 Torrを超えるもの。
ニコチン酸	にこちんさん	nicotinic acid, niacin			Ⅲ-4 脂質異常症	脂質低下薬の一種で脂肪細胞における脂肪分解を抑制し、肝臓への脂肪酸の動員を減少させTGやVLDLの合成を抑制する。またリポタンパクリパーゼの活性を高め、VLDLの異化を促進する。Lp(a)の低下作用も報告されている。
二次性シェーグレン症候群	にじせいいしえーぐれんしやうこうぐん	secondary Sjögren syndrome			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	関節リウマチや全身性エリテマトーデスなどに合併するシェーグレン症候群。
二次性進行型多発性硬化症	にじせいしんこうがたはたつせいこうかしやう	secondary progressive multiple sclerosis	SPMS		Ⅲ-6 神経疾患	再発と寛解を繰り返しながらも徐々に寛解時の状態が悪化していく多発性硬化症の病型。
二重濾過血漿分離交換、二重濾過血漿交換	にじゅうろかけしやうぶんりこうかん、にじゅうろかけしやうこうかん	double filtration plasmapheresis	DFPP		Ⅰ 総説	体外循環した血液を血漿分離器により血球分離し、濾過された血漿を血漿成分分離器を用いて病因物質等を分離除去し、アルブミン等を患者に還流する治療法。
ニッチェ	にっしえ	niche	ICM	ニッチ、幹細胞ニッチェ	Ⅲ-13 再生医療	組織が傷害されて再生が起こる場合の「場」としての微少環境。
New-onset refractory status epilepticus	にゅーおんせつとれふらくとりーすてーたすえびけぶていかす	NORSE			Ⅲ-6 神経疾患	発熱後1週間程度で強直間代性痙攣を呈し、難治性のてんかんが継続する症候群であり、若年女性に好発し、髄液細胞数が軽度増加していて、脳MRIで側頭葉に病変を認めることが多いことが特徴。
乳酸アシドーシス	にゅうさんあしどーしす	lactic acidosis			Ⅲ-11 感染症・敗血症	敗血症による組織低酸素や酸素利用障害などの要因で乳酸が蓄積することにより生じる代謝性アシドーシス。
乳児亜急性壊死性脳症	にゅうじあきぎゅうせいしせいのうしやう	infantile subacute nerotizing encephalopathy		Leigh脳症	Ⅲ-6 神経疾患	乳幼児から始まる精神運動発達遅延で、とりわけ退行を伴うミトコンドリア代謝異常症。
ニューロパシー	にゅーろばちー	neuropathy			Ⅲ-6 神経疾患	末梢神経の障害の総称。
ニューロフィラメント軽鎖	にゅーろふいらめんとけいさ	neurofilament Light chain			Ⅲ-6 神経疾患	神経細胞間の情報伝達に重要な神経軸索突起の障害を反映する血液中のバイオマーカー。
尿細管-糸球体フィードバック	にゅうさいかんしきゅうたいふいーどばっく	tubuloglomerular feedback			Ⅲ-2 腎疾患	緻密斑は遠位尿細管尿においてNaCl濃度を感知している。Na濃度の変化により緻密斑が輸入細動脈を収縮・拡張させてGFRを調整する機構。
尿毒症	にゅうどくしやう	uremia		末期腎不全	Ⅲ-2 腎疾患	腎不全が進行して出現する症状の総称。頭痛、倦怠感、食思不振、皮膚掻痒感から意識障害、尿毒症肺や心膜炎まで多彩な症状を呈する。
尿毒症(多発)性ニューロパシー	にゅうどくしやうせい(たはつ)にゅうろばちー	uremic polyneuropathy			Ⅲ-6 神経疾患	慢性腎不全に伴う末梢神経障害。
妊娠高血圧症候群	にんしんこうけつあつしやうこうぐん	hypertensivedisorders of pregnancy	HDP	妊娠中毒症	Ⅲ-9 小児疾患・生殖器疾患	妊娠20週以降、分娩後12週まで高血圧(収縮期血圧が140 mmHg以上もしくは拡張期血圧が90 mmHg以上)がみられる場合、または、蛋白尿(1日300 mg以上)を伴う場合。
ヌードマウス	ぬーどまうす	nude mouse		無胸腺マウス、免疫不全マウス	Ⅲ-13 再生医療	突然変異により生じた無毛マウスで、胸腺欠損もあるためT細胞がなく、細胞性免疫が機能しない。
nuclear factor-kappa B	ぬくれあーふあくたーかつぱびー	nuclear factor-kappa B	NF-κB		Ⅲ-11 感染症・敗血症	転写因子として働くタンパク質複合体。サイトカイン産生などの免疫炎症反応において中心的役割を果たす。
ネクローシス	ねくろーしす	necrosis			Ⅲ-11 感染症・敗血症	虚血や低酸素などの、外的環境要因によって起こる細胞死。細胞内エネルギー産生の低下によって細胞が膨化し、最終的には破裂して死滅する。
ネクロプトーシス	ねくろぶとーしす	necroptosis			Ⅲ-11 感染症・敗血症	RIPK1とRIPK3とよばれるキナーゼの活性依存的に誘導されるカスパーゼ非依存性のプログラム細胞死であり、ネクローシス様の細胞死の形態を示す。
NETs	ねつつ	neutrophil extracellular traps NETs			Ⅲ-14 肺疾患	好中球細胞外トラップ。感染刺激により活性化された好中球が殺菌蛋白である網状の構造物を細胞外に放出して細胞死に至ること。
ネフリン	ねふりん	nephrin			Ⅲ-2 腎疾患	ネフリンは糸球体ポドサイトの細胞表面に存在する物質で、隣り合った細胞のネフリン同士が組み合って篩(ふるい)を形成している。これをスリット膜と呼ぶが、その篩の穴が非常に小さいので、血液中の大きな蛋白質は尿に漏れないようになっている。
ネフローゼ症候群	ねふろーぜしやうこうぐん	nephrotic syndrome			Ⅲ-2 腎疾患	大量の糸球体性蛋白尿(3.5 g/日以上)の結果、低アルブミン血症(3.0 g/dL未満)や浮腫が出現する腎疾患群。原因疾患がある二次性のものと、明らかな原因疾患がない一次性ネフローゼ症候群に分類される。
粘膜下腫瘍	ねんまくかしゅよう	submucosal tumor	SMT		Ⅲ-8 消化器疾患	胃の粘膜層よりも深いところにある胃壁内の病変によって、粘膜が胃の内腔に突出した隆起の総称。
脳圧	のうあつ	intracranial pressure	ICP		Ⅲ-1 肝疾患	頭蓋内の圧力。通常脳脊髄液の圧力。
脳炎	のうえん	cerebritis, encephalitis			Ⅲ-6 神経疾患	脳実質の炎症で、発熱、意識障害、けいれん、髄膜刺激症状などを伴う。
脳幹脳炎	のうかんのうえん	brainstem encephalitis			Ⅲ-6 神経疾患	脳幹部を中心に炎症・機能障害の起こるもの。

脳髄黄色腫症	のうけんおうしょくしゅしょう	cerebral tendinous xanthomatosis	CTX		Ⅲ-4 脂質異常症	27-ヒドロキシラーゼ欠損症により、血中のコレステロール値が上昇する。常染色体性潜性(劣性)遺伝形式をとる遺伝病である。進行性の神経障害、髄黄色腫、白内障、早発性心血管疾患を示す。
濃厚血小板	のうこうけつしょうばん	platelet concentrate	PC	多血小板血漿	Ⅱ-1 分離法	血液成分採血により白血球の大部分を除去して採取した血小板血漿に浮遊した血小板として供給される。
脳症	のうしょう	encephalopathy(-thia)			Ⅲ-6 神経疾患	脳機能障害の症状である意識障害やけいれんを起こして、髄液(ずいえき)検査で炎症所見(細胞増加など)がないもの。
脳性ナトリウム利尿ペプチド	のうせいなとりうむりゅうにようぺふちど	brain natriuretic peptide	BNP		Ⅲ-3 循環器疾患	心不全時などに主に心室から分泌され、利尿作用、血管拡張作用を有する。心房内の低圧容量受容体により反対調節を受けている。左心不全の指標として用いられる。
脳脊髄液	のうせきずいえき	cerebrospinal fluid	CSF	髄液	Ⅲ-6 神経疾患	脳室系とクモ膜下腔を満たす。リンパ液のように無色透明な液体。
脳脊髄炎	のうせきずいえん	encephalomyelitis			Ⅲ-6 神経疾患	脊髄を中心として、中枢神経系全体に急性の炎症が起きるもの。
濃度分極	のうどぶんきょく	concentration polarization			I 総説	膜濾過において、膜不透過溶質が膜面に近いほど濃縮され濃度分布を形成する現象。
脳浮腫	のうふしゅ	brain edema		脳水腫	Ⅲ-1 肝疾患	血管外水分量の増加により起こる脳の腫脹。
膿疱性乾癬	のうほうせいかんせん	pustular psoriasis			Ⅲ-10 皮膚疾患	全身の潮紅した皮膚に無菌性膿疱が多発し、発熱を伴う乾癬の一種。再発を繰り返し、臓器不全をきたすこともある。
ノックアウトマウス	のくくあうまうす	gene knockout mouse			Ⅲ-7 免疫疾患	遺伝子ターゲティングにより、後天的に特定の遺伝子を破壊し欠損させたマウス。
バージャー病	ばーじゃーびょう	Buerger's disease		閉塞性血栓血管炎、ビュルガー病	Ⅲ-3 循環器疾患	比較的若い男性に発症する動脈閉塞疾患。手足の痛みや間欠性跛行で始まり、進行すると手足末梢に潰瘍を生じる。禁煙が必須かつ有効な治療法である。
BS DMARDs	ばいおしみらーでいーまーず	biosimilar DMARDs	BS		Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	オリジナルの生物学的製剤に対してバイオ後発品の総称。
bDMARDs	ばいおろじかるでいーまーず	biologic synthetic DMARDs	bDMARDs		Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	関節リウマチ治療に用いる生物学的製剤の総称。
敗血症	はいいつしょう	sepsis		セプシス	Ⅲ-11 感染症・敗血症	感染に対する生体反応(免疫炎症反応)によって臓器障害を生じた状態。必ずしも血液中に細菌や細菌の毒素が証明される必要はない。
敗血症性ショック	はいいつしょうせいしょくく	septic shock			Ⅲ-11 感染症・敗血症	敗血症の中で、適切な補液にもかかわらず低血圧と高乳酸血症が持続する状態。
肺梗塞	はいこうそく	pulmonary infarction			Ⅲ-14 肺疾患	肺血栓塞栓症に伴って末梢領域の肺組織に出血性壊死が生じた状態。
肺水腫	はいすいしゅ	pulmonary edema			Ⅲ-14 肺疾患	病的機序により肺血管外水分量が異常に増加した状態。
胚性幹細胞	はいせいかんさいぼう	embryonic stem cell			Ⅲ-13 再生医療	初期胚の一部である内部細胞塊より樹立された幹細胞。
胚性腫瘍細胞	はいせいしゅようさいぼう	embryonal carcinoma cell	ES細胞		Ⅲ-13 再生医療	テラトカルシノーマと呼ばれる悪性腫瘍から分離された細胞で幹細胞としての性質をもつ。
肺性心	はいせいしん	cor pulmonale			Ⅲ-14 肺疾患	肺高血圧のため右室肥大、右室不全が起ること。
胚性生殖幹細胞	はいせいせいしゅくかんさいぼう	embryonic germ cell	EC細胞		Ⅲ-13 再生医療	生殖細胞に分化する始原生殖細胞より樹立された幹細胞。
肺塞栓症	はいそくせんしょう	pulmonary embolism			Ⅲ-14 肺疾患	静脈系で形成された塞栓子が肺動脈を閉塞し、肺循環障害を招く病態。
ハイパーダイナミックスステイト	はいばーだいなみつくすていと	hyperdynamic state			Ⅲ-11 感染症・敗血症	septic shockにおいて、初期では血管抵抗が著しく低下し、それに伴い血圧は低下するが代償的に心拍出量が正常以上に増加した状態。
胚盤胞	はいばんほう	blastocyte	EG細胞	胞胚	Ⅲ-13 再生医療	哺乳類における内部に胞胚腔の形成された初期胚。辺縁にES細胞の樹立に用いる内部細胞塊が形成される。
ハイフロー持続血液濾過透析	はいふろーじぞくけつえきろかどうせき	high flow (HF) CHDF			Ⅲ-1 肝疾患	CHDFの透析液流量を300-500 mL/minへ大幅に増加させた血液浄化法、人工肝補助療法として用いられる。
肺胞気動脈酸素分圧差	はいほうきどうみやくさんそふんあつかうさ	alveolar-arterial O2 difference	A-aDO2		Ⅲ-14 肺疾患	肺胞気酸素分圧と動脈血酸素分圧との圧較差。
high mobility group B1	はいもびりていぐるーぶほつくすわん	high mobility group B1	HMGB1		Ⅲ-11 感染症・敗血症	DNAの転写を制御する核内タンパク。活性化された樹状細胞やマクロファージ、壊死した細胞から細胞外に放出され、自然免疫を活性化する。
胚様体	はいようたい	embryonic body			Ⅲ-13 再生医療	ES細胞の分化誘導過程で形成される。初期胚と似た構造をもつ細胞塊。
ハイリスク妊娠	はいりすくにんしん	high-risk pregnancy			Ⅲ-9 小児疾患・生殖器疾患	妊娠期間中あるいは分娩後間もなく母児のいずれかまたは両者に重大な予後が予想される妊娠。
白衣高血圧	はいくこうけつあつ	white coat hypertension			Ⅲ-3 循環器疾患	診察室血圧が収縮期血圧140 mmHgかつ/または拡張期血圧90 mmHg以上で、家庭血圧が収縮期血圧135 mmHg未満かつ拡張期血圧85 mmHg未満あるいはABPMでの24時間平均血圧が収縮期血圧130 mmHg未満かつ拡張期血圧80 mmHg未満である場合。
白質脳症	はくしつのおうしょう	leukoencephalopathy			Ⅲ-6 神経疾患	主に大脳白質が障害される病態の総称。
バクテリアルトランスロケーション	ばくてりあるとらんずろけーしょん	bacterial translocation			Ⅲ-11 感染症・敗血症	腸内細菌が粘膜バリアーを通過して、体内に移行する状態。
橋本甲状腺炎	はしもとこうじょうせんえん	hashimoto thyroiditis			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	甲状腺の機能低下の原因となる自己免疫疾患。
橋本脳症	はしもとのおうしょう	hashimoto encephalopathy			Ⅲ-6 神経疾患	慢性(橋本)甲状腺炎に伴う自己免疫性脳症。
播種性血管内凝固症候群	はしゅせいけつかんないぎょうこうしょうこうぐん	disseminated intravascular coagulation syndrome	DIC		Ⅲ-11 感染症・敗血症	全身性の凝固機能制御機能不全の状態。敗血症では凝固亢進、線溶抑制を特徴とする。
バスキュラーアクセス	ばすきゅらーあくせす	vascular access		血管アクセス、ブラッドアクセス	I 総説	体外循環治療の脱血、返血を行う血液の出入口。
HAQ	はつく	health assessment questionnaire	HAQ		Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	身体機能評価を目的とした自己記入式質問表。
白血球	はつけっきゅう	white blood cell, leukocyte			Ⅱ-1 分離法	単球、リンパ球(Ｔリンパ球とＢリンパ球)、好中球、好酸球、好塩基球に分類され、感染防御など種々の免疫反応に関与している。
白血球アフェレーシス	はつけっきゅう あふえれーしす	leukapheresis			Ⅲ-13 再生医療	免疫反応に関与する白血球を血液検体から分離させる手順。後に移植する白血球を得る目的やがん免疫療法(CAR-T細胞療法)との一部としても使用される。
白血球系細胞除去療法	はつけっきゅうけいさいいぼうじょきりょうほう	leukocyte removal therapy	LRT	遠心分離式白血球除去療法、白血球吸着除去療法、リンパ球除去療法、血球成分除去療法、顆粒球吸着除去療法、胸管ドレナージ	I 総説	遠心分離法、不織布への吸着分離法、ビーズ吸着法により白血球系細胞を除去する方法。
白血球除去器	はつけっきゅうじょきよき	leukocyte removal column		血球細胞除去用浄化器	Ⅱ-1 分離法	直径3 μm以下のポリエステル繊維の不織布で白血球を吸着除去するカラム。
白血球除去療法	はつけっきゅうじょきりょうほう	leukocytapheresis	LCAP	リンパ球除去療法、顆粒球除去療法、血球成分除去療法	I 総説	ポリエステル不織布などの繊維吸着剤に白血球を吸着させ、患者血液から白血球を選択的に分離・除去する治療法。1回の治療で平均1.6×10 ¹⁰ 個の白血球を除去する。潰瘍性大腸炎や関節リウマチに対して保険適用が認められている。
白血球除去療法	はつけっきゅうじょきりょうほう	leukocytapheresis	LCAP	リンパ球除去療法、顆粒球除去療法、血球成分除去療法	Ⅲ-8 消化器疾患	ポリエステル不織布などの繊維吸着剤に白血球を吸着させ、患者血液から白血球を選択的に分離・除去する治療法。1回の治療で平均1.6×10 ¹⁰ 個の白血球を除去する。潰瘍性大腸炎や関節リウマチに対して保険適用が認められている。
白血球増多症	はつけっきゅうぞうたしょう	hyperleukocytosis			Ⅲ-15 血液疾患・その他	白血球数100,000/μL以上の状態である。増殖性血管内凝固、腫瘍期破綻疾患群のリスクが増加する。さらに血管内で白血球塞栓が生じ、組織の低酸素状態を誘発する可能性が認められる。
白血病阻止因子	はつけつびょうそいんし	leukemia inhibitory factor	EB		Ⅲ-13 再生医療	白血病細胞の増殖阻害因子として発見された。ES細胞の分化抑制作用もあり、その未分化維持因子として使用される。
バフィーコート	ばふいーこーと	buffy coat layer			Ⅱ-1 分離法	抗凝血処理した血液を遠心分離することにより得られる血漿分画と赤血球分画の中間に位置する白血球を多く含む部分。
ハプテン	はぷてん	hapten			Ⅲ-7 免疫疾患	単独では抗体を生産させる抗原性がないが、タンパク質等と結合して抗原性を示す比較的低分子量の物質。

パラプロテイン血症	ばらぶろていんけっしょう	paraproteinemia			Ⅲ-6 神経疾患	B細胞の異常により単クローン性の免疫グロブリンやL鎖が血中、尿中に増加する状態で、形質細胞の悪性増殖により起こるものと明らかな形質細胞/B細胞系の腫瘍性疾患を認めないものの2種に大別される。
パラプロテイン血症性脱髄性多発根ニューロパチー	ばらぶろていんけっしょうせいだつすいせいいたはつこんにゅーろぱちー	paraprotein-associated demyelinating polyneuropathy		慢性後天性脱髄性多発根ニューロパチー	Ⅲ-6 神経疾患	パラプロテイン血症を伴う末梢神経障害の総称であり、多くの病型がある。
ハルトマン液	はるとまんえき	Hartmann's solution		リンゲル液	Ⅱ-2 吸着法	細胞外液補充に用いる。細胞外液と似た電解質組成の輸液製剤。リンゲル液に乳酸を加えて、過剰なクローリオン量を抑えたものがハルトマン(乳酸リンゲル)液。
半月体形成性腎炎	はんげつたいけいけいせいじんえん	crescentic glomerulonephritis	Crescentic GN	急速進行性糸球体腎炎	Ⅲ-2 腎疾患	組織学的にボウマン嚢に半月体を認める腎炎。ANCA関連腎炎、抗GBM抗体腎炎などでみられ、臨床的にRPGNを呈する。
癬癢性類天疱瘡	はんこんせいいるいてんぽうそう	cicatricial pemphigoid	CP	良性粘膜類天疱瘡	Ⅲ-10 皮膚疾患	自己免疫性水疱瘡の一つ、粘膜に癬瘡を残す。
反射性交感神経性ジストロフィー	はんしゃせいこうかんしんけいせいじすとろふいー	reflex sympathetic dystrophy	RSD	CRPS	Ⅲ-6 神経疾患	侵害的な出来事の後に発生し、かつ一つの末梢神経の領域に局限することなく広がり、その出来事とは不均衡であるような症状を呈し、浮腫、皮膚血流の変化、疼痛のある部分における発汗機能の異常、あるいは異常感覚もしくは痛覚過敏を伴う症候群。
半消化態栄養剤	はんしょうかたいえいようざい	defined formula diet			Ⅲ-8 消化器疾患	経腸栄養剤のうち、室素源をタンパク質の形で配合したもの。吸収するためには消化が必要。
半透膜	はんとうまく	semipermeable membrane			Ⅱ-1 分離法	溶質や分散系中の一部の成分は通すが、ほかの成分は通さないような膜。
反応性関節炎	はんのうせいかんせつえん	reactive arthritis	ReA		Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	腸炎や尿道炎等の感染に続発する無菌性の関節炎。
HANPS	はんぷす	hydroxyapatite nanoparticles	HANPs		Ⅲ-14 肺疾患	多種の微小蛋白が上皮細胞などに作用して炎症を惹起する状態。
PRRs	ぴーあーるあーるず	pattern recognition receptors			Ⅲ-11 感染症・敗血症	樹状細胞やマクロファージなどの自然免疫に関与する細胞に備わった病原微生物や内因性物質を認識する受容体。TLRsはその代表。
P-ANCA	ぴーあんか	perinuclear-ANCA		MPO-ANCA、核周囲性ANCA	Ⅱ-2 吸着法	間接蛍光抗体法で細胞核周囲のmyeloperoxidase(MPO))を主な対応抗原とする好中球細胞質抗体。顕微鏡的多発血管炎などで陽性となることが多い。
P-ANCA	ぴーあんか	perinuclear-ANCA		MPO-ANCA、核周囲性ANCA	Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	間接蛍光抗体法で細胞核周囲のmyeloperoxidase(MPO))を主な対応抗原とする好中球細胞質抗体。顕微鏡的多発血管炎などで陽性となることが多い。
P/F比	ぴーえふ ひ	PaO2/FiO2 ratio			Ⅲ-14 肺疾患	PaO ₂ /FiO ₂ 動脈血酸素分圧と吸入酸素濃度の比。急性呼吸速迫症候群(ARDS)等、呼吸不全の重症度評価。低いほど重症。
PMMA-CHDF	ぴーえむえむえーしーえいちでいーえふ	polymethyl methacrylate-continuous hemodiafiltration			Ⅲ-11 感染症・敗血症	ポリメチルメタクリレート(PMMA)膜ヘモフィルタを用いたCHDF。サイトカインなどの各種メディエータをの吸着除去を目的とする。
B型肝炎ウイルス	びーがたかんえんいうるす	hepatitis B virus	HBV		Ⅲ-1 肝疾患	二本鎖DNAウイルス。アジアでは急性感染により劇症肝炎の原因ウイルスとして最も頻度が高い。
B細胞	びーさいぼう	B cell			Ⅲ-7 免疫疾患	体内に侵入した病原体を排除するために必要な抗体を作り出し、体液性免疫に関わるリンパ球。リンパ球の約20-40%を占める。
PCSK9	ぴーしーえすけーないん	proprotein convertase subtilisin/kexin type9	PCSK9		Ⅲ-4 脂質異常症	主に肝臓においてLDL受容体と複合体を形成し、その分解を促進して血中LDL-C値を制御するタンパク。スタチン等の脂質低下薬により、PCSK9タンパクの発現が亢進することが知られている。家族性高コレステロール血症の一部は本遺伝子の機能獲得型変異が原因である。
PCSK9抗体薬	ぴーしーえすけーないんこうたいやく	proprotein convertase subtilisin/kexin type 9 inhibitor		ヒト抗PCSK9モノクローナル抗体製剤	Ⅲ-3 循環器疾患	PCSK9阻害により、肝細胞上のLDL受容体数を増やし、血中LDL-C値を低下させる抗体薬。既存薬でLDL-C低下が不十分な症例が適応。
PCSK9阻害薬	ぴーしーえすけーないんそがいはやく	PCSK9 inhibitor			Ⅲ-4 脂質異常症	PCSK9阻害薬は、抗体医薬と核酸医薬が開発されており、抗体医薬はエボロクマブ、核酸医薬はインクリシランである。
リンパ球	びーりんぱきゅう	B cell, B lymphocyte		液性免疫	Ⅱ-1 分離法	抗体は特定の抗原にとりつく機能をもった分子であり、病原体を失活させ、直接攻撃する目印ともなる。抗体を産生するB細胞は免疫系の中では間接攻撃の役割を担っており、その働きは液性免疫と呼ばれる。
非観血的連続循環血漿量監視装置	ひかんけつてききれんぞくじゅんかんけっしょうりょうりょうかんしそうち	noninvasive and continuous circulating plasma volume monitoring instrument		noninvasive and continuous hematocrit monitoring instrument	Ⅱ-3 周辺機器	ヘマトクリット値の変化から循環血液量の変動(BV%)を監視する。モニタリング部は専用のチャンバを用いるものと血液回路に直接センサを装着するものがある。
非観血的連続ヘマトクリット測定装置	ひかんけつてききれんぞくへまどくりつとそくていそうち	noninvasive and continuous hematocrit monitoring instrument			Ⅱ-3 周辺機器	「クリットラインモニター」の項目参照。
被吸着物質	ひきゅうちゃくぶっしつ	adsorbate			Ⅱ-2 吸着法	薬物や有害物質、病因関連物質などの吸着される物質。
肥厚性硬膜炎	ひこうせいのこうまくえん	hypertrophic pachymenigitis			Ⅲ-6 神経疾患	肥厚性硬膜炎は、脳、脊髄硬膜の部分的またはびまん性の肥厚により、硬膜の肥厚部位に応じて頭痛、うつ血乳頭、脳神経麻痺、小脳失調、対麻痺などの神経症状を呈する。原因不明の特発性と続発性に分類される。続発性の場合、ANCA関連血管炎、ウェゲナー肉芽腫やサルコイドーシスなどの炎症性疾患や、細菌、真菌、結核などの感染、多臓器線維症などが原因として考えられている。また、IgG4関連疾患との関係も示唆されている。
非昏睡型急性肝不全	ひこんすいがたきゅうせいいかんふぜん	acute liver failure without coma			Ⅲ-1 肝疾患	肝性脳症が認められない、ないしは昏睡度がⅠ度までの急性肝不全。
微小変化型ネフローゼ症候群	びしょうへんかがたねふろーぜしょうこうぐん	minimal change nephrotic syndrome	MCNS		Ⅲ-2 腎疾患	ネフローゼ症候群を呈するが、光学顕微鏡上は病理組織学的な変化をほとんど認めない疾患群。
非侵襲的陽圧換気法	ひしんしゅてきようあつかんきほう	non-invasive positive pressure ventilation	NIPPV		Ⅲ-14 肺疾患	気管内挿管や気管切開を行わずに人工呼吸器によって呼吸管理する方法。
非全身性血管炎症性ニューロパチー	ひぜんしんせいけっかんえんしょうせいにくーろぱちー	non-systemic vasculitic neuropathy			Ⅲ-6 神経疾患	全身の血管炎症状を伴わず局所の血管炎で生じる末梢神経障害。
ビッカーstaff型脳幹脳炎	びっかーすたつがたのうかんのうえん	bickerstaff brainstem encephalitis			Ⅲ-6 神経疾患	眼球運動や運動失調、意識障害を三主徴とし、脳幹を病変の首座とする自己免疫疾患。
非典型溶血性尿毒症症候群	ひてんけいようけつせいにようどくしょうしょうこうぐん	atypical hemolytic uremic syndrome	aHUS		Ⅲ-9 小児疾患・生殖器疾患	補体制御異常により発症する溶血性尿毒症症候群(補体関連HUS)。
人血清アルブミン	ひとけつせいあるぶみん	human serum albumin			Ⅱ-4 置換液・抗凝固法	アルブミンの純度が総たん白質の96%以上のもの。
ヒトリンパ球向性ウイルス脊髄症	ひとていーりんぱききゅうこうせいういるすぜきすいえん	HTLV-Ⅰ associated myelopathy	HAM	HTLV-Ⅰ (関連)脊髄症	Ⅲ-6 神経疾患	HTLV-Ⅰ感染者に起こる。徐々に進行する痙性対麻痺。
ヒト白血球抗原	ひとはけつけきゅうこうげん	human leukocyte antigen	HLA		Ⅲ-7 免疫疾患	ヒトのMHCであるHLAは、6番染色体の短腕上(6p21.31)に約4,000 kbにわたって存在する。
ヒドロキシメチルグルタリル-CoA還元酵素阻害薬	ひどろきしめちるぐるたりるこえーかんげんこうそがいはやく	3-hydroxy-3-methylglutaryl coenzyme A reductase inhibitor	HMG-CoA-Ri	statin	Ⅲ-4 脂質異常症	肝におけるコレステロール合成の律速酵素であるHM-GCoA還元酵素の競合的阻害薬であり、肝臓内のコレステロール需要を増加させることによりLDL受容体発現を促進し、血清LDL-Cを低下させる薬剤。
皮膚筋炎	ひふきんえん	dermatomyositis	DM		Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	特徴的な皮膚症状を伴う近位筋に生じる炎症性筋疾患。
皮膚 T 細胞リンパ腫	ひふていーさいぼうりんぱしゅ	cutaneous T-cell lymphoma	CTCL		Ⅲ-10 皮膚疾患	皮膚に原発するT細胞由来のリンパ腫の総称。菌状肉肉腫、セザリー症候群が代表疾患である。

皮膚粘膜リンパ節症候群	ひふねんまくりんばせつしよこうぐん	mucocutaneous lymph node syndrome	MCLS	川崎病	Ⅲ-3 循環器疾患	「川崎病」の項目参照。
非閉塞性腸管虚血	ひへいそくせいちょうかんきよけつ	non-occlusive mesenteric ischemia	NOMI		Ⅲ-8 消化器疾患	器質的閉塞を伴わない腸管血流障害により腸管の虚血や壊死をきたす疾患。
非ヘルペス性辺縁系脳炎	ひへるべすせいへんえんけいのうえん	non-herpetic limbic encephalitis			Ⅲ-6 神経疾患	精神症状が前景にたつヘルペス脳炎以外の脳炎の総称。
びまん性肺障害	びまんせいはいしやうがい	diffuse alveolar damage	DAD		Ⅲ-14 肺炎患	両側の肺に広範に病変が広がった肺炎患。間質性肺炎患などを含む。
病原体関連分子パターン	びょうげんたいいかんれんぶんしぱたーん	pathogen-associated molecular patterns	PAMPs	DAMPs	Ⅲ-11 感染症・敗血症	細菌、細菌構成成分や細菌の代謝産物などのうち、自然免疫を活性化し生体反応を惹き起こす物質の総称。
病状重症度分類	びやうじやうじゅうしやうどぶんるい	disease activity index	DAI		Ⅲ-8 消化器疾患	臨床重症度と内視鏡の重症度を両方を加味した重症度分類。排便回数、血便量、S状結腸内視鏡検査による粘膜所見、医師の全般的評価4項目で評価する。
微粒子除去フィルタ	びりゆうしよきよふいるた	micro-particle removing filter		micro-filter	Ⅱ-2 吸着法	吸着材の破砕物などの血液混入を防止するために、フィブリンや血小板などの微小凝集物もしくは吸着カラムなどから流出する微粒子を除去するフィルタ。
ビリルビン吸着（法）	びりるびんきゅうちゃく（ほう）	bilirubin adsorption			I 総説	患者血液からビリルビンや胆汁酸を選択的に分離・除去する吸着カラムを用いた治療法。
5-アミノサリチル酸	5-あみなさりちるさん	5-aminosalicylic acid	5-ASA		Ⅲ-8 消化器疾患	結口または注腸で投与。軽・中症の主に潰瘍性大腸炎とクローン病の炎症をコントロールし再燃予防と寛解維持する。
ファウリング	ふあうりんぐ	fouling			Ⅱ-1 分離法	膜の表面や内部にタンパクが付着すること、膜分離能、透過性能の低下の主たる要因となる。
Fas抗原	ふあすこうげん	Fas antigen			Ⅲ-7 免疫疾患	分子量45,000のI型膜貫通タンパク質で、319アミノ酸残基から構成され、アポトーシス誘導シグナルを伝達するレセプター分子。
Fasリガンド	ふあすりがんど	Fas ligand			Ⅲ-10 皮膚疾患	TNFファミリーに属するサイトカインの一つ。アポトーシスを誘導する受容体に結合する。SJS/TENの病態に関与する。
ファンデルワールス吸着	ふあんでるわーるすきゅうちゃく	van der waals adsorption			Ⅱ-2 吸着法	吸着材分子と溶液中の被吸着物質の分子間引力によって生じる吸着現象。
フィーダー細胞	ふいーだーさいぼう	feeder cell			Ⅲ-13 再生医療	増殖や分化をさせた細胞の培養条件を整えるために用いる補助細胞。例えば、ES細胞に対する線維芽細胞など。
FLDLレムナント	ふいえるでいーえるれむなんと	LDL remnant			Ⅲ-4 脂質異常症	「中間比重リポタンパク」の項目参照。
フィタン酸	ふいたんさん	phytanic acid			Ⅲ-6 神経疾患	フィタン酸は炭素数20の分枝脂肪酸で、そのままでは直接β酸化は受けられず、α酸化により炭素数19のプリスタン酸に分解された後、β酸化により分解される。
フィッシュー症候群	ふいっしーしやうこうぐん	Fisher syndrome			Ⅲ-6 神経疾患	急性の外眼筋麻痺、運動失調、聴覚消失などを起こす免疫介在性ニューロパチー。多くは上気道感染後に発症し、1-2週経過後に後に自然経過で改善に向かう。年性性経過。急性外眼筋麻痺の急性期にFisher症候群を併発する。Fisher症候群は、急性外眼筋麻痺、運動失調、聴覚消失などを起こす免疫介在性ニューロパチー。多くは上気道感染後に発症し、1-2週経過後に後に自然経過で改善に向かう。年性性経過。
フィブラート	ふいふらーと	fibrate			Ⅲ-4 脂質異常症	血液の中に存在する凝固因子の一つ。トロンビンによってフィブリンへと変換され重合して血栓を形成する。
フィブリノーゲン	ふいぶりのーげん	fibrinogen			Ⅲ-11 感染症・敗血症	血液の凝固に関わる線維状タンパク質で、血小板とともに重合し、血栓を形成する。
フィブリン	ふいぶりん	fibrin			Ⅲ-11 感染症・敗血症	筋線維内に線維性封入体が存在する筋炎。
封入体筋炎	ふうにゅうたいきんえん	inclusion body myositis			I 総説	全血を体外循環させた白血球を分離し、白血球に光感作物質を添加し、紫外線を照射した後、体内へ戻す治療。
フォトフェレシス	ふおとふえれしす	photopheresis			Ⅲ-3 循環器疾患	下肢閉塞性動脈硬化症の臨床症状として4段階の重症度分類。I 無症状、II 間歇性跛行、III 虚血性安静時疼痛、IV 潰瘍または壊疽。
フォンテイン分類	ふおんていんぶんるい	fontaine classification				
フォン・レックリングハウゼン病	ふおんれつくりんぐはうぜんびょう	von Recklinghausen disease		神経線維腫症 I 型	Ⅲ-6 神経疾患	カフェ・オ・レ斑、神経線維腫を主徴とし、骨病変、眼病変、神経腫瘍、そのほか多彩な症候を呈する全身性母斑症であり、常染色体優性の遺伝性疾患。
複合性局所疼痛症候群	ふくごうせいきょくしやうとうつしやうこうぐん	complex regional pain syndrome			Ⅲ-6 神経疾患	組織損傷後に創傷が治癒した後も痛みが遷延する病態。
複合的結合	ふくごうてきけつどう	combined uniting			Ⅱ-2 吸着法	静電結合力和疎水結合力がともに関与している場合、トリトファンやフェニルアラニンを固定化した選択性血漿成分吸着器などの結合様式。
副腎白質ジストロフィー	ふくじんはくしつじすとろふいー	adrenoleukodystrophy	ALD		Ⅲ-6 神経疾患	副腎不全と中枢神経系の脱髄を主体とするX連鎖性劣性形式の遺伝性疾患。
腹水	ふくすい	ascites			Ⅲ-8 消化器疾患	腹腔内に液体が貯留した状態である。肝硬変は主要な原因となる。
腹水濾過濃縮再静注(法)	ふくすいろうかのうしゆくさいじょうちゅう（ほう）	cell-free concentrated ascites reinfusion therapy	CART		I 総説	腹水を腹腔からぬいて、細菌やがん細胞を取り除き、アルブミンなどが濃縮された腹水を体へ戻す方法。
腹壁反射	ふくへきはんしや	bauchdecken reflex	BDR		Ⅲ-8 消化器疾患	表在反射の一種で、患者を仰臥位にさせハンマーの柄、歯車、鈍い針などで腹壁を外から正中側にこすると、正常者では腹壁筋が収縮する反射。
物質移動係数	ぶつしついでうけいすう	mass transfer coefficient		物質輸送係数	Ⅱ-1 分離法	物質が移動するときの速度が、移動が生じる面積ならびに推進力に比例するとしたときの定数。
物理化学的吸着材	ぶつりかがくてききゅうちゃくざい	physicochemical adsorbent			Ⅱ-2 吸着法	物理化学的相互作用によって被吸着物質を吸着する材料。
物理化学的相互作用	ぶつりかがくてききょうごさよう	physicochemical interaction			Ⅱ-2 吸着法	吸着材の吸着様式の一つで静電結合や疎水結合などの物理化学現象を利用。
ブドウ膜炎	ぶどうまくえん	uveitis		虹彩炎	Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	膠原病や感染等に伴うブドウ膜炎の炎症。
ブライミング	ぶらいみんぐ	priming		回路充填	I 総説	血液や血漿などとの回路に充填液（例えば、生理食塩液）を充填すること。
ブライミングポリリウム	ぶらいみんぐぼりりゅむ	priming volume	PV		Ⅱ-3 周辺機器	血液回路、モジュールなどの体外循環ポリリウムの総量。アフエリシス治療では血漿側容量も含む。
ブラウン・セカール症候群	ぶらうん・せかーるしやうこうぐん	Brown-Sequard syndrome			Ⅲ-6 神経疾患	脊髄の半側障害で起こる同側の運動神経の麻痺と病変部以下の位置感覚の欠如、対側の疼痛感覚と温度感覚の欠如。
ブラジキニン	ぶらじきにん	bradykinin	BK		Ⅱ-2 吸着法	ブラジキニンは7個のアミノ酸からなるペプチドで、オータコイドと呼ばれる局所ホルモンの一つ。アフエリシスでは陰性荷電した吸着カラムにより血液中の内因性凝固因子が活性化され誘導される。血管拡張作用を有し、顔面紅潮や血圧低下をきたす。
ブラジキニン	ぶらじきにん	bradykinin	BK		Ⅲ-2 腎疾患	ブラジキニンは8個のアミノ酸からなるペプチドで、オータコイドと呼ばれる局所ホルモンの一つ。アフエリシスでは陰性荷電した吸着カラムにより血液中の内因性凝固因子が活性化され誘導される。血管拡張作用を有し、顔面紅潮や血圧低下をきたす。
プラズマダイアフィルトレーション	ぶらずまだいあふいるとれーしよん	plasma dia-filtration	PDF		Ⅲ-11 感染症・敗血症	膜型血漿分離器を用い、血漿交換と血液濾過透析を同時に施行できる補助療法。概念としてはselective plasma filtration with dialysis。
プラスミンゲンアクチベーターインヒビターI	ぶらすみのーげんあくちべーたいんひびたーわん	plasminogen activator inhibitor I	PAI-1		Ⅲ-11 感染症・敗血症	t-PA活性を阻害し、血栓溶解を阻害する。
プラスミン	ぶらすみん	plasmin			Ⅲ-11 感染症・敗血症	タンパク分解酵素で、フィブリン

分化マーカー	ぶんかまーかー	differentiation marker			III-13 再生医療	細胞の分化段階の決定に用いられるマーカー。
分子間力	ぶんしかなりよく	intermolecular force			II-2 吸着法	(電気的に中性の)分子間に作用する力で、きわめて近距離でだけ有効な強い斥力と、かなり遠距離まで働く引力と大別される。
分子量	ぶんしりょう	molecular weight	MW		II-1 分離法	分子の相対的質量を表す次元のない量で、分子を構成する元素の原子量の総和。
閉塞性動脈硬化症	へいそくしどうみゃくこうかしょう	arteriosclerosis obliterans	ASO	末梢動脈疾患	III-3 循環器疾患	四肢の主幹動脈に粥状硬化性変化を起こし、狭窄あるいは閉塞を生じて末梢部に種々の程度の虚血症状を呈する疾患。特徴的な症状は間欠性跛行であり、進行すると足潰瘍や壊疽の原因となる。
閉塞性血栓血管炎	へいそくせいけいっせんけつかえん	thromboangitis obliterans	TAO		III-3 循環器疾患	「バージャー病」の同義語。
hMG-hCG療法	へいちめむじーえいちしーじーりょうほう	hMG-hCG therapy		ゴナドトロピン療法	III-9 小児疾患・生殖器疾患	HMG投与の後HCGを投与することで、ゴナドトロピンの分泌障害による無排卵症に排卵を起こす療法。
b2-ミクログロブリン吸着カラム	べーたーつーみくろぐろぶりんききゅうちゃくからむ	b2-microglobulin adsorption column			II-2 吸着法	血中からb2MGを吸着除去する浄化器。
b2-ミクログロブリン吸着療法	べーたーつーみくろぐろぶりんききゅうちゃくほう	b2-microglobulin adsorption therapy			I 総説	全血を体外循環させて直接吸着器に通してb2MGを除去する方法。
ベータ超低比重リポタンパク	べーたちようていひじゅうりぽたんぱく	b-very low density lipoprotein	b-VLDL		III-4 脂質異常症	アガロース電気泳動法でLDLと同じb位に泳動されるVLDL分画(超遠心法で比重<1.006にて浮上する分画)。III型高脂血症患者で見られ、コレステロールとアポEに富み、マクロファージを泡沫化させることが報告されている。
b2-ミクログロブリン	べーたつーみくろぐろぶりん	b2 microglobulin	b2-MG		III-2 腎疾患	分子量11,800の単鎖のポリペプチド、血清b2-MG値はリンパ腫瘍(多発性骨髄腫など)や自己免疫疾患などで高値を示す。また尿中b2MGは近位尿細管障害の指標となる。さらに透析アミロイド症の原因物質である。
b2-ミクログロブリン	べーたつーみくろごろぶりん	b2 microglobulin	b2MG		II-2 吸着法	分子量11,800の単鎖のポリペプチド、血清b2-MG値はリンパ腫瘍(多発性骨髄腫など)や自己免疫疾患などで高値を示す。また尿中b2MGは近位尿細管障害の指標となる。さらに透析アミロイド症の原因物質である。
(1,3)-b-D-グルカン	べーた-でいーぐるかん	(1,3)-b-D-glucan			III-11 感染症・敗血症	真菌の細胞壁成分、真菌症の血清診断法として測定される。
ベーチェット病	べーちえつとびょう	behcet's disease			III-5 リウマチ・膠原病	再発、寛解を繰り返す原因不明の全身性炎症性疾患。
ヘキサデシル基固定化セルロースビーズカラム	へきさでしるさんこていかせろーすびーずからむ	b2-microglobulin adsorption column			II-2 吸着法	ヘキサデシル基をリガンドとした、b2-ミクログロブリン吸着器。
ヘパリン化	へぱりんか	heparinization			II-4 置換液・抗凝固法	体外循環において血液回路にヘパリンを注入して抗凝固を行うこと。
ヘパリン起因性(惹起性)血小板減少症	へぱりんきいんせいけいっしょうばんけんしょうしょう	heparin-induced thrombocytopenia	HIT	ヘパリン惹起性血小板減少症	II-4 置換液・抗凝固法	ヘパリンを注射した際に血管内や体外循環内に血栓を形成し、血小板が減少する特殊な病態。非免疫的機序の場合(1型)は、血栓形成や血小板減少は軽度であるが、血小板第4因子ヘパリン複合体に対する抗体が原因である場合(2型)では、血栓形成が高度となり臨床症状を伴う例が多い。
ペプチドグリカン	ぺぷちどぐりかん	peptidoglycan	PGN		III-11 感染症・敗血症	細菌の細胞壁成分、グラム陽性菌、陰性菌の両方に含まれる。
ペマフィブラート	ペマフィブラート	pemafibrate	SPPARM α		III-4 脂質異常症	選択的PPAR αモジュレーター(SPPARM α)であり、高脂血症治療薬として、TG低下作用とHDL-C上昇作用を有する。
ペムペト酸	ぺむぺどさん	bempetoic acid			III-4 脂質異常症	ATPクエン酸リアーゼの阻害剤であり、スタチンに加えてさらにLDL-Cを低下させる作用が示されており、現在試験が行われている。尿酸値を上昇する副作用がある。
ヘリオトロープ疹	へりおとろーぷしん	heliotropic eruption			III-5 リウマチ・膠原病	皮膚筋炎の眼瞼部に生じる紫紅色の腫脹。
ペルオキシソーム増殖因子活性化受容体	ぺるおきしぞーむぞうしゅいんしかくせいかじきゅうたい	peroxisome-proliferator activated receptor	PPAR		III-4 脂質異常症	リガンド応答性の核内受容体型転写因子。α・δ・γの3形がある。いずれも脂質代謝の制御に関与し、αアゴニストとしてフィブラート、γアゴニストとしてチアゾリジン誘導体がある。αは肝臓での脂肪酸の燃焼、δは骨格筋・褐色脂肪細胞での脂肪酸の燃焼、γは脂肪細胞の分化、脂質の貯蔵に作用する。
ペルオキシソーム病	ぺるおきしそーむびょう	peroxisomal disease			III-6 神経疾患	細胞内ペルオキシソームに局在する酵素・タンパクの単独欠損症と、それらのタンパクをペルオキシソームに局在させるために必要なPEXタンパクの遺伝子異常症(ペルオキシソーム形成異常症)の2つに分けられ、中枢神経系を中心に対象となる臓器に障害を来して多岐にわたる臨床像を呈する。
ヘルパーTリンパ球	へるばーていーりんぱききゅう	helper T cell			III-7 免疫疾患	B細胞が抗原と反応して増殖し抗体産生を誘導したり分化成熟を補助する作用をもつT細胞。
ヘルプ症候群	へるぶしょうこうぐん	HELLP syndrome			III-1 肝疾患	妊娠中や産褥期に発症する溶血(hemolysis)、肝酵素の上昇(elevated liver enzyme)、血小板減少(low platelets)を呈する急性肝障害。DICや急性腎不全を合併する重症例では予後不良である。
ヘルペス髄膜脳炎	へるべすずいまくのうえん	herpetic meningoencephalitis			III-6 神経疾患	ヘルペスウイルスによる急性の髄膜炎・脳炎。
ベル麻痺	べるまひ	Bell's palsy		特発性顔面神経麻痺	III-6 神経疾患	原因不明の急性末梢性顔面神経麻痺。
変性LDL	へんせいえいるでいーええる	modified LDL			III-4 脂質異常症	「スカベンジャー受容体」の項目参照
傍腫瘍性神経症候群	ぼうしゅようせいしんけいししょうこうぐん	paraneoplastic neurologic syndrome			III-6 神経疾患	悪性腫瘍の症例において、腫瘍細胞と正常細胞とのあいだに交差性が成立するために、正常の神経細胞に対する自己抗体が産生され、自己免疫的機序で神経障害をきたすもの。
傍腫瘍性ニューロパチー	ぼうしゅようせいしんけいししょうちー	paraneoplastic neuropathy			III-6 神経疾患	悪性腫瘍に伴い末梢神経障害をきたすもの。
傍腫瘍性辺縁系脳炎	ぼうしゅようせいしんけいししょうのうえん	paraneoplastic limbic encephalitis			III-6 神経疾患	悪性腫瘍に伴い精神症状を主体とする脳症状をきたす疾患。
ボエムズ症候群	ぼえむずしょうこうぐん	POEMS syndrome		Crow-Fukase症候群、高月病、PEP症候群	III-6 神経疾患	形質細胞腫が基礎に存在し、多発ニューロパチーを必須として、その他の臨床症状として臓器腫大(肝脾腫)、内分泌異常(女性性乳房、甲状腺機能異常)、Mタンパク血症、皮膚症状(色素沈着、剛毛、血管腫)、骨硬化病変など多彩な症状を併存する症候群。
ホーミング	ほーみんぐ	homing			III-7 免疫疾患	リンパ球が特定の組織から出て、再びその組織に戻ってくることを指す。
補充液(置換液)ポンプ	ほじゅうえきぽんぷ	substitution fluid pump		replacement fluid pump	II-3 周辺機器	「置換液ポンプ」の項目参照。
補充液(置換液)流量	ほじゅうえきりゅうりょう	quantity of substitution flow	QS, Qs	substitution flow rate replacement flow rate	II-3 周辺機器	「置換液流量」の項目参照。
補体	ほたい	complement			III-7 免疫疾患	抗体の反応を補って、溶菌、溶血や、白血球の遊走、貪食などの際に補助的因子として作用するタンパク群の総称。
補体	ほたい	complement			III-11 感染症・敗血症	抗体の反応を補って、溶菌、溶血や、白血球の遊走、貪食などの際に補助的因子として作用するタンパク群の総称。
補体依存性細胞障害	ほたいいぞんせいさいいぼうしょうがいがい	complement dependent cellular cytotoxicity	CDC		III-12 移植	細胞や病原体に抗体が結合すると補体系が活性化され、細胞が破壊される活性。血液型不適合移植などで起きる拒絶反応の一因。
補体価	ほたいか	50% hemolytic complement activity	CH50		III-7 免疫疾患	古典経路(C1-C9)の総合的な活性を示す指標。
ポドシン	ぽどしん	podocin			III-2 腎疾患	ポドシンは、ネフリンを始めとするスリット膜タンパクと結合し、スリット膜タンパク複合体を細胞骨格と結合・連結する足場蛋白としての機能を持つ。
ホモシステニン尿症	ほもしすちんにょうしょう	homocystinuria			III-6 神経疾患	アミノ酸中のメチオニン代謝産物であるホモシステンを交換する酵素の先天的欠損により血中にホモシステンやメチオニンが蓄積し、尿中に大量に排泄される疾患。
ポリスチレン誘導体繊維	ぼりすちれんりゅうどうたいしんい	polystyrene derivative fiber			II-2 吸着法	α-クロロアセトアミドメチル化ポリスチレン繊維で、エンドトキシン除去向け吸着型血液浄化用浄化器におけるポリミキシンBの担体。
ポリヘマ	ぼりへま	hydroxythylmethacrylate polymer	poly-HEMA		II-2 吸着法	石油ピッチ系活性炭の被覆材に用いられ、生体適合性に優れている。
ポリミキシンB	ぼりみきしんびー	polymyxin B	PL		II-2 吸着法	抗生物質ポリミキシンBはエンドトキシンのリポDとイオン結合および疎水結合する。
ポリメラーゼ連鎖反応	ぼりめらーぜれんさはんのう	polymerase chain reaction	PCR		III-7 免疫疾患	特定のDNA断片だけをin vitroで増殖する方法。

ホルモン補充療法	ほるもんほじゅうりょうほう	hormone replacement therapy	HRT		Ⅲ-9 小児疾患・生殖器疾患	エストロゲン欠乏に伴う諸症状や疾患の予防や治療を目的に考案された療法で、エストロゲン製剤を投与する治療の総称。
マース	まいす	molecular adsorbent recirculating system	MARS		Ⅲ-1 肝疾患	吸着とアルブミン透析を組み合わせた人工肝補助システム。
マイクロソームトリグリセリド転送タンパク	まいくろそーむとりぐりせりどてんそうたんぱく	microsome triglyceride transfer protein	MTP		Ⅲ-4 脂質異常症	肝臓および小腸に存在し、それぞれのリポタンパクであるVLDL、カイロミクロンにリン脂質やトリグリセリドを配合するタンパクである。
膜型血漿分離	まくがたけっしょうぶんり	membrane plasma separation		膜分離、膜濾過血漿分離	Ⅱ-1 分離法	膜型血漿分離器を用いて血液から血漿成分のみを濾過する分離法。
膜間圧力差	まくかんあつりょくさ	transmembrane pressure	TMP		Ⅱ-1 分離法	膜濾過時、膜の両側にかかる圧力差、濾過の推進力。
膜吸着	まくきゅうちゃく	membrane adsorption			Ⅱ-2 吸着法	低分子領域のタンパクを吸着する性質を持った濾過膜による吸着療法
膜性腎症	まくせいじんしょう	membranous nephropathy	MN	膜性糸球体腎炎	Ⅲ-2 腎疾患	一次性糸球体疾患の病理組織学型の一つ。糸球体基底膜上皮下の免疫複合体沈着および糸球体基底膜の反応性変化（びまん性の肥厚など）を特徴とする。
膜分離血漿交換（法）	まくぶんりけっしょうこうかん（ほう）	membrane filtration(separation) plasmaexchange	mTPE	PE	I 総説	膜型血漿分離器を用いて施行する血漿交換法。
膜面積	まくめんせき	membrane area			Ⅱ-1 分離法	血液が浄化器を通るときに、血液が接する膜の面積の合計。
マクログロブリン血症	まくろぐろぶりんけっしょう	macroglobulinemia			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	骨髄腫や膠原病に続発して形質細胞がIgMを過剰に産生する病態。
マクロファージ	まくろふあーじ	macrophage	MΦ	大食細胞，貪食細胞	Ⅱ-1 分離法	アメーバ状の細胞で、生体内に侵入した細菌、ウイルス、または死んだ細胞を捕食し消化する。また抗原提示を行い、B細胞による抗体産生を促す。全身の組織に広く分布しており、自然免疫において重要な役割を担う。
マクロファージ	まくろふあーじ	macrophage	MΦ	大食細胞，貪食細胞	Ⅲ-7 免疫疾患	アメーバ状の細胞で、生体内に侵入した細菌、ウイルス、または死んだ細胞を捕食し消化する。また抗原提示を行い、B細胞による抗体産生を促す。全身の組織に広く分布しており、自然免疫において重要な役割を担う。
マクロファージ炎症性タンパク1	まくろふあーじえんしょうせいたんぱく1	macrophage inflammatory protein 1	MIP-1		Ⅲ-11 感染症・敗血症	マクロファージが産生するサイトカインの一つ。単球・リンパ球の走化性促進、造血幹細胞の増殖抑制などの作用を持つ。
マクロファージ活性化症候群	まくろふあーじかせいかししょうこうぐん	macrophage acitvated syndrome	MAS		Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	自己免疫疾患に伴う、骨髄などにおいて活性化された組織球が自己の血球を貪食する病態。
マクロファージ遊走阻止因子	まくろふあーじゆうそうそしいんし	macrophage migration inhibitory factor	MIF		Ⅲ-11 感染症・敗血症	様々な免疫調節反応を誘導する炎症誘発性のサイトカイン。食細胞の遊走を阻害する作用を持つ。
マスト細胞（肥満細胞）	ますとさいぼう（ひまんさいぼう）	mast cell			Ⅲ-7 免疫疾患	血管近くの多くの組織中に見られる骨髄由来細胞。免疫グロブリンE抗体に対するFc受容体を持ちタイプ1型アレルギー反応に関与する。
末梢血幹細胞	まつしょうけつかんさいぼう	peripheral blood stem cell		造血幹細胞	Ⅱ-1 分離法	「造血幹細胞」の項目参照。
末梢血幹細胞移植	まつしょうけつかんさいぼういしょく	peripheral blood stem cell transplantation	PBSCT		Ⅱ-1 分離法	末梢血から採取した造血幹細胞などの未分化の細胞を移植すること。
末梢血幹細胞採取	まつしょうけつかんさいぼうさういしゅ	peripheral blood stem cell harvest(collection)	PBSCH(c)		Ⅱ-1 分離法	G-CSF投与後、血液成分採取装置を用いて、末梢血から造血幹細胞などの未分化の細胞を採取すること。
マロンジアルデヒド修飾LDL	まろんじあるでひどしゅうしょくえるでいーえる	Malondialdehyde Modified Low Density	MDA-LDL	酸化LDL	Ⅲ-4 脂質異常症	酸化LDLの一種。冠動脈疾患既往歴のある糖尿病患者で、その測定が保険適応されている。
満月（様）顔貌	まんげつ（よう）がんぼう	moon face			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	ステロイド薬の副作用やクッシング症候群で起こる顔面浮腫。
慢性移植片対宿主病（GVHD）	まんせいいしよへんたいしゅくしゅびょう	chronic graft versus host disease			Ⅲ-12 移植	移植後3か月頃から2年までに発症するGVHD。3か月以内や2年以降に発症することもある。GVHDは同種臓器移植時にドナー臓器が引き起こす免疫応答によってレシピエントの臓器を攻撃する合併症。
慢性拒絶反応	まんせいいきざつはんのう	chronic rejection			Ⅲ-12 移植	移植後産生される液性抗体の関与により移植後3か月以降に徐々に発生する拒絶反応。
慢性呼吸不全	まんせいこきゅうふぜん	chronic respiratory failure			Ⅲ-14 肺疾患	呼吸不全の状態が1か月以上持続している状態。
慢性C型肝炎	まんせいしーがたかんえん	chronic hepatitis C			Ⅲ-8 消化器疾患	C型肝炎ウイルスが原因の肝炎が6ヶ月以上持続している状態。
慢性閉塞性肺疾患	まんせいへいそくせいはいしつかん	chronic obstructive pulmonary disease		COPD	Ⅲ-14 肺疾患	肺気腫と慢性気管支炎が統一して定義された疾患群。
慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチー	まんせんえんしょうせいたつずいせいたはつこんにゅーろぱちー	chronic inflammatory demyelinating polyradiculoneuropathy	CIDP		Ⅲ-6 神経疾患	自己免疫機序によって発症するとされ、対称性に運動、感覚が侵される多発性根神経炎で上下肢の遠位部または近位部に脱力と感覚障害をきたすもの。
ミエリン	みえりん	myelin			Ⅲ-6 神経疾患	神経細胞に機能を与える役割を持つ鞘様の脂質に富む構造体。
ミエリン関連糖タンパク質	みえりんかんれんとうたんぱくしつ	myelin associated glycoprotein	MAG		Ⅲ-6 神経疾患	免疫グロブリンスーパーファミリーに属する細胞接着因子。中枢神経における神経再生の阻害に関わるミエリンインヒビターの一つ。
ミオクローヌス	みおくろーぬす	myoclonus			Ⅲ-6 神経疾患	瞬間的な筋収縮ないし筋放電停止によってひき起こされる電撃的な不随意運動。
ミオパチー	みおぱちー	myopathy			Ⅲ-6 神経疾患	筋疾患。筋力低下、筋痛などの症状を四肢近位部に認めることが多い。多発筋炎、筋ジストロフィーなどがこれに分類される。
ミトコンドリア脳筋症	みとこんどりあのうきんしょう	mitochondrial encephalomyopathy			Ⅲ-6 神経疾患	ミトコンドリアのDNA異常により脳や筋肉に機能障害をきたす疾患の総称。
ミネラル骨代謝異常	みねらるこつたはいしやいじょう	mineral and bone disorder	MBD		Ⅲ-2 腎疾患	慢性腎臓病（CKD）による骨ミネラル代謝異常。CKDでは骨痛発が起こるのみならず、血管を含んだ全身の石灰化を介して生命予後に影響する。
未分画ヘパリン	みぶんかくへぱりん	heparin	UFH	ヘパリン	Ⅱ-4 置換液・抗凝固法	毛細血管周囲の好塩基性マスト細胞が産生する生理的抗凝固物質で、肺、肝、小腸などでの産生が多い。抗凝固薬としての製剤は食用獣（主としてブタの小腸）から作製され、分子量は10,000～20,000 Daである。血液中のアンチトロンビンⅢと結合して、その作用を増強し、主として抗トロンビン作用、抗活性化X因子（Xa）作用を発現する。さまざまなアフエリス療法における体外循環の標準的抗凝固薬。
未分化結合（組）織病	みぶんかけつごう（そ）しきびょう	undifferentiated connective tissue disease	UCTD		Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	膠原病に伴うと思われる症状が疑われても診断が不確定な病態。
無月経	むげつけい	amenorrhea			Ⅲ-9 小児疾患・生殖器疾患	周期的な月経が発来すべき年齢層の婦人において月経がない状態。
無βリポタンパク血症	むべーたりぼたんぱくけっしょう	abetalipoproteinemia			Ⅲ-4 脂質異常症	MTTP遺伝子の機能喪失型変異による。常染色体性（潜性）劣性遺伝形式をとる遺伝病である。脂肪吸収阻害による脂肪便、網膜色素変性、多彩な神経症状を示す。
メタボリックシンドローム	めたぼりっくしんどろーむ	metabolic syndrome			Ⅲ-4 脂質異常症	内臓脂肪蓄積に加え軽度の耐糖能障害、低HDL血症、高中性脂肪血症、高血圧のうち2因子以上を合併した疾患。
メチルオクトン酸	めちるおくとんさん	methyl octonic acid			Ⅱ-2 吸着法	エンドキシン除去向け吸着型血液浄化用浄化器の吸着原理は静電結合や、ポリミキシンBのメチルオクトン酸とリビドAのリン酸との疎水結合が想定される。
メッセンジャーRNA	めっせんじゃーあーるえぬえー	messenger RNA	mRNA		Ⅲ-7 免疫疾患	タンパク質の遺伝子情報もち、タンパク質合成のときに鋳型として用いられ、その他の細胞表面上に広く発現し、抗体のもつエフェクター機能の一翼を担う。アミノ配列に翻訳されるRNA。
メディエーター	めでいえーた	mediator			Ⅲ-11 感染症・敗血症	生物活性をもつ、細胞間の情報伝達物質。ケミカルメディエーター、脂質メディエーターがある。
メモリー細胞	めもりーさいぼう	memory cell			Ⅲ-7 免疫疾患	一度曝されたことのある抗原を記憶し、二度目の侵入に対して特異的に二次免疫反応を起こすために免疫学的記憶を保持している細胞。
免疫（学的）寛容	めんえき（がくてき）かんよう	immunological tolerance			Ⅲ-12 移植	抗原により導入される特異的な無反応状態。免疫原性がある抗原に対してB細胞応答（抗体産生）、T細胞応答（サイトカイン産生、キラーT細胞応答）を起こさない状態を指す。
免疫栄養療法	めんえきえいりょうほう	immunonutrition			Ⅲ-11 感染症・敗血症	アルギニン、グルタミン、n-3系脂肪酸、核酸などにより宿主の免疫系を賦活化する栄養療法。主に経腸栄養の形で投与される。

免疫介在性壊死性ミオパチー	めんえきかいざいせいしえしせいみおぱちー	immune-mediated Necrotizing Myopathy		壊死性筋炎	Ⅲ-6 神経疾患	筋炎の中でも壊死再生線維の多発を主体とし、炎症性リンパ球浸潤の乏しい病理像を特徴とする病型で、臨床的には四肢近位部優位の左右対称性の筋力低下と筋萎縮、血清CK高値(4000〜13000 IU/L)が特徴。
免疫吸着(法)	めんえききゅうちゃくりょう(ほう)	immunoadsorption plasmapheresis	IAPP		I 総説	患者血液から免疫疾患の病因タンパクを選択的に吸着除去する治療法。抗二重鎖DNA抗体、抗カルジオリビン抗体、免疫複合体などの選択的吸着除去に用いられる。
免疫グロブリン	めんえきぐろぶりん	immunoglobulin	Ig		Ⅲ-7 免疫疾患	血清中の抗体の総称でIgと略す。
免疫グロブリンE	めんえきぐろぶりんいー	immunoglobulin E	IgE	IgE	Ⅲ-7 免疫疾患	哺乳動物の免疫グロブリンの一つ。分子量18.8万の単量体。
免疫グロブリンA	めんえきぐろぶりんえー	immunoglobulin A	IgA	IgA	Ⅲ-7 免疫疾患	哺乳類、鳥類に見いだされる免疫グロブリンの一つ。分子量16万。
免疫グロブリンM	めんえきぐろぶりんえむ	immunoglobulin M	IgM	IgM	Ⅲ-7 免疫疾患	免疫グロブリンのサブクラスの一つ。分子量約97万。
免疫グロブリン大量静注療法	めんえきぐろぶりんたいりょうじょうちゅうりょうほう	high dose intra-venous immunoglobulin	IVIG	免疫グロブリン療法	Ⅲ-2 腎疾患	免疫グロブリン製剤の大量静注により、作用機序はFc受容体を介した機序により食食能の抑制、補体系の抑制、自己抗体の制御、炎症性サイトカインの抑制などの薬理作用を介して効果を発揮すると考えられている治療法。0.4 g/kg 5日間投与が標準的な投与量。
免疫グロブリン大量静注療法	めんえきぐろぶりんたいりょうじょうちゅうりょうほう	high dose intravenous immunoglobulin	IVIG		Ⅲ-6 神経疾患	免疫グロブリン製剤の大量静注により、作用機序はFc受容体を介した機序により食食能の抑制、補体系の抑制、自己抗体の制御、炎症性サイトカインの抑制などの薬理作用を介して効果を発揮すると考えられている治療法。0.4 g/kg 6日間投与が標準的な投与量。
免疫グロブリンD	めんえきぐろぶりんでいー	immunoglobulin D	IgD	IgD	Ⅲ-7 免疫疾患	免疫グロブリンのサブクラスの一つ。分子量18.4万の単体。
免疫グロブリンG	めんえきぐろぶりんでいー	immunoglobulin G	IgG	IgG	Ⅲ-7 免疫疾患	免疫グロブリンのサブクラスの一つ。分子量14.6万もしくは16.5万。
免疫グロブリン療法	めんえきぐろぶりんりょうほう	immunoglobulin therapy			Ⅲ-7 免疫疾患	γグロブリン製剤を用いて、ウイルス感染症や細菌毒素による疾患を治療するものである。
免疫チェックポイント阻害薬	めんえききえつくぽいんとそがいやく	immune checkpoint inhibitors			Ⅲ-6 神経疾患	免疫チェックポイント分子である抑制性受容体(CTLA-4やPD-1など)もしくはそのリガンドに結合し、抑制性シグナル伝達を遮断することによって、免疫系のブレーキを解除し、腫瘍に対する免疫応答を高める薬剤。
免疫抑制薬	めんえきよくせいやく	immunosuppressant			Ⅲ-7 免疫疾患	臓器移植の拒絶反応抑制や自己免疫疾患の治療目的に使用される。作用機序と生物学的性から代謝拮抗薬、T細胞機能抑制薬、抗体、副腎皮質ステロイドに分類される。
免疫療法	めんえきりょうほう	immunotherapy			Ⅲ-7 免疫疾患	身体が有している。疾患防御機構へ働きかけ、全身の免疫系を賦活させることで治療する治療法。
モルバン症候群	もるばんしょうこうぐん	Morvan syndrome		モルヴァン病、モルヴァン舞踏病	Ⅲ-6 神経疾患	アイザックス症候群の典型的な症状に、大脳辺縁系の異常を示唆する空間的・時間的記憶力障害、幻覚、近時記憶障害、不眠、複雑な夜間行動障害や不整脈、便秘、尿失禁などの多彩な自律神経症状を伴う。
ヤーマスチロシキナーゼ	やーめすちろしきなーぜ	janus tyrosine kinase	JAK		Ⅲ-7 免疫疾患	分子量120-140kDaのチロシキナーゼで、C末端側にキナーゼ様ドメインとキナーゼドメインの2つをもつ。JAKファミリーには、JAK1、JAK2、JAK3とTyk2の4種類がある。
薬剤(誘発)性ループス	やくざい(ゆうはつ)せいるーぶす	drug-induced lupus (syndrome)			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	薬剤を原因としてSLE様症状が引き起こされる病態。
薬剤性過敏症症候群	やくざいせいいかびんしょうじょうこうぐん	drug-induced hypersensitivity syndrome	DIHS		Ⅲ-10 皮膚疾患	高熱と臓器障害を伴う重症薬疹。薬剤中止後も遷延化する。多くの場合発症2〜3週後にHHV-6の再活性化を生じる。
薬剤性肝障害	やくざいせいかんしょうががい	drug induced liver injury	DILI		Ⅲ-1 肝疾患	急性肝不全の主要な原因。肝細胞破壊機序は炎症、変性、小滴性脂肪変性(microvesicular steatosis)がある。
薬剤性肺炎	やくづつせいはいえん	drug-induced pneumonitis			Ⅲ-14 肺疾患	薬物投与によって起こる間質性肺炎。
クロイツフェルト・ヤコブ病	くろいつふえんと・やこぶびょう	Creutzfeldt-Jakob disease			Ⅲ-6 神経疾患	全身の不随意運動と急速に進行する認知症を主徴とする中枢神経の変性疾患であり、プリオン病の一種。
ヤヌスキナーゼ	やめすきなーぜ	Janus kinase	JAK		Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	インターフェロンにより調整される細胞内シグナル伝達経路のひとつ。関節リウマチや潰瘍性大腸炎などの治療においてJAK-STAT経路を標的とした薬剤が使用されている。
有棘赤血球舞踏病	ゆうきょくせつけきゅうぶとうびょう	chorea-acanthocytosis			Ⅲ-6 神経疾患	有棘赤血球症と神経症候のうち舞踏運動を認める。大脳基底核の変性がその原因として考えられている。
遊離脂肪酸	ゆうりしぼうさん	free fatty acid		非エステル結合型脂肪酸	Ⅲ-4 脂質異常症	脂肪細胞からホルモン感受性リパーゼ作用により放出され、門脈を介し肝臓に取り込まれる極性脂質の一種。肝臓・脂肪組織においてアシルCoA合成酵素の作用によりトリグリセリドの合成される。
輸入脚症候群	ゆにゅうきやくしょうこうぐん	afferent loop syndrome	ALS		Ⅲ-8 消化器疾患	ビルロー-I法で胃再建術後の輸入脚に食塊が停滞して起こる諸症状。
陽イオン交換樹脂	よういおんこうかんばんじゆし	cation-exchange resin		陰イオン交換樹脂	Ⅱ-2 吸着法	酸性水酸基、カルボキシル基、スルホ基などのような酸性基をもち、対立イオンである陽イオンを交換する樹脂。
溶血性尿毒症症候群	ようけつせいにようどくしょう(せい)しょうこうぐん	hemolytic uremic syndrome	HUS		Ⅲ-9 小児疾患・生殖器疾患	溶血性貧血、血小板減少、急性腎不全を三徴とし、小児では志賀毒素産生性大腸菌(STEC)に感染による発症が多い。
羊膜由来幹細胞	ようまくゆらいかんさいびょう	amniotic stem cell			Ⅲ-13 再生医療	胎盤の一部であり、出産後に廃棄される羊膜に存在する幹細胞。
溶連菌感染症関連小児自己免疫性神経精神疾患	ようれんきんかんせんしょうかんれんしょうじこめんえきせいしんけいせいしんしつかん	pediatric autoimmune neuropsychiatric disorders associated with streptococcal infection	PANDAS		Ⅲ-6 神経疾患	舞踏病や心臓炎、関節炎はないが、多様な急性神経精神医学的な症状を伴う強迫観念、強迫行為、および(または)チック症状が現れる疾患。
Ⅳ型アレルギー	よんがたあれるぎー	type IV allergy			Ⅲ-7 免疫疾患	細胞性免疫反応とも呼ばれる。抗体が関与せず、T細胞とマクロファージが主な作用細胞である。
Ⅳ型コラーゲン	よんがたこうらーげん	type IV collagen			Ⅲ-2 腎疾患	基底膜緻密層の主要構成成分となる膜型コラーゲン。
ラーゼンスコア	らーぜんすこあ	larsen score			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	関節リウマチにおけるX線写真を用いた評価法の一つ。
ラーゼン分類	らーぜんぶんるい	larsen grade			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	関節リウマチにおいてStandard filmを参考に進行度を判定するX線分類。
ラジアルフロー方式	らいあるふろーほうしき	radial-flow			Ⅱ-2 吸着法	内部偏流を少なくした血液の流れを作り出す方式。エンドキシン除去向け吸着型血液浄化用浄化器で採用。
ライ症候群	らいしょうこうぐん	Reye syndrome			Ⅲ-6 神経疾患	ライ症候群の原因は不明。インフルエンザや水痘などある種のウイルスによる感染症の後に発症する脳の炎症と腫れ、および肝臓の変性を引き起こす重篤な疾患。
ライム病	らいむびょう	Lyme disease			Ⅲ-6 神経疾患	ノネズミやシカ、野鳥などを保菌動物としてマダニに媒介されるスピロヘータの一種であるボレリアの感染によって引き起こされる人獣共通感染症の一つで症状は多彩である。
落葉状天疱瘡	らくようじょうてんぼうそう	pemphigus foliaceus	PF		Ⅲ-10 皮膚疾患	抗デスモグレイン1抗体による自己免疫性水疱症。皮膚に水疱、びらんを生じる。
ラスムッセン脳炎	らすむっせんのうえん	Rasmussen encephalitis		ラスムッセン症候群	Ⅲ-6 神経疾患	感染症をきっかけに難治てんかんが発病し、片麻痺・精神発達遅滞・高次脳機能障害が起こる予後不良の自己免疫性中枢神経疾患。
Radiologically isolated syndrome	らいおろじかりーあいそれいていっどしんどろーむ	radiologically isolated syndrome	RIS		Ⅲ-6 神経疾患	多発性硬化症を示唆するMRI所見はあるが、無症状の患者と定義される。
ラムゼイ・ハント症候群	らむぜいはんとしょうこうぐん	Ramsay Hunt syndrome			Ⅲ-6 神経疾患	水痘・帯状疱疹(ヘルペス)ウイルスが内耳や顔面神経、蝸牛神経、前庭神経などに感染して生じる。外耳道内の湿疹や顔面神経麻痺、平衡機能障害(耳鳴、めまい、難聴など)、流涙などの症状を認める。
ランスバリー指数	らんすばりーしすう	ansbury index			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	関節リウマチの活動性を評価する基準の一つ。
ランバート・イートン筋無力症症候群	らんばーとーいーとんきんむりょくしょうじょうこうぐん	Lambert-Eaton myasthenic syndrome	LEMS		Ⅲ-6 神経疾患	筋無力症の一つの形で筋力の減退、特に下肢筋力に顕著。肺癌などの悪性腫瘍に併発することが多い。
リウマチ性神経炎	りうまちせいしんけいえん	rheumatic neuritis			Ⅲ-6 神経疾患	左右非対称に複数の末梢神経が障害される病態(一多発性末梢神経炎)であり、稀即性動脈炎はこの血管炎や慢性関節リウマチや全身性エリテマトーデスなどの膠原病でみられる。
リウマチ性髄膜炎	りうまちせいしんまくえん	rheumatoid meningitis			Ⅲ-6 神経疾患	関節リウマチ患者に発症する軟膜を主体とした髄膜炎で、罹病率は低いものの無治療では非常に予後不良な疾患。
リウマチ性多発筋痛(症)	りうまちせいいたはつきんつう(しょう)	polymyalgia rheumatic	PMR		Ⅲ-6 神経疾患	他に原因なく肩・腰周囲の筋肉痛を起こす疾患であり、血液で高度の炎症反応を認めるのが特徴であり、病因からは巨細胞性動脈炎との関連が示唆されている比較的高齢者に多いリウマチ関連疾患。
リウマチ熱	りうまねつ	rheumatic fever	RF		Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	溶連菌感染後に生じる全身性の非化膿性疾患。
リウマトイド因子	りうまといどいんし	rheumatoid factor	RF		Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	関節リウマチで上昇することが多い自己抗体。
リウマトイド結節	りうまといどけつせつ	rheumatoid nodule			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	関節リウマチ患者の肘や膝にできる硬い皮下結節。
リガンド	りがんど	ligand			Ⅱ-2 吸着法	特定の受容体(receptor: レセプター)の決まった部位に特異的に結合する物質。

リチウム中毒	りちうむちゅうどく	lithium intoxication			Ⅲ-6 神経疾患	リチウムは主として線状状態の治療薬として用いられるが、最適治療量と中毒量が近く、過量服用で中毒になりやすい。症状は消化器症状(嘔吐、下痢、口渇)、神経症状(振戦、言葉のもつれ、眼のかすみ、めまい)など。
リツキシマブ	りつしきまぶ	rituximab	RTX		Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	抗CD20抗体モノクローナル抗体。
リバウンド	りばうんど	rebound			I 総説	治療終了後、溶質は細胞内から細胞外(血管内)に移動するため、血中の溶質濃度は急速に上昇する現象。
リバウンド現象	りばうんどげんしょう	rebound			Ⅱ-2 吸着法	血液浄化後に血中濃度が再上昇する現象。組織から遊離した物質が再び血中に出現するためにおこると考えられている。通常、分子量が大きいほど起こりやすい。
リビドA	りびどえー	lipid A			Ⅲ-11 感染症・敗血症	エンドキシンの活性中心でポリミキシンBと高い結合親和性をもつ。
リボ核酸	りぼかくさん	ribonucleic acid	RNA		Ⅲ-7 免疫疾患	リボヌクレオシド-リン酸が重合した高分子。
リボ多糖体結合タンパク	りぼたとうたいけつごうたんばく	lipopolysaccharide binding protein	LBP		Ⅲ-11 感染症・敗血症	LPSと結合し、これをCD14とTRL4に提示する急性相タンパク。
リポタンパク	りぼたんばく	lipoprotein	LP	CM, VLDL, IDL, LDL, HDL, Lp(a)などに分類	Ⅲ-4 脂質異常症	リン脂質(PL)とFCGの包膜、コレステリルエステル(CE)とトリグリセリド(TG)のコアからなる脂質成分とアポタンパクとの複合体。
リポタンパク(a)	りぼたんばくえー	lipoprotein(a)	LP(a)	リポリトルa, リポスモールa	Ⅲ-4 脂質異常症	動脈硬化進展に深く関わっているリポタンパク。構造上アポBを有する点でLDLに類似する。タンパク部分であるアポタンパク(a)はプラスミノゲンと相同性があり、血栓形成傾向にも関与する。
リポタンパクリパーゼ	りぼたんばくりぱーぜ	lipoprotein lipase	LPL	リبوبロテインリパーゼ	Ⅲ-4 脂質異常症	血管内皮細胞の表面上に存在し、アポCIIを活性化因子として血液中のカイロミクロンおよび超低比重リポタンパク(VLDL)中のトリグリセリドの水解に関わる酵素。
リبوبロテインリパーゼ	りぼぶろていんりぱーぜ	lipoprotein lipase			Ⅲ-4 脂質異常症	「リポタンパクリパーゼ」の同義語。
リムルステスト	りむるすてすと	limulus test			Ⅲ-11 感染症・敗血症	カプトガンの血球抽出成分がエンドキシンによりゲル化することを利用したエンドキシン検出法。
リン脂質	りんししつ	phospholipid	PL		Ⅲ-4 脂質異常症	構造中にリン酸エステルを有する脂質で細胞膜やリポタンパクの構成成分であるが、シグナル伝達にも関わっている。
UCの臨床活動指数	りんしょうかつどうしゅう	clinical activity index	CAI		Ⅲ-8 消化器疾患	治療効果や疾患活動性の評価として使用されている点数化した潰瘍性大腸炎に対する疾患活動性のindex。
臨床的無筋症候性皮膚筋炎	りんしょうてきむきんしょうこうせいひふきんえん	clinically amyopathic dermatomyositis	CADM		Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	筋症状は乏しいものの筋電図などでは異常を呈する皮膚筋炎。急速進行性間質性肺炎を併発することが多い。
リンパ球	りんばきゅう	lymphocyte		小リンパ球(6~9μm)、大リンパ球(9~15μm)、NK細胞、B細胞(Bリンパ球)、T細胞(Tリンパ球)	Ⅱ-1 分離法	白血球のうち25%ほどを占める。抗体を使ってあらゆる異物に対して攻撃するほか、ウイルスなどの小さな異物に対しては、顆粒球ではなくリンパ球が中心となっており対応する。液性免疫、抗体産生に携わるのはB細胞で、細胞性免疫に携わるのはT細胞。
リンパ球機能関連抗原	りんばきゅうきのうかんれんこうげん	lymphocyte function-associated antigen	LFA-3		Ⅲ-7 免疫疾患	ヒト細胞傷害性T細胞(CTL)による標的細胞傷害反応に関与する分子として同定された抗原。
リンパ球クロスマッチ	りんばきゅうくろすまっち	lymphocyte cross match			Ⅲ-2 腎疾患	抗HLA抗体により輸血不応状態に陥った血小板輸血患者や臓器移植患者のリンパ球直接交差試験として、患者(レシピエント)由来の抗体と提供者(ドナー)由来の抗原の反応を検査し患者由来の抗体を測定するために行う検査。
リンパ球除去療法	りんばきゅうじきょりょうほう	lymphocytopheresis			I 総説	患者血液からリンパ球を選択的に分離・除去する治療法。
リンフオカイン	りんふおかいん	lymphokine			Ⅲ-7 免疫疾患	感作に用いた抗原とともに培養した際にリンパ球から放出される種々の活性物質のうち、免疫グロブリンを除いた物質の総称。
ルーアロック	るあーろく	lure lock			Ⅱ-3 周辺機器	血液回路、血漿回路、血液浄化器などの接続部離断防止策としての捻じ込み式接続方法。
ループスアンチコアグラント	るーぶすあんちこあぐらんと	lupus anticoagulant		ループス抗凝固因子	Ⅲ-6 神経疾患	後天性に血中に出現する自己抗体で、凝固因子または凝固反応を阻害する循環抗凝集素の一つ。リン脂質依存性の血液凝固を阻害する免疫グロブリン。
ループス腸炎	るーぶすちようえん	lupus enteritis			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	全身性エリテマトーデスに伴う腸症状の総称。
ループス膀胱炎	るーぶすぼうこうえん	lupus cystitis			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	全身性エリテマトーデスに伴う自己免疫的に生じる間質性膀胱炎。
ループス腎炎	るーぶすじんえん	lupus nephritis			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	全身性エリテマトーデスに伴う自己免疫的に生じる腎障害。
レイノー現象	れいのーげんしょう	raynaud phenomenon			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	四肢先端の小動脈が攣縮し手指の色調が変化する現象。
レイノー病	れいのーびょう	raynaud's disease			Ⅲ-6 神経疾患	基礎疾患や原因がなくレイノー現象を認める場合。
レムナント様粒子リポタンパク	れうなんとうりゅうりりぼたんばく	remnant-like particle lipoprotein	RLP	IDL, CM, レムナント	Ⅲ-4 脂質異常症	抗アポB-100および抗アポA-I抗体を含むaffinity columnを通過させた血清に存在する分画で、理論的にアポB48とアポEのみを含むリポタンパクに相当する。冠動脈疾患のリスクマーカーとする報告がある。
レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ	れしちんこれすてろーるあしとらんすふえらーぜ	lecithin-cholesterol acyltransferase	LCAT		Ⅲ-4 脂質異常症	血中でレシチンの脂肪酸をFCIにエステル結合させる酵素。
レシピエント	れしぴえんと	recipient			Ⅲ-2 腎疾患	ドナーの臓器を提供される人。
レジン	れじん	resin		陰イオン交換樹脂	Ⅲ-4 脂質異常症	「陰イオン交換樹脂」の項目参照。
レチノール結合〔性〕蛋白	れちのーるけつごうたんばく	retinol binding protein	RBP		Ⅲ-9 小児疾患・生殖器疾患	ビタミンAの輸送蛋白で、主に肝臓で作られ、分子量2.2万。短期間の栄養状態や肝の蛋白合成能を速やかに示す指標となる。
レトロウイルス	れとろういるす	reverse transcriptase-containing virus (retrovirus)			Ⅲ-6 神経疾患	RNAウイルスの種類の総称。
レフサム病	れふさむびょう	Refsum disease		フィタン酸酸化酵素欠損症、heredopathia atactica polyneuritiformis	Ⅲ-6 神経疾患	無嗅覚症・早期発症の網膜色素変性症に末梢神経障害、難聴、小脳失調、魚鱗癬を特徴とする常染色体劣性遺伝性疾患で、ペルオキシソームに局在するphytanic-CoA hydroxylase (phyH)の欠損により血中のフィタン酸が増加する。
連続採取方式	れんぞくさいしゅほうしき	continuous flow			I 総説	両腕採血方式(ダブルニードル法)の際に持続的に一定量の血液を回路内に誘導し、もう一方のアクセスに返血(返血漿)する遠心分離方式。
レンノックス症候群	れんのつくすしゅうこうぐん	Lennox syndrome		レノックス・ガストー症候群	Ⅲ-6 神経疾患	2-4歳の幼児に多く小発作としての脱力発作やミオクローヌスを伴った欠神発作が頻発するもので、精神や運動の発達障害があり広範な脳障害によって起こるとされている。脳波が特徴的な異常を示す。
ロイコトリエン	ろいことりえん	leukotriene	LT		Ⅲ-7 免疫疾患	アラキドン酸の5-リポキシゲナーゼ系代謝産物の総称。
濾過	ろか	filtration			Ⅱ-1 分離法	片側から対側へ透過性のある溶質とともに溶液が移動する現象。
濾過圧	ろかあつ	filtration pressure			Ⅱ-1 分離法	濾過により膜にかかる圧力。
濾過係数	ろかけいすう	hydraulic permeability			Ⅱ-1 分離法	膜の透水性を表す指標で単位膜面積、単位時間、単位膜間圧力差あたりの濾液量。
濾過ポンプ	ろかぼんぷ	filtrate pump			Ⅱ-3 周辺機器	膜濾過分離器で濾液成分を回収するポンプ。通常、ローラーポンプが用いられている。
ロミタビド	ろみたびど	lomitapide			Ⅲ-4 脂質異常症	MTPIに対する低分子化合物による阻害薬であり、家族性高コレステロール血症ホモ接合体を対象疾患とする。副作用に肝臓への脂肪蓄積、下痢などがある。
ワイヤーループ病変	わーやーるーぶひょうへん	wire-loop lesion			Ⅲ-5 リウマチ・膠原病	ループス腎炎でみられる病理の光顕所見。
ワクチン接種後脊髄炎	わくちんせつしゅごせきずいえん	postvaccinal myelitis			Ⅲ-6 神経疾患	ワクチンの副反応として生じる脊髄炎であり、急性播種性脳脊髄炎に分類される。
ワクチン接種後脳炎	わくちんせつしゅごのうえん	postvaccinal encephalitis			Ⅲ-6 神経疾患	ワクチンの副反応として生じる脳炎であり、急性播種性脳脊髄炎に分類される。
ワルデンシュトレームマクログロブリン血症	わるでんしゅとれーむくろぐろぶりんけつしゅう	Waldenström's macroglobulinemia		原発性マクログロブリン血症	Ⅲ-6 神経疾患	形質細胞が癌化して異常に増殖して起こる疾患で、IgMを産生する細胞が異常に増殖する場合は原発性マクログロブリン血症と呼び、血清中に異常な免疫グロブリン(Mタンパクと呼ばれる)が検出される。
腕神経叢ニューロパチー	わんしんけいそくにゅうろぱちー	brachial plexus neuropathy	BPN		Ⅲ-6 神経疾患	腕神経叢の障害による運動麻痺と知覚異常。